

基本目標4

学ぶ意欲と豊かな心を育むまち

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育委員会運営事業		担当課	教育総務課		記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	05	教育委員会費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 要 概 要	市町村に設置を義務付けられている教育委員会の運営を行う。 教育長及び5人の委員を持って構成され、これら構成員の合議により、教育行政の運営に関する基本方針を決定や、教育課題の把握、協議及び方針の決定を行うとともに、小・中学校の教育的な指導を行う。	教育委員会会議等教育委員の諸活動の円滑な運営を図る。	計画額	0	0	0	11,234	11,234	—
			当初予算額	0	0	0	10,793	10,793	
			決算額	0	0	0	7,809	7,809	
H27	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催した。 ・各種研修会等に参加した。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問した。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加した。	・委員全員が全国規模の研修に参加した。 ・教育施設の実態や問題点の把握に努めるため、定例会のうち第5回を志度公民館鴨部分館、第10回定例会を志度学校給食共同調理場において開催した。	計画額	0	0	0	2,804	2,804	0.3
			当初予算額	0	0	0	2,804	2,804	
			決算額	0	0	0	2,679	2,679	
H28 具 体 的 取 組	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。	・引き続き、委員が教育現場の視察や各種研修会への参加をすることにより、教育行政上の多種多様な課題に対応できる体制を整えるよう努めた。	計画額	0	0	0	2,810	2,810	0.3
			当初予算額	0	0	0	2,550	2,550	
			決算額	0	0	0	2,481	2,481	
H29	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。	・委員が、全国規模の研修に参加したほか、先進事例の視察を行った。	計画額	0	0	0	2,810	2,810	0.3
			当初予算額	0	0	0	2,751	2,751	
			決算額	0	0	0	2,649	2,649	
H30	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。		計画額	0	0	0	2,810	2,810	
			当初予算額	0	0	0	2,688	2,688	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30						
活動指標	会議開催回数	定例会及び臨時会を開催した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	14	計画値	14	計画値	14	計画値	14					
	教育機関訪問等回数	各種教育機関に訪問及び各種研修会に参加したのべ回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100					
成果指標	審議案件数	定例会及び臨時会において審議した議案の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70					
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	71	実績値	89	実績値	81	実績値						
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)								
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	評価点	評価点合計	5 点	22 点	23 点	評価点合計	25点							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点			4 点											
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点			4 点											
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点			5 点											
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点			5 点											
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)											
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止											
理由	教育委員会は、法律に基づいて設置されている行政委員会であり、教育行政における教育委員会の果たす役割の強化が求められている。学習指導要領の改訂や認定こども園の開設等に伴い、ますます教育委員会の重要性は増している。					教育委員会は、法律に基づいて設置されている行政委員会であり、教育委員会組織の更なる充実・強化を図るため、教育長及び教育委員の各種研修会及び行事等への積極的な参加を促し、各種の情報の収集や諸課題の把握に努めてもらうため。学習指導要領の改訂や認定こども園の開設等に伴い、教育委員会の重要性は増していると考える。											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	事務局運営事業		担当課	教育総務課		記入日	平成30年6月11日
-----	---------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	教育委員会事務局の全般的な管理・運営を行う。	教育委員会事務局の運営に係る各種事務及び業務の推進を図る。	計画額	0	0	0	91,270	91,270	—
			当初予算額	0	0	0	83,838	83,838	
			決算額	0	0	3,409	39,654	43,063	
H27	・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等)	教育委員会事務局の運営に係る各種の事務及び業務であるため、それそれに必要な業務内容を精査し、効率的な業務を行った。	計画額	0	0	0	22,570	22,570	1.3
			当初予算額	0	0	0	22,570	22,570	
			決算額	0	0	1,654	14,328	15,982	
H28 具 体 的 的 取 組	・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等)	教育委員会事務局の運営に係る各種の事務及び業務であるため、それそれに必要な業務内容を精査し、効率的な業務を行った。	計画額	0	0	0	22,800	22,800	1.4
			当初予算額	0	0	0	19,562	19,562	
			決算額	0	0	1,755	11,304	13,059	
H29	・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等)	教育委員会事務局の運営に係る各種の事務及び業務であるため、それそれに必要な業務内容を精査し、効率的な業務を行った。	計画額	0	0	0	22,900	22,900	1.3
			当初予算額	0	0	0	20,441	20,441	
			決算額	0	0	0	14,022	14,022	
H30	・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等)		計画額	0	0	0	23,000	23,000	
			当初予算額	0	0	0	21,265	21,265	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	職員数	教育委員会事務局における市費職員の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	34	計画値	34	計画値	34	計画値	34	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	35	実績値	33	実績値	32	実績値		
成果指標	臨時職員数	教育委員会事務局における臨時職員の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	11	実績値	11	実績値	14	実績値		
審議案件数	審議案件数。 (教育委員会運営事業と成果指標を共用)		<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	71	実績値	89	実績値	81	実績値		
評価			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	21 点							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点								
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点								
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点								
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		5 点								
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
今後の方向性	理由	教育委員会事務局の運営に係る事務及び業務であるため、業務の種類には、変更するものがないと思われる。 業務の内容や取組み方を精査し、効率的な業務の推進を図る。					教育委員会事務局の運営のための経常的な事務事業であり、事務機器の借上げ等について効率的な運用を行っている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際理解教育推進事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月4日
-----	------------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	中学校での日本人教師の外国語授業の補助、小学校での外国語活動等の補助及び幼稚園・児童クラブ等での外国語のふれあい・地域における外国文化の紹介、交流活動により国際理解教育の推進を図る。	外国の文化や言語についての理解を深め、国際化に対応できる人材を育成する。	計画額	10	0	1,320	58,895	60,225	—
			当初予算額	0	0	1,368	53,719	55,087	
			決算額	0	0	968	36,992	37,960	
H27	・市内幼稚園・小学校・中学校等に外国語指導助手(ALT)2名を派遣した。 ・公民館親子教室に外国語指導助手(ALT)を派遣した。 （「親子で英語であそぼう」計3回開催 7/11・10/17・12/6） ・国際理解推進事業「Easter Adventure」の開催 4/18	各学校等から提出される外国語指導助手(ALT)関係書類の様式を一部変更し、ALTをより活用しやすいものに努めた。	計画額	0	0	240	10,895	11,135	0.6
			当初予算額	0	0	240	10,895	11,135	
			決算額	0	0	240	10,012	10,252	
H28 具体的 的 取 組	・市内幼稚園・小学校・中学校等に外国語指導助手(ALT)3名を派遣した。 ・公民館親子教室に外国語指導助手(ALT)を派遣した。 （「親子で英語であそぼう」計3回開催 7/2・11/5・12/10） ・夏休み期間中に市内放課後児童クラブへ外国語指導助手を派遣した。(計7か所)	外国語指導助手(ALT)を派遣するに当たり、急な日程変更依頼等にも柔軟に対応し、できる限り派遣先の要望に応えられるよう努めた。	計画額	10	0	360	15,000	15,370	0.5
			当初予算額	0	0	360	14,276	14,636	
			決算額	0	0	344	12,983	13,327	
H29	・市内幼小中等に外国語指導助手(ALT)3名を派遣 ・公民館親子教室事業「親子で英語であそぼう」計2回開催 ・市内放課後児童クラブへ外国語指導助手を派遣 計7か所 ・男女共同参画・国際交流推進室が主催した国際交流事業「Happy Spring」にALTを派遣	外国語指導助手(ALT)を様々な団体やイベントに積極的に派遣することを通して、英語への関心を深め、英語に慣れ親しむ体験活動の充実に努めた。	計画額	0	0	360	16,500	16,860	0.5
			当初予算額	0	0	384	14,164	14,548	
			決算額	0	0	384	13,997	14,381	
H30	・市内幼小中等に外国語指導助手(ALT)3名を派遣 ・公民館親子教室事業「親子で英語であそぼう」開催 ・市内放課後児童クラブへ外国語指導助手を派遣 ・男女共同参画・国際交流推進室が主催する国際交流事業にALTを派遣		計画額	0	0	360	16,500	16,860	
			当初予算額	0	0	384	14,384	14,768	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	外国語指導助手(ALT)人數	市内で語学指導等を行うALTの人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	2	計画値	3	計画値	3	計画値	3			
					実績値	2	実績値	3	実績値	3	実績値				
成果指標	中学校授業数	ALTの市内中学校での授業数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	700	計画値	730	計画値	730	計画値	730			
					実績値	951	実績値	1,081	実績値	1,323	実績値				
評価	小学校・幼稚園等派遣日数	ALTの小学校・幼稚園への派遣日数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	50	計画値	60	計画値	60	計画値	60			
					実績値	93	実績値	93	実績値	104	実績値				
チェック項目(1~5点で評価)								一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い								4 点	17 点	4 点	19 点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている								4 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い								3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない								3 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない								3 点	／25点	4 点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)								二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	小学校外国語教育については、平成30年度から市内小学校において先行実施されているところであり、ALTが果たすべき役割やALTに対する期待は、ますます高まっている。本市においても、市内各中学校(3校)を拠点校としてALTを3名配置し、中学校のみならず、各中学校区の小学校・幼稚園にも、積極的に派遣を行っているところであるが、ALTが今まで以上に質の高い授業を提供できるように、関係機関を連携を図りながら、国際理解教育の推進に努めるとともに、各種市民向けイベント等にも積極的に派遣するなど、外国語に慣れ親しむ機会の充実を図っていきたい。								外国文化や言語についての理解を深め、国際化に対応できる人材を育てるために、必要な事業であり、実際に外国人と接し、ネイティブな英語に触れることにより、より日常的な英語の発音や文化の違いなどを直接体験できる。 近年のグローバル化に対応していく人材育成の観点から、今後益々、外国語指導助手(ALT)の果たす役割は大きいと考えることから、中学校のみならず、幼稚園・小学校での英語教育の充実に努めていくものである。 今後は小学校においても、学年に応じた英語の教科化や外国語活動が実施されることから、少なくとも現状のALT3名体制は継続していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校教育推進事業		担当課	学校教育課		記入日	平成30年6月11日
-----	----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	学校保健安全法に定められた就学時健康診断等の学校保健や、学校教育活動の円滑な実施に資する学校指導などの実施に係る事業である。 平成28年度からは、教育課程、学習指導等に関する専門的分野に係る事務に従事する指導主事を配置する事業を追加している。	学校保健事業の円滑な実施のほか、市教育方針や各年度における学校教育の重点の推進に向けた学校運営上の指導など、学校教育活動の充実のための取組や支援を行う。	計画額	0	0	6,672	36,102	42,774	—
			当初予算額	1,218	0	6,130	43,300	50,648	
			決算額	990	0	4,737	28,694	34,421	
H27	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施した。	・小児生活習慣病予防健診における事後指導の対象児をメタボのみからメタボ予備軍に拡大した。 ・学力向上先進地視察を行い、市の現状分析や今後の対策について検討を行った。	計画額	0	0	1,653	8,943	10,596	1.3
			当初予算額	0	0	1,653	8,943	10,596	
			決算額	241	0	1,644	7,969	9,854	
H28 具体的 的取組	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。 また、嘱託の指導主事1名を学校教育課に配置する。	・小児生活習慣病予防健診における検査機関によるメタボ等の判定と学校医による判定が違う場合があるので、学校医による判定の欄を追加した。	計画額	0	0	1,653	8,943	10,596	1.1
			当初予算額	405	0	1,564	11,286	13,255	
			決算額	354	0	1,571	10,365	12,290	
H29	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。	・小児生活習慣病予防健診の結果表について判定項目欄をメタボリックシンドローム・予備軍、要再検査等項目別に確認できるよう判定項目欄を変更した。	計画額	0	0	1,683	9,108	10,791	1.6
			当初予算額	410	0	1,517	11,885	13,812	
			決算額	395	0	1,522	10,360	12,277	
H30	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。		計画額	0	0	1,683	9,108	10,791	
			当初予算額	403	0	1,396	11,186	12,985	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	小児生活習慣病予防健診受診率	健診対象児童のうち、実際に健診を受診した者の割合(健診受診者数÷対象児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	% 回数	計画値 実績値	95 93	計画値 実績値	95 89	計画値 実績値	95 93	計画値 実績値	95 93		
	市教委主催の教職員研修の実施回数	教職員に対する市教委主催の研修会の年間延べ実施回数(園長・校長研修会、中堅教員研修会、教務主任・現職教育主任研修会、初任者研修会、小中高生徒指連絡会等)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値 実績値	13 14	計画値 実績値	13 15	計画値 実績値	13 15	計画値 実績値	13 15		
成果指標	小児生活習慣病予防健診における事後指導実施率	健診の結果、事後指導の対象とされた児童(メタボ又はメタボ予備軍)のうち、実際に事後指導を受けた者の割合(事後指導実施者数÷事後指導対象者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	% 点	計画値 実績値	60 59	計画値 実績値	60 88	計画値 実績値	60 54	計画値 実績値	65 55		
	言語活動に関する質問に肯定的に回答した児童の割合	全国学力・学習状況調査の質問紙調査(小6)において、「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値 実績値	48 46	計画値 実績値	51 47	計画値 実績値	53 57	計画値 実績値	55 55		
評価	チェック項目(1~5点で評価)								一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか								1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点 ／25点	5 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)								1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか								1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか								1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		21 点 ／25点		
	一次評価(担当者)								二次評価(所属長)					
今後の方向性	方向性	○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				
		教職員の長時間勤務と働き方改革が喫緊の課題となっていることから、市教委主催の研修会における研修内容や方法、回数等を見直す必要がある。教職員の資質向上を図りながらも、教員が児童生徒と向き合う時間確保につながる業務改善の視点も踏まえた研修計画や運営が必要である。具体的には、園長・校長研修会の持ち方を変更し、研修時間を短縮することを検討する。 指標達成に向けては、主体的・対話的な学びが深まるように、学校訪問を通じて指導する。さらに、学習課題の解決に向け、児童生徒が主体的に話し合う活動が行われている事例や友達の話を最後まで聞くことができている事例について紹介する。								学校教育の推進に必要な事業であるが、教職員の長時間勤務が課題となっている中、業務改善に取り組むための現場での事務の軽減を検討する必要がある。				

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	特別支援教育支援員配置事業		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	---------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	小中学校に在籍する発達障害等を有する児童生徒に対し、個々の状況に応じた支援を行い、充実した学校生活が送れるよう特別支援教育支援員を配置する事業である。 平成28年度からは、特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に担任を補助する学校生活支援者や幼稚園生活補助員を配置する事業を追加している。	小中学校に在籍する発達障害等を有する児童生徒に対し、支援員を配置することにより、学習活動や学校生活上のサポートを行う。	計画額	0	0	0	121,800	121,800	—
			当初予算額	0	0	0	191,408	191,408	
			決算額	205	0	0	132,455	132,660	
H27	小中学校の通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員31人を配置した。	・資質向上のための研修を初心者・経験者別に実施した。 ※H28年度から障害児支援事業と統合。H28年度は幼稚園生活補助員分も含めて予算計上(予算執行は幼保連携推進室)	計画額	0	0	0	30,450	30,450	0.2
			当初予算額	0	0	0	30,439	30,439	
			決算額	0	0	0	28,837	28,837	
H28 具 体 的 取 組	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。 特別支援教育支援員34人(うち、日本語通訳1人) 学校生活支援者5人 幼稚園補助員10人	特別な配慮を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援課養育支援員の増員を行った。	計画額	0	0	0	30,450	30,450	0.3
			当初予算額	0	0	0	62,067	62,067	
			決算額	0	0	0	56,569	56,569	
H29	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員を配置する。	資質向上のための研修会を経験年数ごとに開催し、学習活動に支障をきたすことがないようにした。	計画額	0	0	0	30,450	30,450	0.8
			当初予算額	0	0	0	48,649	48,649	
			決算額	205	0	0	47,049	47,254	
H30	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員を配置する。		計画額	0	0	0	30,450	30,450	
			当初予算額	0	0	0	50,253	50,253	
			決算額						

指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
				総合計画	計画値	32	計画値	32	計画値	40	計画値	42
活動指標	特別支援教育支援員の配置人数	通常学級に在籍する発達障害等を有し、特別な配慮を要する児童生徒を支援するための特別支援教育支援員の配置人数	人	総合戦略	実績値	31	実績値	33	実績値	40	実績値	
	学校生活支援者の配置人数	特別支援学級に在籍する障害を有し、特別な配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援者の配置人数 (H29より特別支援教育支援員と一本化。)		総合計画	計画値	—	計画値	7	計画値	—	計画値	—
成果指標	通常の授業が成立しなくなった件数	通常学級において、授業中に児童生徒が教師の指示や制止を無視して勝手にしゃべったり立ち歩くなどして通常の授業が成立しなくなった件数	件	総合戦略	実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値	0
	特別支援学級における不登校児童生徒の割合	不登校児童生徒数のうち、特別支援学級に在籍する児童生徒数の割合		総合計画	計画値	—	計画値	10	計画値	10	計画値	10
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	% 件	評価点	評価点合計		評価点	評価点合計		評価点	評価点合計	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5 点	19 点	／25点	5 点	21 点	／25点	3 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4 点			4 点			4 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4 点			3 点			4 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3 点			5 点			5 点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止										
理由	通常学級や特別支援学級に在籍する発達障害を有する特別な配慮を必要とする児童生徒が、必要な支援を受けながら円滑な学校生活ができるよう、教育環境を整える必要がある。今後、支援が必要な児童生徒を的確に把握し、必要に応じて支援員を配置するとともに特別支援学級における不登校児童生徒の増加を抑制する対策として、教職員との連携を図れるよう勤務時間も含めて勤務日数を検討していく。 また、特別支援教育支援員の資質向上のため、経験年数に応じた研修会の実施も継続的に行う。					発達障害などにより特別な配慮を必要とする児童生徒が、学校において円滑な学校生活を送ることができるよう、学校の実情に併せた特別支援教育支援員の任用を拡充も含め検討する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校教育活動支援事業		担当課	学校教育課		記入日	平成30年6月11日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	小学校学習指導要領において義務付けられている小学校5・6年生に対する外国語活動の指導補助を行うため、外国語活動支援員を配置する事業である。また、児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館の環境整備や読書活動の指導補助を行う学校図書館活動支援員を配置する事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語や外国文化への理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・学校における読書環境を整備し、児童生徒の読書活動を推進する。 	計画額	0	0	10,000	21,608	31,608	—
			当初予算額	1,064	0	15,000	27,151	43,215	
			決算額	825	0	10,000	13,681	24,506	
H27	学校教育活動支援員(外国語)2人を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置した。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活動支援員のうち図書館司書の資格を有する支援員を講師に、研修を実施した。 ・統合後の図書整理を円滑に行うため、統合校への配置時間を増やした。 	計画額	0	0	5,000	1,652	6,652	0.2
			当初予算額	0	0	5,000	1,652	6,652	
			決算額	0	0	5,000	1,432	6,432	
H28 具体的 的取 組	学校教育活動支援員(外国語)2人を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。前山小学校と長尾中学校を兼務で1名の学校図書館活動支援員を配置した。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活動支援員の勤務時間を1日3時間から4時間に増やし、より読書活動の推進や読書環境の整備を行っている。 	計画額	0	0	5,000	6,652	11,652	0.2
			当初予算額	0	0	5,000	4,152	9,152	
			決算額	0	0	5,000	3,718	8,718	
H29	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活動支援員への研修会を継続して行い、資質向上に努めた。 ・外国語教育推進モデル校に支援員2名を配置し、先行実施に向けて研究を行った。 	計画額	0	0	0	6,652	6,652	0.3
			当初予算額	0	0	5,000	4,323	9,323	
			決算額	825	0	0	8,531	9,356	
H30	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。		計画額	0	0	0	6,652	6,652	
			当初予算額	1,064	0	0	17,024	18,088	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
活動指標	学校教育活動支援員(外国語)による年間授業時間数	学校教育活動支援員(外国語)が実際に授業の支援を行った年間授業時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	1,050	計画値	1,050	計画値	1,050	計画値	1,050
	学校図書館活動支援員の配置校数	学校図書館の環境整備や児童生徒の読書活動推進の支援に当たる支援員を配置した学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	12	計画値	12	計画値	11	計画値	11
成果指標	外国語に興味を持った児童の割合	小学校5・6年生のうち、外国語学習に興味を持った児童数の割合(H28年度からアンケート実施予定) アンケート未実施のため成果指標から削除。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	-	計画値	80	計画値	80	計画値	80
	読書の好きな児童の割合	小学校6年生のうち、県学習状況調査において「本を読むのが好き」と「どちらかといえば好き」と答えた児童の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	5点	21点	
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点	4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	4点		
								／25点	／25点	／25点	20点	
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)				
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止			
理由		<p>・外国語活動支援員の配置については、平成32年度の新学習指導要領全面実施に備えて、平成30年度から31年度の移行期間において、小学校5・6年生で70時間、3・4年生で35時間実施することが決定している。そこで、各小学校に外国語活動支援員1名を配置し、より質の高い外国語科及び外国語活動の授業を実施する。しかし、電子教材を扱うための電子黒板が不足しているため、早急に改善が必要である。</p> <p>・図書館活動支援員の配置については、継続して学校図書館の環境整備(蔵書管理及び掲示物)を行い、児童生徒の読書に対する関心を高め、読書活動の活性化を図る。(各校1名)</p>							新学習指導要領の全面実施により新しく教科化される小学校における外国語や多くの教化を取り入れられてきている電子教材などに対応するため、電子黒板等の設備整備が必要である。また、学校図書館の活動を推進するため、図書館活動支援員の任用時間の拡大も検討する必要がある。			

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校教育振興事業		担当課	学校教育課		記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	児童の豊かな読書経験の機会を充実し、読書活動を推進するため、学校図書の整備を行う事業である。また、観察・実験・体験等の活動を通じた基礎学力の向上を図るために、教育課程に対応した教材・教具の整備を行う事業である。	学校図書及び教材備品の充実により、児童の豊かな読書経験並びに基礎学力の向上に資する。	計画額	626	0	0	14,760	15,386	—
			当初予算額	784	0	12,616	14,948	28,348	
			決算額	696	0	17,584	10,368	28,648	
H27	学校図書及び教材備品等を計画的に整備した。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用した。	まちづくり基金を活用して、学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	155	0	0	3,656	3,811	0.2
			当初予算額	155	0	0	3,656	3,811	
			決算額	214	0	4,458	3,476	8,148	
H28 具体的 的取 組	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。	まちづくり基金を活用して、教育用備品及び学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	155	0	0	3,656	3,811	0.2
			当初予算額	225	0	6,995	3,250	10,470	
			決算額	235	0	12,526	3,121	15,882	
H29	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。	まちづくり基金を活用して、教育用備品及び学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	158	0	0	3,724	3,882	0.3
			当初予算額	311	0	0	3,760	4,071	
			決算額	247	0	600	3,771	4,618	
H30	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。		計画額	158	0	0	3,724	3,882	
			当初予算額	93	0	5,621	4,282	9,996	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	小学校1校当たりの図書購入額	小学校1校当たりの図書購入額 (図書購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200	
	小学校1校当たりの教材購入額	小学校1校当たりの教材購入額 (教材購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	453	実績値	430	実績値	319	実績値		
成果指標	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館(小学校)における図書標準に定められた冊数に対する蔵書数の市全体の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	230	実績値	787	実績値	259	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	必要性低い ⇒ 必要性高い							4点	21点	5点	22点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							4点		4点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)							5点		4点			
	優先度低い ⇒ 優先度高い 余地がある ⇒ 余地はない							5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		25点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							必要がある ⇒ 必要はない		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成28年1月策定のさぬき市教育大綱において「読書のまち さぬき」として、読書を中心とした教育活動の充実を基本方針に掲げており、平成30年4月には、さぬき南小学校が読書活動の実践に関する文部科学大臣表彰を受賞するなど、読書活動を中心とする優れた教育活動が実践されつつある。							小学校教育の振興を図るために、学校図書や教材備品を各学校の実情に併せ整備することで、読書活動を推進するとともに学習環境の充実を図る必要がある。					
	今後も、市内全ての児童が豊かな読書経験を積み、知的活動の機会が増えるよう、一層の学校図書の充実を図りたいと考えている。												
	また、国の理科教育振興補助事業やまちづくり基金等を活用して教材備品の整備・拡充を図り、児童が生き生きと学べる学習環境づくりを行いたいと考えている。												

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生徒就学援助事業		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	15	中学校費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	経済的理由により、就学が困難な生徒の家庭に対して、学校生活に要する費用の一部を援助する事業である。また、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な援助を行う事業である。	経済的理由等により、就学が困難な生徒の保護者及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、負担能力等に応じた適切な援助を行う。	計画額	1,160	0	0	68,764	69,924	—
			当初予算額	1,468	0	0	68,529	69,997	
			決算額	842	0	0	44,218	45,060	
H27	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給した。	就学援助費支給要綱に基づき、対象者の認定及び援助費の支給を行ったほか、マイナンバーエルект実行に伴い所要の要綱改正を行った。	計画額	290	0	0	17,191	17,481	0.1
			当初予算額	290	0	0	17,191	17,481	
			決算額	313	0	0	15,026	15,339	
H28 具体的 的取組	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。	新入学児童生徒学用品費等の支給単価及び支給時期の前倒しについて検討を行った。	計画額	290	0	0	17,191	17,481	0.2
			当初予算額	354	0	0	15,331	15,685	
			決算額	217	0	0	13,036	13,253	
H29	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。	新入学児童生徒学用品費の支給時期を早め、3月に支給するよう変更した。また、平成30年度から支給費目にクラブ活動費、生徒会費及びPTA会費を追加するよう要綱改正を行った。	計画額	290	0	0	17,191	17,481	0.3
			当初予算額	444	0	0	15,478	15,922	
			決算額	312	0	0	16,156	16,468	
H30	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	290	0	0	17,191	17,481	
			当初予算額	380	0	0	20,529	20,909	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	就学援助費平均支給額	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の生徒1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	100	計画値	101	計画値	101	計画値	101			
	就学奨励費平均支給額	特別支援教育就学奨励費の生徒1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	51	計画値	47	計画値	47	計画値	47			
成果指標	就学援助費受給率	中学校の全生徒数のうち、就学援助費の支給を受けている者の割合(認定生徒数÷全生徒数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	12.0	計画値	12.0	計画値	12.0	計画値	12.0			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	11.6	実績値	10.7	実績値	12.3	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 ／25点	5点	23点 ／25点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	義務教育の円滑な実施を目的に、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費や学用品の購入等に要する費用を継続的に支給する必要があるため、現在の支給水準を維持する必要がある。 また、新入学児童生徒学用品等の支給単価を国の補助単価改定に合わせて増額改定し、支給時期についても、入学前の3月に支給するよう変更をした。 なお、平成30年度からは支給費目にクラブ活動費、PTA会費及び生徒会費を追加するよう要綱改正を行い、事業の目的に沿った必要な援助を適切に実施していく必要がある。						経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して就学に係る費用の一部を継続的に援助する必要がある。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校教育振興事業		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	15	中学校費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 概要	生徒の豊かな読書経験の機会を充実し、読書活動を推進するため、学校図書の整備を行う事業である。また、観察・実験・体験等の活動を通じた基礎学力の向上を図るため、教育課程に対応した教材・教具の整備などを行う事業である。	学校図書及び教材備品の充実により、生徒の豊かな読書経験並びに基礎学力の向上に資する。	計画額	1,744	0	0	19,076	20,820	—
			当初予算額	776	0	0	20,503	21,279	
			決算額	691	0	2,493	13,465	16,649	
H27	学校図書及び教材備品等を計画的に整備した。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用した。また、運動部活動の競技力の向上を図るために地域で活躍するプロスポーツチームを招致したほか、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新した。	図書購入予算を増額し、学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	432	0	0	4,725	5,157	0.2
			当初予算額	432	0	0	4,725	5,157	
			決算額	400	0	530	4,725	5,655	
H28 具体的 的取組	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、プロの指導者を招致すること等により部活動の競技力等の向上を図るとともに、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。	まちづくり基金を活用して、教育用備品及び学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	432	0	0	4,725	5,157	0.2
			当初予算額	0	0	0	4,554	4,554	
			決算額	0	0	500	4,433	4,933	
H29	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。	まちづくり基金を活用して、教育用備品及び学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	440	0	0	4,813	5,253	0.3
			当初予算額	0	0	0	4,402	4,402	
			決算額	291	0	1,463	4,307	6,061	
H30	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。		計画額	440	0	0	4,813	5,253	
			当初予算額	344	0	0	6,822	7,166	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	中学校1校当たりの図書購入額	中学校1校当たりの図書購入額 (図書購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400		
	中学校1校当たりの教材購入額	中学校1校当たりの教材購入額 (教材購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000		
成果指標	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館(中学校)における図書標準に定められた冊数に対する蔵書数の市全体の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	130	計画値	130	計画値	130	計画値	130		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	126	実績値	125	実績値	134	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	21 点	5 点	22 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性 <input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	今後の方向性 理由 平成28年1月策定のさぬき市教育大綱において「読書のまち さぬき」として、読書を中心とした教育活動の充実を基本方針に掲げており、市内全ての生徒が豊かな読書経験を積み、知的活動の機会が増えるよう、一層学校図書の充実を図りたいと考えている。 また、国の理科教育振興補助事業やまちづくり基金等を活用して教材備品の整備・拡充を図り、生徒が生き生きと学べる学習環境づくりを行いたいと考えてる。						中学校教育の振興を図るため、学校図書や教材備品を各学校の実情に併せ整備することで、読書活動を推進するとともに学習環境の充実を図る必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権同和教育支援事業		担当課	人権推進課		記入日	平成30年6月11日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	30	社会教育費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	学校、PTA及び各種研究団体における人権・同和教育事業に対し、活動を支援とともに、じんけんフェスタinさぬきの開催により市民に対して幅広い啓発活動を行う。	人権同和教育における啓発活動を支援することにより、学校(園)での人権教育の推進を図り、各種差別に対する理解を深めるように促進する。	計画額	0	0	0	23,267	23,267	—
			当初予算額	0	0	0	24,038	24,038	
			決算額	0	0	0	15,749	15,749	
H27	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進した。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催	じんけんフェスタinさぬきを「辛立文化センター冬のつどい」と辛立文化センターにて同時開催し、イベント運営経費の削減及びより多くの参加を得ることできた。	計画額	0	0	0	5,867	5,867	0.2
			当初予算額	0	0	0	5,867	5,867	
			決算額	0	0	0	5,500	5,500	
H28 具体的 的 取 組	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催	人権講演会等の活動資金を支援することで、さまざまな講師に依頼することができ、人権意識を高める機会を提供した。	計画額	0	0	0	5,800	5,800	0.2
			当初予算額	0	0	0	5,895	5,895	
			決算額	0	0	0	5,024	5,024	
H29	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催	人権・同和問題について理解を深める機会となった。また、PTAが参加することで、親子で共に学ぶ機会となるとともに、幼稚園では同年代の保育所との合同開催することにより、交流も深められた。	計画額	0	0	0	5,800	5,800	0.4
			当初予算額	0	0	0	5,615	5,615	
			決算額	0	0	0	5,225	5,225	
H30	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催		計画額	0	0	0	5,800	5,800	
			当初予算額	0	0	0	6,661	6,661	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	人権・同和教育支援団体数	人権・同和教育支援に係る支援団体数 幼稚園・小・中学校のPTA組織、その他団体3	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	23	計画値	23	計画値	22	計画値	22			
					実績値	22	実績値	23	実績値	19	実績値				
成果指標	じんけんフェスタの開催	幼稚園、小・中学生による人権啓発活動の発表会を開催する	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回数	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1			
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値				
成果指標	人権・同和教育支援団体の活動参加者数	人権・同和教育支援団体における実施事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000			
					実績値	10,469	実績値	7,258	実績値	8,311	実績値				
評価	人権フェスタの参加者数	人権フェスタの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500			
					実績値	1,700	実績値	1,200	実績値	1,500	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	21 点	4 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		3 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		2 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		3 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
今後の方向性	人権・同和教育の啓発活動を推進するためには、各種団体と協力連携を行う。また、行事の企画運営を一層工夫していく必要がある。							人権同和教育を推進・啓発する団体への支援を継続的に推進することは必要だが、その活動内容が形骸化していないか等の検討が必要である。 また、啓発活動を行う団体への支援であることから、人権・同和啓発事業の中で事業実施することも検討する必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権・同和啓発事業		担当課	人権推進課		記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	01 一般会計		
基本施策	22	(22)学校教育の充実	款 50 教育費		
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	項 30 社会教育費		
			目 20 人権教育費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	人権・同和教育に対する啓発活動を行う。 人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行った。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	幼・小・中学生から標語・作文・習字・硬筆・ポスターを募集し、作品集や展示を行うことにより、市民に対する人権啓発活動に活用している。 作品を市役所や各支所等に展示することにより、多くの市民が身近に人権問題を感じてもらえる機会を提供した。	計画額	0	0	0	1,249	1,249	—
			当初予算額	0	0	0	1,130	1,130	
			決算額	0	0	0	647	647	
H27 具 体 的 取 組	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	親子で人権について考え、じんけんフェスタ等で作品展示をすることにより人権問題を身近に感じてもらえる機会を提供した。また、辛立文化センターにて標語作品を2か月間(10~11月)展示を行った。	計画額	0	0	0	319	319	0.2
			当初予算額	0	0	0	319	319	
			決算額	0	0	0	222	222	
H28 具 体 的 取 組	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	親子で人権について考え、じんけんフェスタ等で作品展示をすることにより人権問題を身近に感じてもらえる機会を提供した。	計画額	0	0	0	310	310	0.2
			当初予算額	0	0	0	277	277	
			決算額	0	0	0	209	209	
H29 具 体 的 取 組	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	親子で人権について考え、じんけんフェスタ等で作品展示をすることにより人権問題を身近に感じてもらえる機会を提供した。	計画額	0	0	0	310	310	0.4
			当初予算額	0	0	0	250	250	
			決算額	0	0	0	216	216	
H30 具 体 的 取 組	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布		計画額	0	0	0	310	310	
			当初予算額	0	0	0	284	284	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30									
活動指標	幼・小・中学校への依頼回数	人権・同和啓発作品簿募集・展示・文集作成配布回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4								
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値	4	実績値	4	実績値									
成果指標	広報「さぬき」掲載回数	広報「さぬき」に『人権教育シリーズ』を掲載した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12								
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	12	実績値	12	実績値	12	実績値									
評価	人権・同和教育作品応募数	幼・小・中学生から応募があった作品数(標語・作文・習字・硬筆・ポスター)	<input type="checkbox"/> 総合計画	点	計画値	300	計画値	300	計画値	300	計画値	300								
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	223	実績値	232	実績値	210	実績値									
評価		チェック項目(1~5点で評価)	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)											
			評価点		評価点合計		評価点		評価点合計											
			1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4 点		4 点		20 点									
			2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4 点		4 点											
			3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)		1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3 点		4 点											
			4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4 点		4 点											
			5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4 点		4 点											
今後の方向性		一次評価(担当者)					二次評価(所属長)													
		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止													
理由		親子で作品を作成することで人権について考え、人権週間やじんけんフェスタで作品を展示することで人権啓発の機会となるので、今後も継続していくものとする。					人権・同和問題に対する啓発活動は必要不可欠な事業であり継続的に推進していく必要がある。 ただし、学校への依存度を高めるのではなく、広く市民を対象とした取組みを進める必要があると考える。													

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校給食事業	担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月7日
-----	--------	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22) 学校教育の充実	項	35	保健体育費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	45	学校給食費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	全ての市立幼稚園、小中学校に安全でおいしい学校給食を提供し、食育の推進を図るため、学校給食共同調理場を管理運営する事業である。	市内の幼稚園・小学校・中学校に安全でおいしい給食を提供し、食育の推進を図ることを目的とする。	計画額	0	0	880,929	384,531	1,265,460	—
			当初予算額	0	0	881,739	523,882	1,405,621	
			決算額	0	0	650,519	223,697	874,216	
H27	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,600食の学校給食の調理、提供を行った。また、老朽化した施設設備を計画的に整備するため、大川調理場においてコンベクションオーブンの更新や空調設備の増設を、志度調理場において食器・食缶洗浄機の一部の更新を行った。	・計画していた大型調理機等の更新を行い、調理の効率化を図った。	計画額	0	0	223,929	96,531	320,460	0.0
			当初予算額	0	0	223,929	96,531	320,460	
			決算額	0	0	215,742	94,573	310,315	
H28 具体的 的取 組	共同調理場2か所において、年間約200日・1日約4,300食の学校給食の調理、提供を行った。また、大川調理場ではコンベクションオーブン、志度調理場では食缶洗浄機等、老朽化した施設設備を計画的に更新した。	・計画していた大型調理機等の更新を行い、調理の効率化及び安全化を図った。 ・安全な調理体制を構築するため、調理班を編成し班長制度の導入を検討した。	計画額	0	0	220,000	96,000	316,000	14.1
			当初予算額	0	0	247,370	132,688	380,058	
			決算額	0	0	233,778	60,935	294,713	
H29	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,300食の学校給食の調理、提供を行った。また、計画的設備更新で老朽化した志度調理場のボイラー設備を入れ替えた。	・不安定な動作をする調理設備等の更新を図った。	計画額	0	0	219,000	96,000	315,000	13.1
			当初予算額	0	0	209,199	140,837	350,036	
			決算額	0	0	200,999	68,189	269,188	
H30	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,100食の学校給食の調理、提供を行う。また、老朽化した施設設備の計画的な整備を行う。	・安全で安心な給食を作るうえで、効率的に設備の更新を進める。	計画額	0	0	218,000	96,000	314,000	
			当初予算額	0	0	201,241	153,826	355,067	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	給食実施日数	年間の給食実施日数(調理場の稼働日数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	202	計画値	203	計画値	204	計画値	202		
					実績値	201	実績値	202	実績値	204	実績値			
成果指標	1日当たりの調理食数	2か所の調理場における5月1日現在の1日当たりの調理食数の合計数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	食	計画値	4,588	計画値	4,386	計画値	4,300	計画値	4,116		
					実績値	4,588	実績値	4,386	実績値	4,140	実績値			
評価	地場産物使用率	学校給食に使用した食品総数に占める、県内産の食品数の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	31	計画値	32	計画値	32	計画値	33		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	31	実績値	33	実績値	34	実績値			
チェック項目(1~5点で評価)								一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	5 点	18 点	18 点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点						4 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点						4 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点						3 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点						2 点					
									／25点					
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	食物アレルギー対策に向けた体制整備については、現状施設設備では除去食の提供ができない、そのため、食物アレルギー詳細献立の確認で対応している。今後は調理場の改修や新調理場の建設など長期的な計画のなかで、大規模に施設整備の必要がある。 なお、今後の消費税の増税等、食料品の価格高騰により、給食費の改定も検討する必要がある。						少子化に伴う児童生徒の減少により、調理食数の減少が予想されることから、施設の老朽化やアレルギー対応給食の調理などを含めた2調理場の在り方を検討する必要がある。 また、食材の高騰や消費税率の改定などを踏まえた給食費の検討も早急に実施する必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育相談体制支援事業		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22) 学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	児童生徒、保護者や教職員に対する相談活動に応じ、学校における教育相談体制の整備を図るため、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員及びスクールカウンセラーを派遣、配置する。	専門的な立場から児童生徒、保護者や教職員からの相談に応じ、支援を行うことにより、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見及び早期解決を図る。	計画額	13,248	0	0	14,526	27,774	—
			当初予算額	12,598	0	0	21,846	34,444	
			決算額	7,974	0	0	12,052	20,026	
H27	※H28年度から学校問題支援アドバイザー配置事業、心の教室相談員設置事業、スクールカウンセラー配置事業を本事業に一本化。		計画額						—
			当初予算額						
			決算額						
H28 具体的 的取 組	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)	・スクールソーシャルワーカーを各中学校に一人ずつ配置した。 ・心の教室相談員を小中連携の観点から中学校に増員した。	計画額	4,416	0	0	4,842	9,258	0.9 3.5
			当初予算額	4,458	0	0	7,166	11,624	
			決算額	4,274	0	0	4,885	9,159	
H29	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)	・スクールソーシャルワーカーを各中学校区に一人ずつ派遣した。 ・心の教室相談員7名を小・中学校に配置した。	計画額	4,416	0	0	4,842	9,258	1.1 3.2
			当初予算額	4,440	0	0	7,029	11,469	
			決算額	3,700	0	0	7,167	10,867	
H30	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)		計画額	4,416	0	0	4,842	9,258	
			当初予算額	3,700	0	0	7,651	11,351	
			決算額						

指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
				総合計画	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
活動指標	スクールソーシャルワーカーの配置校数		校	総合戦略	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
	心の教室相談員の年間勤務時間数			総合戦略	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
成果指標	スクールソーシャルワーカーが支援した児童生徒のうち問題が好転及び解決した割合		%	総合戦略	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数			総合計画	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い						5点	21点	5点	24点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている						4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い						4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない						4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						4点	／25点	5点	／25点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれている立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要です。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っており、一定の成果を収めています。						様々な要因により支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、それぞれの状況や置かれている立場を専門的立場から継続的に支援することが求められていることから、学校において児童生徒がスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーについても相談可能となる体制を整備する必要がある。 そのためには、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの増員配置を検討する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	児童就学援助事業		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	(2)	②就学前教育の充実	目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	経済的理由により、就学が困難な児童の家庭に対して、学校生活に要する費用の一部を援助する事業である。また、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な援助を行う事業である。	経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、就学援助費を支給することにより、就学を支援し、もって義務教育の円滑な実施に資する。	計画額	1,336	0	0	62,128	63,464	—
			当初予算額	3,097	0	0	64,738	67,835	
			決算額	2,130	0	0	42,774	44,904	
H27	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給した。	就学援助費支給要綱に基づき、対象者の認定及び援助費の支給を行ったほか、マイナンバーエリア施行に伴い所要の要綱改正を行った。	計画額	334	0	0	15,532	15,866	0.1
			当初予算額	334	0	0	15,532	15,866	
			決算額	636	0	0	13,815	14,451	
H28 具体的 的取組	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。	新入学児童生徒学用品費等の支給単価及び支給時期の前倒しについて検討を行った。	計画額	334	0	0	15,532	15,866	0.2
			当初予算額	717	0	0	16,232	16,949	
			決算額	668	0	0	14,281	14,949	
H29	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。	新入学児童生徒学用品費の支給時期を早め、3月に支給するよう変更した。また、平成30年度から支給費目に生徒会費及びPTA会費を追加するよう要綱改正を行った。	計画額	334	0	0	15,532	15,866	0.3
			当初予算額	922	0	0	15,668	16,590	
			決算額	826	0	0	14,678	15,504	
H30	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	334	0	0	15,532	15,866	
			当初予算額	1,124	0	0	17,306	18,430	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	就学援助費平均支給額	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の児童1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	68	計画値	68	計画値	68	計画値	68			
	就学奨励費平均支給額	特別支援教育就学奨励費の児童1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	32	計画値	32	計画値	32	計画値	32			
成果指標	就学援助費受給率	小学校の全児童数のうち、就学援助費の支給を受けている者の割合(認定児童数÷全児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	8.0	計画値	8.0	計画値	8.0	計画値	8.0			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	8.3	実績値	8.7	実績値	9.2	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 ／25点	5点	23点 ／25点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	義務教育の円滑な実施を目的に、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費や学用品の購入等に要する費用を継続的に支給する必要があるため、現在の支給水準を維持する必要がある。 また、新入学児童生徒学用品等の支給単価を国の補助単価改定に合わせて増額改定し、支給時期についても、入学前の3月に支給するよう変更した。 なお、平成30年度からは支給費目にPTA会費及び生徒会費を追加するよう要綱改正を行っており、事業の目的に沿った必要な援助を適切に実施していく必要がある。						経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して就学に係る費用の一部を継続的に援助する必要がある。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	民間幼稚園運営事業(旧私立幼稚園補助事業)		担当課	子育て支援課幼保連携推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	-----------------------	--	-----	---------------	-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	【就園奨励費補助】私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担の軽減等を目的に、保育料の一部を補助する。 【施設型給付】私立幼稚園の教育・保育ニーズに応じて必要となる経常的経費を、保護者に対する個人給付として支給する。 (施設が代理受領)	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担軽減と私立幼稚園への就園機会の拡充を図る。	計画額	4,068	0	0	13,527	17,595	—
			当初予算額	50,213	0	0	30,058	80,271	
			決算額	14,932	0	0	12,926	27,858	
H27 具体的 的取 組	※学校教育課から移管。	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担軽減と私立幼稚園への就園機会の拡充を図るとともに、公立幼稚園と私立幼稚園の保護者負担の格差を解消した。	計画額						—
			当初予算額						
			決算額						
H28	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付。(対象者52名) 28年度については、施設型給付対象施設は該当なし。	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担軽減と私立幼稚園への就園機会の拡充を図るとともに、公立幼稚園と私立幼稚園の保護者負担の格差を解消した。	計画額	1,356	0	0	4,509	5,865	0.3
			当初予算額	1,369	0	0	4,521	5,890	
			決算額	1,975	0	0	4,538	6,513	
H29	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付。新制度移行幼稚園に対して、さぬき市が認定した1号認定こどもを教育・保育するために必要となる経常的経費を施設に給付。	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担軽減と私立幼稚園への就園機会の拡充を図る。	計画額	1,356	0	0	4,509	5,865	0.3
			当初予算額	31,048	0	0	14,778	45,826	
			決算額	12,957	0	0	8,388	21,345	
H30	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付。新制度移行幼稚園に対して、さぬき市が認定した1号認定こどもを教育・保育するために必要となる経常的経費を施設に給付。		計画額	1,356	0	0	4,509	5,865	
			当初予算額	17,796	0	0	10,759	28,555	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	補助対象園児数	私立幼稚園通園児童のうち負担軽減対象園児数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	41	計画値	41	計画値	41	計画値	41			
	市内私立幼稚園	市内の私立幼稚園の定員	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値	45	計画値	45			
成果指標	対象園児一人当たりの負担軽減金額	対象園児一人当たりの負担経験金額(補助金支出総額 ÷ 対象園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	143	計画値	143	計画値	143	計画値	143			
	私立幼稚園に在籍する子ども	私立幼稚園に在籍する市内の子ども(3月1日現在)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値	36	計画値	36			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	18 点 ／25点	4 点 4 点 2 点 3 点 5 点	4 点 4 点 2 点 3 点 5 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点							
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 統合・廃止								
今後の方向性	私立幼稚園の役割は、年々重要性を増している。比較的柔軟に活用できる預かり保育の実施、特徴のある教育理念に基づいた教育・保育さらには満3歳から教育を受けられる環境等は、公立幼稚園にはない私立幼稚園ならではの特性である。今後、多様化する保護者ニーズへの対応、保護者の選択肢の拡大等を考えると、私立幼稚園に対する本事業は現状維持としたい。						私立幼稚園については、特色のある教育理念に基づき就学前教育を行つおり、保護者のニーズもあることから、保護者の選択肢のひとつとして事業を継続する必要がある。								
理由															

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設整備事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	20	幼稚園費
主要施策	②	②就学前教育の充実	目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	幼稚園施設の適正・効率的な整備を行い、良好な教育環境の維持を図る。	幼稚園施設の危険個所、破損個所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事、修繕を行うことで、施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	27,988	27,988	—
			当初予算額	0	0	7,712	25,610	33,322	
			決算額	0	0	0	20,926	20,926	
H27	主に幼稚園施設の改修工事及び營繕工事を実施した。	緊急性の高い個所については、優先的に改修・修繕工事を実施し、教育環境の改善及び園児の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	4,988	4,988	0.1
			当初予算額	0	0	0	4,988	4,988	
			決算額	0	0	0	6,018	6,018	
H28 具体的 的取組	主に幼稚園施設の改修工事及び營繕工事を実施する。	幼稚園からの修繕要望に対して、現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事、修繕を実施した結果、良好な教育環境を維持することができた。	計画額	0	0	0	6,000	6,000	0.1
			当初予算額	0	0	0	9,047	9,047	
			決算額	0	0	0	9,182	9,182	
H29	主に幼稚園施設の改修工事及び營繕工事を行う経費である。	聞き取りや現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事、修繕を実施した結果、限られた予算内で施設の安全確保及び教育環境の改善を最大限に図ることができた。	計画額	0	0	0	8,000	8,000	0.1
			当初予算額	0	0	0	4,687	4,687	
			決算額	0	0	0	5,726	5,726	
H30	主に幼稚園施設の改修工事及び營繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	9,000	9,000	
			当初予算額	0	0	7,712	6,888	14,600	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	16	計画値	16	計画値	24	計画値	24		
					実績値	27	実績値	8	実績値	10	実績値			
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	20 点	4 点	21 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点	／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	老朽化した施設は雨漏りや漏水等、緊急的な対応を要する修繕が増えていることから、計画的な施設の整備が必要である。						各施設の老朽化が進む中、安全・安心な教育環境の維持を図り、良好な教育環境を維持していくためには必要不可欠な事業である。 予算的な制約の中で、優先度も考慮しながら計画的に教育環境の保全及び園児の安全確保に努めていかなければならないと考えるが、突発的で緊急性が高い修繕等への予算対応が難しいことが多い。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(教育総務課分)		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	20	幼稚園費
主要施策	②	②就学前教育の充実	目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	公立幼稚園8園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を図る。	計画額	0	0	1,941	25,985	27,926	—
			当初予算額	67	0	2,722	21,077	23,866	
			決算額	0	0	0	16,703	16,703	
H27	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	1,541	4,765	6,306	0.2
			当初予算額	0	0	1,571	4,765	6,336	
			決算額	0	0	0	5,646	5,646	
H28 具体的 的取組	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。	保守点検結果に基づいた修繕等を実施したことにより施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	7,420	7,420	0.2
			当初予算額	67	0	1,151	4,513	5,731	
			決算額	0	0	0	5,484	5,484	
H29	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。	各幼稚園の設備保守管理委託及び事務機器、土地の借上げ等により、学校運営が適切に行えるよう環境整備を図った。	計画額	0	0	183	7,517	7,700	0.2
			当初予算額	0	0	0	5,996	5,996	
			決算額	0	0	0	5,573	5,573	
H30	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	217	6,283	6,500	
			当初予算額	0	0	0	5,803	5,803	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	保守点検回数	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	36	計画値	36	計画値	36	計画値	36		
					実績値	36	実績値	36	実績値	39	実績値			
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	20 点	4 点	21 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点	／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	幼稚園の運営及び施設の維持管理上、必要不可欠な経費であるため継続して実施する。						施設の管理運営及び安全性を確保するためには、年間を通じての維持管理に努めていく必要があり、委託契約、賃貸契約等を一元管理することで効率的な運用を行う必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(学校教育課分)		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	20	幼稚園費
主要施策	②	②就学前教育の充実	目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 <small>事業概要</small>	市立幼稚園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	74,151	206,040	280,191	—	
			当初予算額	0	0	24,717	76,684	101,401		
			決算額	0	0	27,950	62,742	90,692		
H27	・幼稚園8園の運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業1園、県幼児教育研究発表園1園、県人権・同和教育研究大会報告園1園)	・さぬき南幼稚園が県の学力向上モデル校事業(幼小連携実践研究)の指定を受け、研究に取り組んだ。	計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	40.9	24.0
			当初予算額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			決算額	0	0	27,950	54,863	82,813		
H28 <small>具体的取組</small>	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理 ※H28年度から学校保健関係予算を除き「幼保連携推進室」に移管。	幼稚園における保健事業の円滑な運営を継続して実施した。	計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,028	4,028		
			決算額	0	0	0	3,967	3,967		
H29	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理	幼稚園における保健事業の円滑な運営を継続して実施した。	計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,976	3,976		
			決算額	0	0	0	3,912	3,912		
H30	※H30年度から「幼保連携推進室」の幼稚園施設管理事業に移管。		計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	幼稚園数	市立幼稚園の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	園	計画値	8	計画値	8	計画値	8	計画値	8	
	研究指定事業に取り組む幼稚園数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延べ幼稚園数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
成果指標	園児一人当たりの幼稚園運営及び施設管理に係る経費(事業費決算額÷園児数)	幼稚園運営及び施設管理に係る経費(事業費決算額÷園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	163	計画値	163	計画値	163	計画値	163	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	163	実績値	207	実績値	260	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	18 点	5 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点		3 点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止							○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由	幼稚園の保健事業は、園児の健康管理に重要であり、今後は幼保連携推進室に移管し、管理していく。							幼稚園の保健事業は、園児の健康管理に重要であり、今後は幼保連携推進室に移管し、管理していく。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(幼保連携推進室分)		担当課	子育て支援課幼保連携推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	---------------------	--	-----	---------------	-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計	
款	50	教育費	
項	20	幼稚園費	
目	05	幼稚園管理費	

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 <small>事業概要</small>	市立幼稚園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。 <small>※学校保健関係予算を除き、学校教育課から移管。</small>	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	74,151	206,040	280,191	— —
			当初予算額	5,297	19,508	16,047	265,400	306,252	
			決算額	5,445	0	42,626	130,566	178,637	
H27 <small>具体的 的 取 組</small>	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理	前年度に引き続き、配慮を要する幼児の支援として積極的に生活補助員を各園に配置した。また、国が進める幼児教育推進体制構築事業を実施し、教員の資質向上を図った。	計画額						— —
			当初予算額						
			決算額						
H28 <small>具体的 的 取 組</small>	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理	配慮を要する幼児の支援として生活補助員を各園に積極的に配置。幼小連携の充実のために研修を行うなどの学力向上モデル校事業、教員の資質向上を図る幼児教育推進体制構築事業を実施した。	計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	28.1 37.9
			当初予算額	0	0	0	97,632	97,632	
			決算額	2,714	0	23,566	55,400	81,680	
H29 <small>具体的 的 取 組</small>	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理	配慮を要する幼児の支援として生活補助員を各園に積極的に配置。幼小連携の充実のために研修を行うなどの学力向上モデル校事業、教員の資質向上を図る幼児教育推進体制構築事業を実施した。	計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	29.7 33.4
			当初予算額	2,704	19,508	0	85,726	107,938	
			決算額	2,731	0	19,060	75,166	96,957	
H30 <small>具体的 的 取 組</small>	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	
			当初予算額	2,593	0	16,047	82,042	100,682	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	幼稚園数	市立幼稚園の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	園	計画値	8	計画値	8	計画値	8	計画値	8				
	研究指定事業に取り組む幼稚園数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延べ幼稚園数			実績値	8	実績値	8	実績値	8	実績値					
成果指標	園児一人当たりの幼稚園運営及び施設管理経費	幼稚園運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額÷園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	163	計画値	163	計画値	163	計画値	163				
					実績値	163	実績値	207	実績値	260	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	18点 /25点					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	少子化の進行、女性の社会進出等により、幼稚園の就園率は減少傾向にあるものの、小学校への接続を意識した幼児教育を提供する施設としての意義は大きいと考えるため、本事業は現状維持としたい。 しかしながら、一定程度の集団規模を形成できなければ、集団の中での幼児教育を提供することは難しいため、園児数を見ながら、保護者のニーズや地域の動向等も含め、市立幼稚園の在り方を検討していくことが望まれる。						保護者の就労形態等の多様化に伴い、幼稚園への就園率は減少しているものの、預かり保育事業を含めた保護者ニーズはあるため、現状維持としたい。 しかしながら、今後、各地域毎の実態を把握し、幼稚園のみならず、保育所、認定こども園のあり方について、民間活力も含めて方向性を見出していく必要がある。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園預かり保育事業		担当課	子育て支援課幼保連携推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	------------	--	-----	---------------	-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22)学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常の教育時間終了後、長期休業期間中及び7時30分から8時30分までの早朝に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常の教育時間終了後、長期休業期間中及び7時30分から8時30分までの早朝に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する。	計画額	0	0	25,614	9,237	34,851	—
			当初予算額	3,584	0	27,415	3,327	34,326	
			決算額	270	0	19,057	176	19,503	
H27 H28 具体的 的取組	※学校教育課から移管。 保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後等に預かり保育を実施する。	生活補助員を教育時間終了後に預かり保育指導員として雇用し、幼児の支援の充実を図った。	計画額						—
			当初予算額						
			決算額						
H29	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後等に預かり保育を実施する。	生活補助員を教育時間終了後に預かり保育指導員として雇用し、幼児の支援の充実を図った。	計画額	0	0	8,538	3,079	11,617	3.8
			当初予算額	0	0	9,682	1,533	11,215	
			決算額	0	0	9,820	0	9,820	
H30	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後等に預かり保育を実施する。	生活補助員を教育時間終了後に預かり保育指導員として雇用し、幼児の支援の充実を図った。	計画額	0	0	8,538	3,079	11,617	4.2
			当初予算額	1,136	0	10,093	569	11,798	
			決算額	270	0	9,237	176	9,683	

指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30								
				計画値	9	計画値	9	計画値	9	計画値	9							
活動指標	預かり保育指導員数 預かり保育に携わる臨時職員(預かり保育指導員)の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	9	計画値	9	計画値	9	計画値	9							
				実績値	12	実績値	12	実績値	13	実績値								
成果指標	預かり保育利用人数 預かり保育を利用した園児数(年度末) 年間:140人(H27) 136人(H28) 一時:45人(H27) 34人(H28)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値								
				実績値		実績値		実績値		実績値								
成果指標	預かり保育利用人数 預かり保育を利用した園児の延べ人数(29年度から1日当たりの料金体系としたため、延べ人数を指標とすることに変更。)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200							
				実績値	185	実績値	170	実績値	—	実績値	—							
評価	チェック項目(1~5点で評価)								一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
									評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点	18点	4点	18点							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点			3点								
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点			4点								
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点			4点								
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点			3点								
方向性	一次評価(担当者)								二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
今後の方向性	本事業は、保護者の就労支援及び子育て支援の一環として、大きな役割を担っていると考えることから、現状維持として継続していきたい。						現状、保育所において国の定義する待機児童が発生していないのは、本事業の成果であると認識している。 当面の間は、本事業を継続とし、保護者ニーズに応えることとするが、地域によっては、保育所(園)及び認定こども園のあり方を含め、検討する必要がある。											
	理由																	

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	奨学金事業		担当課	教育総務課		記入日	平成30年6月11日
-----	-------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費		
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	10	事務局費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国県支払金	地方債	その他	一般財源					
H27 ～ H30 概要	事業 概要 高校・高等専門学校:月額15,000円 大学・短大・専修学校:月額37,000円	経済的理由により進学・就学が困難である者に対し、奨学金を無利子で貸与し、卒業後貸付期間に2年を加えた期間内で返還させる。	教育機会の均等の確保を図り、次代を担う人材の育成に寄与する。	計画額	0	0	116,349	9,691	126,040	—	—
			当初予算額	0	0	99,455	18,291	117,746			
			決算額	0	0	84,780	509	85,289			
H27	高校・高等専門学校の生徒3名、大学・短大・専修学校の学生70名に貸し付け、のべ112名から返還を受けた。 また、返還者に現況届を提出させた。	・債権管理強化の観点から、返還者に現住所等の現況届を提出させた。 ・今後の奨学金制度の見直しの参考とするため、貸付者に対しアンケート調査を実施した。	計画額	0	0	28,849	2,691	31,540	0.2	0.0	
			当初予算額	0	0	28,849	2,691	31,540			
			決算額	0	0	30,948	444	31,392			
H28 具体的 的取組	高校・高等専門学校の生徒6名、大学・短大・専修学校の学生60名に貸し付け、109名から返還を受ける。 返還者に現況届を提出させる。	・制度利用者の利便性向上等を目的として、大学生への貸付期間を「正規の修業年限」とするとともに、返還期間を貸付期間の3倍の期間に延長した。 ・債権管理強化の観点から連帯保証人制度を導入した。	計画額	0	0	30,000	1,500	31,500	0.3	0.0	
			当初予算額	0	0	30,641	323	30,964			
			決算額	0	0	27,276	33	27,309			
H29	高校・高等専門学校の生徒2名、大学・短大・専修学校の学生59名に貸し付け、111名から返還を受ける。 返還者に現況届を提出させる。	・奨学生採用に係る年度間の公平性を確保するため、所得基準(上限)を設けたほか、所得の認定方法を改めた。 ・債権管理室と連携し、滞納の解消に努めた。	計画額	0	0	30,000	1,500	31,500	0.3	0.0	
			当初予算額	0	0	16,059	10,633	26,692			
			決算額	0	0	26,556	32	26,588			
H30	高校・高等専門学校の生徒3名、大学・短大・専修学校の学生60名に貸し付け、108名から返還を受ける。 返還者に現況届を提出させる。		計画額	0	0	27,500	4,000	31,500			
			当初予算額	0	0	23,906	4,644	28,550			
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	貸付金額	当該年度に交付した奨学生貸付金の額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	万円	計画値	3,154	計画値	3,091	計画値	3,000	計画値	3,000		
	償還金額	貸し付けた奨学生の当該年度に償還(返還)された金額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2,885	計画値	3,064	計画値	3,000	計画値	3,000		
成果指標	奨学生交付決定者数	当該年度に奨学生を新規に交付することにより、進学又は修学することができた学生等の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	18	計画値	19	計画値	17	計画値	17		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	22	実績値	15	実績値	23	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	18 点	4 点	21 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input checked="" type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
		直近の2か年度において、応募者数が増加しており、市民からの需要は増していると思われる。しかし、募集時期や募集人数の点で、応募者から改善の要望等が寄せられている。一方、市以外の奨学生制度(日本学生支援機構、香川県等)もあることから、それらとの違いを明確にし、市の奨学生制度の在り方を検討していく必要がある。						大学や専修学校等への進学率が高まるなか、家庭の経済的事情によって就学の機会を失うことがないようにするために必要である。募集時期や募集人数の点においては、改善の余地があると考える。滞納の発生により、貸付金の原資となる返還金が全額回収できていないため、債権管理室と連携した滞納整理が必要である。						
理由														

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校再編計画推進事業		担当課	学校再編対策室		記入日	平成30年6月15日
-----	------------	--	-----	---------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	学校等の統合に関し保護者・地域・学校等との意見交換、協議、検討を行い、学校等の施設・設備環境の整備に必要な業務を実施する。	文科省の教育指針、学校再編計画や本市教育指針等を踏まえ、より良い学習環境を提供できるよう説明会等により理解を深め、意見聴取、協議、検討し、子どもの健全育成を図ることを目的とする。	計画額	0	95,300	0	15,230	110,530	—
			当初予算額	0	95,300	0	14,801	110,101	
			決算額	0	62,500	0	11,469	73,969	
H27	学校等の統合のため、関係者等に対する説明会等を実施するなど、意見を聴取し、統合の時期・場所等について決定した。・「前山・長尾小学校」の統合に際し、保護者又は地域説明会を実施(計4回)・「神前・石田小学校」の統合に際し、保護者又は地域説明会を実施(計12回)・「津田地区の幼稚園及び保育所」の統合に関する保護者説明会を実施(計4回)	次年度における小学校の統合に関する統合準備委員会等を設置し、統合についての詳細事項を決定した。	計画額	0	0	0	3,445	3,445	0.7
			当初予算額	0	0	0	3,445	3,445	
			決算額	0	0	0	2,935	2,935	
H28 具体的 的取組	H29統合「前山・長尾小学校」保護者協議会は、計4回実施。また、統合に伴う前山小学校の備品移転業務を実施。H31統合「神前・石田小学校」統合準備委員会は、計5回実施。また、標準服・体操服選定委員会は、計3回実施。H31統合「津田地区の幼稚園及び保育所」については、新園舎建築予定地の旧津田中学校の解体工事を実施。	保護者協議会では、通学方法の協議決定を行い、統合準備委員会では、学校名称や、校章・校歌について協議・決定した。なお、この協議内容及び結果については、お知らせ等により、地域にも情報提供を行った。	計画額	0	95,300	0	7,245	102,545	0.8
			当初予算額	0	95,300	0	7,245	102,545	
			決算額		62,500	0	6,504	69,004	
H29	石田・神前小学校(寒川小学校)の統合に関して、H29では統合準備委員会を計6回、標準服・体操服選定委員会を計2回実施した。また、長尾・造田小学校の統合に関して、造田地区の幼稚園及び保育所の保護者意見交換会を実施した。	寒川小学校の校歌・校章が完成し、登下校ルートの決定に伴い、通学路の危険箇所の確認と改善要望を行った。また、遠距離通学となる児童の支援として、スクールバスの利用対象エリアと乗降場所を決定した。	計画額	0	0	0	2,270	2,270	0.6
			当初予算額	0	0	0	2,083	2,083	
			決算額	0	0	0	2,030	2,030	
H30	学校再編計画推進のため、関係者に対する説明会又は統合準備委員会等を実施するなどし、意見聴取とともに、理解を深め、統合に関する詳細を決定する。		計画額	0	0	0	2,270	2,270	0.1
			当初予算額	0	0	0	2,028	2,028	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	統合準備委員会及び保護者説明会等の実施回数	小学校等の統合に関する保護者説明会、地域説明会、統合準備委員会等の実施回数を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	5	計画値	4	計画値	4			
	統合に関する情報提供についての実施回数	統合に関する説明会、統合準備委員会などの決定事項について、広報、たより等により関係地域に対し情報提供した実施回数を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2	計画値	2	計画値	4	計画値	4			
成果指標	統合に関する進捗状況	学校再編計画に示す学校等の統合に関し、その進捗状況を数値化する。小14校1分校を6校、中6校を3校、幼12園1分園を6園(15/34) ・当該年度末学校(園)数／計画学校(園)数15	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	71	計画値	71	計画値	75	計画値	75			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	71	実績値	71	実績値	78	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							5点	21点	4点	20点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							4点		4点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							3点		3点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							4点		4点					
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い							5点		5点					
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 統合・廃止							
理由	既に決定している、石田・神前小学校の統合に関しては、必要な協議を終えているが、検討を要する事案が生じた場合は、すぐさま統合準備委員会を開催し、その解決に当たり、円滑に新学校へ引き継げるよう、十分に配慮する。 検討中である長尾地区における統合については、今後も、保護者や地域の意見聴取と児童数の推移を勘案しながら、方向性や統合時期を決定していく必要がある。 また、既に統合を終えた学校についても、児童・生徒・園児数を注意深く観察し、推移を考慮しながら、適正規模の維持、学校等運営が良好に保てるよう取り組みを行う必要がある。							市内における適正な学校規模を確保すること及び学習環境の公平性を保ち、より良い学習環境を提供する必要があることから、「さぬき市学校再編計画」に基づき、学校の再編を進めてきており、今後は、長尾地区の小中学校の施設の方向性を検討するとともに、長尾地区における就学前教育及び小中学校等のあり方を検討する必要がある。 学校再編計画の計画内容を推進するとともに、スムーズな統合になるよう、学校、保護者、地域が連携して協議調整を行うために必要な事業であり、統合時に保護者、児童が学校運営で混乱を招かぬよう、スムーズな統合に貢献している。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公立学校施設台帳図面整備事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	----------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	公立学校施設台帳システムを整備し、学校施設の適切な情報管理を行う。	学校施設の施設情報や大規模改修履歴等の情報をシステムにて管理する。	計画額	0	0	0	924	924	—
			当初予算額	0	0	0	724	724	—
			決算額	0	0	0	724	724	—
H27	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設:さぬき南小学校・さぬき南幼稚園・志度中学校)	前年度に整備したさぬき南小学校、さぬき南幼稚園及び志度中学校の施設データを更新した。	計画額	0	0	0	724	724	0.1
			当初予算額	0	0	0	724	724	0.0
			決算額	0	0	0	724	724	0.0
H28 具体的 的取組	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 ※志度中学校改修に伴う登録処理を予定していたが、校舎面積の増減等の作業が不要となったことから、28年度は事業を実施しない。	業者による登録処理を必要とする施設の新設や変更、面積増減等は無かつたため、各学校施設の教室配置に基づく教室属性の更新のみ行った。	計画額	0	0	0	200	200	0.1
			当初予算額	0	0	0	0	0	0.0
			決算額	0	0	0	0	0	0.0
H29	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設未定のため事業計画額も未定)	業者による登録処理を必要とする施設の新設や変更、面積増減等は無かつたため、各学校施設の教室配置に基づく教室属性の更新のみ行った。	計画額	0	0	0	0	0	0.1
			当初予算額	0	0	0	0	0	0.0
			決算額	0	0	0	0	0	0.0
H30	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設未定のため事業計画額も未定)		計画額	0	0	0	0	0	
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額	0	0	0	0	0	

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	登録処理件数	整備した学校施設の情報を登録処理した件数。(登録処理対象施設が生じた場合に計上)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	0	計画値	0	計画値	0		
					実績値	3	実績値	0	実績値	0	実績値			
成果指標	最新情報への更新比率	学校施設データを最新情報へ更新した比率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	18 点	3 点	18 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点	／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	今後の方向性	公立学校施設台帳は、学校施設の施設規模・建築年月・構造等を把握するとともに、過去の大規模改修履歴や国庫補助金充当の有無、各施設の工事図面等、学校施設に係る様々な情報を管理しており、国庫補助等を活用した学校施設整備のための正式な資料として位置付けられている。また、毎年公立学校施設の実態調査が行われており、これについては文科省から指定されたデータ形式での提出しなければならないことから、今後も継続して管理する必要があると考える。						公立学校施設台帳は、学校施設の施設規模・建築年月・構造等を把握するとともに、過去の大規模改修履歴や国庫補助金充当の有無、各施設の工事図面等、学校施設に係る様々な情報を管理していることなどから、今後も継続していく必要がある。また、幼稚園及び小・中学校の施設データを、毎年県へ報告する必要があることからも必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	遠距離通学児童生徒支援事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	---------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	遠距離通学が必要になった児童生徒を対象としたスクールバスの運行事業である。	スクールバスを運行することにより、遠距離通学が必要な生徒の負担を軽減する。	計画額	0	0	0	439,671	439,671	—
			当初予算額	0	0	0	386,328	386,328	
			決算額	0	0	0	226,075	226,075	
H27 具 体 的 取 組	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行した。	運行ルートは、乗車場所を含め、バスが安全に走行できる経路のなかで最短距離のものを選択した。また、全車両にスタッドレスタイヤを装着し、冬場の安全運行に努めた。	計画額	0	0	0	108,171	108,171	0.2
			当初予算額	0	0	0	108,171	108,171	
			決算額	0	0	0	77,754	77,754	
H28 具 体 的 取 組	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行する。	保護者に対する説明会の実施等により、運行経路・乗降時間の変更に対して理解を求め、安全かつ安価な運行経路を選択した。	計画額	0	0	0	108,500	108,500	0.2
			当初予算額	0	0	0	94,484	94,484	
			決算額	0	0	0	77,243	77,243	
H29 具 体 的 取 組	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行するため、受託業者所有バスを用いた輸送業務委託と、市所有バスを用いた運行管理業務委託及びその維持管理に必要な経費である。	保護者に対する説明会の実施等により、運行経路・乗降時間の変更に対して理解を求め、安全かつ安価な運行経路を選択した。	計画額	0	0	0	111,500	111,500	0.2
			当初予算額	0	0	0	94,317	94,317	
			決算額	0	0	0	71,078	71,078	
H30 具 体 的 取 組	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行するため、受託業者所有バスを用いた輸送業務委託と、市所有バスを用いた運行管理業務委託及びその維持管理に必要な経費である。		計画額	0	0	0	111,500	111,500	
			当初予算額	0	0	0	89,356	89,356	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	運行日数	スクールバスの年間運行便数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	便	計画値	6,653	計画値	6,320	計画値	6,300	計画値	6,300			
					実績値	5,593	実績値	5,649	実績値	6,702	実績値				
成果指標	利用者数	スクールバスを利用して通学する児童・生徒の数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	442	計画値	424	計画値	450	計画値	450			
					実績値	442	実績値	424	実績値	419	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	18 点	3 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2 点		3 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	スクールバスを利用できる対象者は統合により遠距離通学となった児童・生徒に限定しているため不公平な状態となっていることから見直しを検討する。							市立学校の統廃合に伴い、遠距離通学となった児童・生徒の負担を軽減する手段として必要不可欠な事業であると考えており、登下校時の安全確保の観点からも継続して取り組んでいく必要がある。 なお、スクールバスを利用できる対象者は、統合により遠距離通学となった児童・生徒に限定しているため、公平性が保てていない状態となっていることから見直しを行う必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	遠距離通学児童生徒支援事業		担当課	学校再編対策室	記入日	平成30年6月15日
-----	---------------	--	-----	---------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国県支払金	地方債	その他	一般財源					
H27 ～ H30 事業概要	遠距離通額となる児童のスクールバス購入や、バス停まで自転車通学する生徒用の駐輪場など、通学支援に関するハード面の計画及び整備を行う。	学校再編計画により、遠距離通学となる児童及び生徒に対し、ハード面における通学支援の計画及び整備し、負担等の軽減を図る。	計画額	0	0	0	0	0	—		
			当初予算額	0	6,400	380	0	6,780	—		
			決算額	0	3,500	195	0	3,695	—		
H27	具体的 的 取 組		計画額								
			当初予算額								
			決算額								
H28			計画額								
			当初予算額								
			決算額								
H29	※H29から中学校統合事業のうち、通学支援に関するハード面の整備を引き継ぎ実施した。 旧津田中学校をスクールバスの乗降場所として利用する生徒は、旧津田中学校駐輪場を使用していたが、津田こども園の整備のため、駐輪場を撤去する必要が生じたことから、利用者50名分の駐輪場を整備した。	駐輪場の移転に当たり、業者調整と事前周知を徹底し、工事現場との区画を設け、新駐輪場を利用する生徒の安全を確保した。	計画額	0	0	0	0	0	0.1	0.0	
			当初予算額	0	6,400	380	0	6,780			
			決算額	0	3,500	195	0	3,695			
H30	※H29で本事業(ハード整備)終了。ただし、スクールバスの運行については、引き続き教育総務課が実施する。		計画額								
			当初予算額								
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	遠距離通学者支援用駐輪場整備数	学校の統合によって、遠距離通学となった生徒に対し、スクールバスでの通学支援を実施するため、それに関連する駐輪場の整備である。 ・遠距離通学生徒用駐輪場整備箇所数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	—	計画値	—	計画値	1	計画値	—		
					実績値	—	実績値	—	実績値	1	実績値	—		
成果指標	通学支援用駐輪場の駐輪可能台数	学校の統合によって、遠距離通学となった生徒に対し、スクールバスでの通学支援を実施するため、それに関連する駐輪場の整備である。 ・駐輪場の駐輪可能台数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	—	計画値	—	計画値	50	計画値	—		
					実績値	—	実績値	—	実績値	50	実績値	—		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	必要性低い ⇒ 必要性高い							4点	14点	4点	17点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							3点		4点				
	必要性低い ⇒ 必要性高い							1点		2点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1点		2点				
	優先度低い ⇒ 優先度高い							1点		2点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1点		5点				
	余地がある ⇒ 余地はない							5点	／25点	5点	／25点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか													
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止						
理由	平成29年度に実施した、さぬき南中学校生徒(旧津田校区)の駐輪場を整備したことで、本事業で予定していた事業については終了した。以降、状況の変化等に応じて遠距離通学支援関連で対応が必要な場合は、その都度、施設整備を実施する。なお、スクールバスの運行については、引き続き教育総務課で実施する。							統合した中学校へ通学する生徒に対し、スクールバスの乗降場所へ通学用自転車の駐輪場を整備することは、総合計画にある教育環境の整備・充実を図るためにも必要である。さぬき市学校再編計画に基づき、統合により遠距離通学となった生徒には、スクールバスによる通学支援を実施することとしており、津田町地区においては、1か所が旧津田中学校であるが、当該箇所で認定こども園を整備することから、解体する必要があり、その代替として、遠距離通学生徒用、認定こども園送迎用及び津田第2体育館利用者用等の駐輪場として、多目的、効率的な位置に設置するものであり、駐輪場設置後は事業を完了する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設管理事業(学校教育課分)		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業 概要	小学校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	80	429,312	429,392	—
			当初予算額	0	0	70	381,718	381,788	
			決算額	1,850	800	189	273,052	275,891	
H27 H28 具体的 的取 組	・小学校9校の学校運営及び施設の維持管理 ・小学校教科書の改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業2校、県心の交流事業1校、市新設校教育研究事業2校、市ふるさと教育推進事業1校、その他1校)	・電気代節減のため、電力会社による研修を行ったほか、各校の電気代の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。・学校事務職員に対し、会計課職員による適正な会計事務処理等についての研修を行った。	計画額	0	0	20	107,328	107,348	4.4
			当初予算額	0	0	20	107,328	107,348	
			決算額	800	0	136	101,320	102,256	
H28 H29 具 体 的 取 組	・小学校9校の学校運営及び施設の維持管理 ・前山小学校と長尾小学校の統廃合 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業1校、県心の交流事業2校、県道徳教育地域支援委託事業1校、市ふるさと教育推進事業1校)	・前山小学校と長尾小学校を統廃合 ・電気代節減のため、電力の入札を行い次年度以降の電気代の節減に向けた取り組みを行った。 ・児童用机椅子の整備(長尾小・造田小)	計画額	0	0	20	107,328	107,348	4.3
			当初予算額	0	0	20	95,261	95,281	
			決算額	0	800	50	90,643	91,493	
H29 H30	・小学校8校の学校運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業2校、県心の交流事業2校、県道徳教育地域支援委託事業1校、県小学校外国語教育研究推進モデル地域事業1校、市ふるさと教育推進事業2校、市外国語教育研究推進モデル校事業1校)	・児童用机椅子の整備(長尾小・造田小) ・次年度以降の電気代の節減に向けた取り組みとして、電力供給会社の入札を行った。光熱水費の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。	計画額	0	0	20	107,328	107,348	4.7
			当初予算額	0	0	20	88,142	88,162	
			決算額	1,050	0	3	81,089	82,142	
	・小学校8校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	20	107,328	107,348	6.0
			当初予算額	0	0	10	90,987	90,997	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	小学校数	市立小学校の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	9	計画値	9	計画値	8	計画値	8		
					実績値	9	実績値	9	実績値	8	実績値			
成果指標	研究指定事業に取り組む小学校数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延べ小学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	7	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
					実績値	7	実績値	5	実績値	9	実績値			
評価	児童一人当たりの学校運営及び施設管理経費	学校運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額÷児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	42	計画値	42	計画値	42	計画値	42		
					実績値	42	実績値	40	実績値	37	実績値			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)			二次評価(所属長)					
評価							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						5 点	22 点	5 点	22 点				
							必要性低い ⇒ 必要性高い							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						4 点							
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)						4 点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						優先度低い ⇒ 優先度高い							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない							
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	理由	小学校の学校運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要がある。						小学校の運営及び管理を適正に行うため、状況に応じた教育環境を整備する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設整備事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 <small>事業概要</small>	小学校施設の改修工事及び營繕補修を行う。	小学校施設の危険個所、破損個所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事、修繕を行うことで、施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	37,354	37,354	—
			当初予算額	0	0	8,348	40,594	48,942	
			決算額	0	0	6,187	32,543	38,730	
H27	主に小学校施設の改修工事及び營繕工事を実施した。	緊急性の高い個所から優先的に工事・修繕を実施し、教育環境の改善及び生徒の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	7,354	7,354	0.1
			当初予算額	0	0	0	7,354	7,354	
			決算額	0	0	0	8,278	8,278	
H28 <small>具体的 的取組</small>	主に小学校施設の改修工事及び營繕工事を実施する。	学校からの修繕要望に対して、現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事・修繕を実施した結果、良好な教育環境を維持することができた。	計画額	0	0	0	10,000	10,000	0.1
			当初予算額	0	0	8,348	7,586	15,934	
			決算額	0	0	6,187	9,836	16,023	
H29	主に小学校施設の改修工事及び營繕工事を行う経費である。	聞き取りや現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事・修繕を実施した結果、限られた予算内で施設の安全確保及び教育環境の改善を最大限に図ることができた。	計画額	0	0	0	10,000	10,000	0.1
			当初予算額	0	0	0	11,037	11,037	
			決算額	0	0	0	14,429	14,429	
H30	主に小学校施設の改修工事及び營繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	10,000	10,000	
			当初予算額	0	0	0	14,617	14,617	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	16	計画値	16	計画値	24	計画値	24				
					実績値	23	実績値	21	実績値	24	実績値					
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	20 点	4 点	21 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	老朽化した施設は雨漏りや漏水等、緊急的な対応を要する修繕が増えていることから、計画的な施設の整備が必要である。						各施設の老朽化が進む中、安全・安心な教育環境の維持を図り、良好な教育環境を維持していくためには必要不可欠な事業である。 予算的な制約の中で、優先度も考慮しながら計画的に教育環境の保全及び児童の安全確保に努めていかなければならないと考えるが、突発的で緊急性が高い修繕等への予算対応が難しいことが多い。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設管理事業(教育総務課分)			担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------------	--	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	小学校9校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を目的とする。	計画額	0	0	60	66,057	66,117	—
			当初予算額	0	0	0	66,694	66,694	
			決算額	0	0	0	46,443	46,443	
H27	各小学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	17,025	17,025	0.3
			当初予算額	0	0	0	17,025	17,025	
			決算額	0	0	0	15,836	15,836	
H28 具体的 的 取 組	各小学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。	保守点検結果に基づいた修繕等を実施したことにより、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	20	17,072	17,092	0.2
			当初予算額	0	0	0	16,201	16,201	
			決算額	0	0	0	15,429	15,429	
H29	各小学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。	各小学校の設備保守管理委託及び事務機器、土地の借上げ等により、学校運営が適切に行えるよう環境整備を図った。	計画額	0	0	20	15,980	16,000	0.2
			当初予算額	0	0	0	16,162	16,162	
			決算額	0	0	0	15,178	15,178	
H30	各小学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	20	15,980	16,000	
			当初予算額	0	0	0	17,306	17,306	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	保守点検回数。	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	142	計画値	142	計画値	133	計画値	133			
					実績値	142	実績値	142	実績値	133	実績値				
成果指標	施設・設備の危険箇所数。	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	19 点	4 点	21 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		4 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点					
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
今後の方向性	方向性						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
	理由						小学校の運営及び施設の維持管理上、必要不可欠な経費であるため継続して実施する。	施設の管理運営及び安全性を確保するためには、年間を通じての維持管理に努めていく必要があり、委託契約、賃貸契約等を一元管理することで効率的な運用を行う必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校統合事業		担当課	学校再編対策室	記入日	平成30年6月15日
-----	---------	--	-----	---------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 <small>事業概要</small>	さぬき市の将来を担う子どもたちのよりよい学習環境を準備し、学校再編(統合)を円滑に進める。	平成20年6月に策定した「さぬき市学校再編計画」の後期計画期間の計画内容を具体的に推進し、円滑な学校の統合になるよう諸準備や調整を図る。	計画額	0	0	0	12,426	12,426	—
H27	「長尾・前山小」及び「神前・石田小」の統合が円滑になるよう各統合校の児童間の交流学習の実施。 ・統合時期、位置が未定であったことから、事業実施を見送った。	平成28年度事業実施に向け、学校間での調整を依頼した。	当初予算額	0	0	0	8,866	8,866	0.7
H28 <small>具体的な取組</small>	「長尾・前山小」の統合に伴う、児童間交流を実施。 前山小の閉校による「閉校記念事業」に対する補助金を交付。 「神前・石田小学校」の児童間交流の推進及び計画を実施。	学校規模や行事に応じて、大型バス等の借上げ、市所有バスの運行を、臨機応変に対応した。	決算額	0	0	0	1,501	1,501	0.1
H29	統合予定である神前・石田小学校を対象に、両校児童の交流を目的として、交流学習や校外学習の実施に伴い、バスの配車を行った。 校外学習用の大型バス貸切 7台 両校の交流学習(市所有バス) 10台	両校で授業速度に差が生じているため、学習科目によっては、交流に不向きな点がある。このことを踏まえて、交流できる機会を検討し、計画的に実施できるよう、学校へ周知した。	計画額	0	0	0	4,200	4,200	0.3
H30	円滑な統合を図るため、該当小学校の児童交流の支援及び閉校となる学校で実施される、閉校記念事業に対し、補助金を交付する。 また、新学校で必要となる既存学校の備品について、移転作業を実施する。		当初予算額	0	0	0	1,620	1,620	0.1
			決算額	0	0	0	1,097	1,097	
			計画額	0	0	0	600	600	
			当初予算額	0	0	0	485	485	
			決算額	0	0	0	404	404	
			計画額	0	0	0	7,150	7,150	
			当初予算額	0	0	0	6,285	6,285	
			決算額	0	0	0			

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	交流(学習等)実施回数(前山小学校分)	スムーズな統合に向け、児童間の交流を深めるために交流学習の実施回数(前山小学校分) ※28年度で終了。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値		計画値			
	交流(学習等)実施回数(神前・石田小学校分)	スムーズな統合に向け、児童間の交流を深めるために交流学習を実施する。(神前・石田小学校分)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	1	計画値	2	計画値	2		
成果指標	交流平均時間数(前山小学校分)	円滑に統合できるよう両小学校の児童が共に過ごした延べ時間数で推し量る。 ・交流延べ時間数 ※28年度で終了。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	2	計画値	4	計画値		計画値			
	交流平均時間数(神前・石田小学校分)	円滑に統合できるよう両小学校の児童が共に過ごした延べ時間数で推し量る。 ・交流延べ時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2	計画値	4	計画値	4	計画値	4		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	22 点	4 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点			
								／25点	／25点	21 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	神前・石田小学校の統合に向けては、開校まで継続して児童交流を実施し、児童の精神的な負担軽減等を図ると共に、開校に向けての必要な準備を行う。また、閉校となる両校については、地域を中心として閉校記念事業の実施を計画していることから、それら事業費の一部について補助を行う。 平成30年度以降については、長尾地区における統合に関して、必要な取り組みを講じていく。							学校の統合において、特に懸念されることは統合した学校の教育環境に適応できるかどうか等であり、これらを円滑に進めるため、交流学習等を行うことで児童の精神的な不安を解消するために必要である。 また、閉校記念事業に対する補助金の交付、開校に万全を期するため、備品移転等を完了させる必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設整備事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月15日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	15	中学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	中学校施設の適正・効率的な整備を行い、良好な教育環境の維持を図る。	中学校施設の危険個所、破損個所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事、修繕を行うことで施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	12,700	12,700	—
			当初予算額	0	0	30,000	21,552	51,552	—
			決算額	0	0	28,423	11,444	39,867	—
H27	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を実施した。	緊急性の高い個所から優先的に工事・修繕を実施し、教育環境の改善及び生徒の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	2,800	2,800	0.1
			当初予算額	0	0	0	2,800	2,800	0.0
			決算額	0	0	0	2,726	2,726	—
H28 具体的 的取組	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を実施する。	学校からの修繕要望に対して、現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事・修繕を実施した結果、良好な教育環境の維持することができた。	計画額	0	0	0	2,900	2,900	0.1
			当初予算額	0	0	30,000	5,679	35,679	0.0
			決算額	0	0	28,423	6,888	35,311	—
H29	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を行う経費である。	聞き取りや現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事・修繕を実施した結果、限られた予算内で施設の安全確保及び教育環境の改善を最大限に図ることができた。	計画額	0	0	0	3,500	3,500	0.1
			当初予算額	0	0	0	905	905	0.0
			決算額	0	0	0	1,830	1,830	—
H30	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を行う経費である。		計画額	0	0	0	3,500	3,500	—
			当初予算額	0	0	0	12,168	12,168	—
			決算額	0	0	0	—	—	—

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	6	計画値	9	計画値	9		
					実績値	13	実績値	6	実績値	8	実績値			
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	20 点	4 点	21 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点	／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	老朽化した施設は雨漏りや漏水等、緊急的な対応を要する修繕が増えていることから、計画的な施設の整備が必要である。						各施設の老朽化が進む中、安全・安心な教育環境の維持を図り、良好な教育環境を維持していくためには必要不可欠な事業である。 予算的な制約の中で、優先度も考慮しながら計画的に教育環境の保全及び生徒の安全確保に努めていかなければならないと考えるが、突発的で緊急性が高い修繕等への予算対応が難しいことが多い。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設管理事業(学校教育課分)		担当課	学校教育課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	15	中学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	中学校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	200	230,492	230,692	—
			当初予算額	0	0	130	217,019	217,149	
			決算額	785	0	204	143,338	144,327	
H27 具 体 的 取 組	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県心の交流事業2、市統合校教育研究事業2校、市ふるさと教育推進事業1校、その他1校)	・電気代節減のため、電力会社による研修を行ったほか、各校の電気代の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。 ・学校事務職員に対し、会計課職員による適正な会計事務処理等についての研修を行った。	計画額	0	0	50	57,623	57,673	1.4
			当初予算額	0	0	50	57,623	57,673	
			決算額	345	0	41	45,018	45,404	
H28 具 体 的 取 組	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理 ・中学校教科書の改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入 ・研究指定による授業等研究(県心の交流事業1、市ふるさと教育推進事業1校)	・電気代節減のため、電力の入札を行い次年度以降の電気代の節減に向けた取り組みを行った。 ・生徒用机椅子の整備(長尾中)	計画額	0	0	50	57,623	57,673	1.3
			当初予算額	0	0	30	60,429	60,459	
			決算額	220	0	17	54,056	54,293	
H29 具 体 的 取 組	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県心の交流事業1、市ふるさと教育推進事業2校)	・生徒用机椅子の整備(長尾中) ・次年度以降の電気代の節減に向けた取り組みとして、電力供給会社の入札を行った。光熱水費の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。	計画額	0	0	50	57,623	57,673	1.7
			当初予算額	0	0	30	52,571	52,601	
			決算額	220	0	146	44,264	44,630	
H30 具 体 的 取 組	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	50	57,623	57,673	
			当初予算額	0	0	20	46,396	46,416	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	中学校数	市立中学校の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3			
	研究指定事業に取り組む中学校数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延べ中学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	6	計画値	3	計画値	3	計画値	3			
成果指標	生徒一人当たりの学校運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額 ÷ 生徒数)		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	36	計画値	36	計画値	36	計画値	36			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	36	実績値	43	実績値	37	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	必要性低い ⇒ 必要性高い							5点	22点	5点	22点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							4点		4点					
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							4点		4点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)							4点		4点					
	優先度低い ⇒ 優先度高い							4点		4点					
今後の方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							4点	／25点	4点	／25点				
	余地がある ⇒ 余地はない							5点		5点					
理由	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							必要がある ⇒ 必要はない							
	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
今後の方向性	中学校の学校運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要がある。							中学校の運営及び管理を適正に行うため、状況に応じた教育環境を整備する必要がある。							
理由															

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設管理事業(教育総務課分)		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	15	中学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	中学校3校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を図ることを目的とする。	計画額	0	0	150	31,612	31,762	—
			当初予算額	0	0	0	34,074	34,074	
			決算額	0	0	0	23,157	23,157	
H27	各中学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	7,835	7,835	0.3
			当初予算額	0	0	0	7,835	7,835	
			決算額	0	0	0	7,505	7,505	
H28 具体的 的 取 組	各中学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。	保守点検結果に基づいた修繕等を実施したことにより、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	50	7,877	7,927	0.2
			当初予算額	0	0	0	8,285	8,285	
			決算額	0	0	0	7,393	7,393	
H29	各中学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。	各中学校の設備保守管理委託及び事務機器、土地の借上げ等により、学校運営が適切に行えるよう環境整備を図った。	計画額	0	0	50	7,950	8,000	0.2
			当初予算額	0	0	0	9,054	9,054	
			決算額	0	0	0	8,259	8,259	
H30	各中学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	50	7,950	8,000	
			当初予算額	0	0	0	8,900	8,900	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	保守点検回数	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	54	計画値	54	計画値	54	計画値	54				
					実績値	54	実績値	54	実績値	54	実績値					
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	19 点	4 点	21 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点						
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	方向性 ○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止									
理由	中学校の運営及び施設の維持管理上、必要不可欠な経費であるため継続して実施する。						施設の管理運営及び安全性を確保するためには、年間を通じての維持管理に努めていく必要があり、委託契約、賃貸契約等を一元管理することで効率的な運用を行う必要がある。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	統合小学校整備事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	10	小学校費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	15	学校建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	旧天王中学校の施設を神前・石田統合小学校として利用するために改修・整備を行う。	学校規模の適正化と学習環境の整備を図ると共に、施設整備においては、高機能且つ多様な教育に対応できる学習環境を整備する。	計画額	0	0	0	192,210	192,210	—
			当初予算額	269,529	1,069,800	143,559	20,770	1,503,658	
			決算額	0	401,200	21,226	7,106	429,532	
H27	神前・石田統合小学校施設に係る基本設計及び耐震診断の実施準備に着手した。 ※平成27年12月開催市議会で補正予算の承認を得た後、2月から基本設計を開始したが、業務期間が不足するため、予算を全額繰越すこととした。	各校から教室配置等の意見を抽出し、設計内容へ反映させた。	計画額	0	0	0	0	0	0.2
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額	0	0	0	0	0	
H28 具体的 的取組	実施設計、外構設計、ボーリング調査及び樹木伐採を行う。	設計では学校現場の意見・要望を抽出し反映させた。統合予定地周辺が山林であるため、通学時の安全面に配慮し、樹木伐採を行った。 建築実施設計・外構実施設計は委託期間延長によりH29へ繰越。	計画額	0	0	0	64,070	64,070	0.7
			当初予算額	0	46,300	0	17,770	64,070	
			決算額	0	10,600	609	6,008	17,217	
H29	建築工事及び樹木伐採を行う。	定期的に工程会議を実施し、進捗を管理すると共に学校からの整備要望等についての検討を行った。建築工事は工期延長によりH30へ繰越。 (H28繰越分:起債27,000, 基金1,465, 一財1)	計画額	0	0	0	64,070	64,070	0.6
			当初予算額	247,588	866,100	45,669	1,510	1,160,867	
			決算額	0	390,600	20,617	1,098	412,315	
H30	外構工事、樹木伐採及び児童用机・椅子等の備品整備を行う。		計画額	0	0	0	64,070	64,070	
			当初予算額	21,941	157,400	97,890	1,490	278,721	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	事業進捗率	統合小学校整備事業の進捗率。(当該年度の設計及び工事に関する進捗行程に基づく達成度を表す) ※H28実施設計、H29建築工事、H30建築工事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	<small>%</small>	計画値	0	計画値	100	計画値	100	計画値	100				
					実績値	0	実績値	100	実績値	13	実績値					
成果指標	竣工床面積	統合小学校の竣工床面積。(H27時点での予定床面積)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	<small>m²</small>	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	必要性低い ⇒ 必要性高い							5 点	23 点	5 点	23 点					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							4 点		4 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							5 点		5 点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							4 点		4 点						
	優先度低い ⇒ 優先度高い							5 点		5 点						
今後の方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	／25点	4 点	／25点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5 点						
方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
今後の方向性	理由							学校再編計画に基づき、神前小学校及び石田小学校の統合に向けて施設を整備するものであり、必要な事業であると考える。施設整備においては、工程会議等での打合せに加え、要所で神前小・石田小両校へ意見を聞くことにより、充実した学習環境且つ安全に配慮した施設を整備することができると考える。				学校再編計画に基づき、神前小学校及び石田小学校の統合に向けて施設を整備するものであり、計画的に事業を進めていく必要があると考える。施設整備においては、工程会議等での打合せに加え、両校へ意見を聞くことにより、充実した学習環境且つ安全に配慮した施設を整備することができる。				

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校ICT環境整備事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	小・中学校における教育の情報化を推進するためのICT機器及び教員が校務で使用する校務用システムの導入及び維持管理を行う。		計画額	0	0	0	99,180	99,180	—
			当初予算額	0	0	0	209,870	209,870	
			決算額	0	0	0	143,878	143,878	
H27			計画額	0	0	0	43,680	43,680	0.8
			当初予算額	0	0	0	43,680	43,680	
			決算額	0	0	0	35,414	35,414	
H28 具体的 的 取 組	小・中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。小中学校校務用PC及び中学校教育用PCの更新。	機器の老朽化に伴い、小中学校教職員が使用する校務用PCと中学校のPC教室における教育用PCの更新を実施した	計画額	0	0	0	55,500	55,500	0.6
			当初予算額	0	0	0	75,002	75,002	
			決算額	0	0	0	69,796	69,796	
H29	小・中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。小中学校校務用PC及び中学校教育用PCの更新。		計画額	0	0	0	0	0	0.6
			当初予算額	0	0	0	48,305	48,305	
			決算額	0	0	0	38,668	38,668	
H30	小・中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。		計画額	0	0	0	0	0	
			当初予算額	0	0	0	42,883	42,883	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	教育用パソコンの貸借台数	小中学校における教育用パソコンの貸借台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	台	計画値	318	計画値	318	計画値	318	計画値	90			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	318	実績値	368	実績値	564	実績値				
成果指標	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	市立小中学校全児童生徒数／教育用パソコン現有台数 ※値が少ないので、充実している。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	7.3	計画値	6.0	計画値	5.0	計画値	4.0			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	7.0	実績値	5.4	実績値	5.9	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	22 点	5 点	22 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		4 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		5 点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	・国の目標値では、教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数3.6人(※)、教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備、超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%、校務用コンピュータ教員1人1台の整備を目指すとともに、地方公共団体に対し、教育クラウドの導入やICT支援員・学校CIOの配置を促すこととなっている。(※)各学校に、①コンピュータ教室40台、②各普通教室1台、特別教室6台、③設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目標として算出。						世界的な規模で日進月歩しているIT化社会へ対応していくためには、義務教育課程の時点から積極的にパソコン等を活用したコンピュータ学習を行うことの有益性は極めて高いと考えられることから、国の指針等に沿うよう、今後においても環境整備は必要であると考える。								
	・特定の教科に限らずどの教科でも活用されるため当事業の有効性は高いと考える。 ・情報化社会に対応できる生徒を育てるため、多様化するコンピュータ学習に対応できるよう、教諭の研修にも努めていかなくてはならない。														

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校統合事業		担当課	学校再編対策室	記入日	平成30年6月15日
-----	---------	--	-----	---------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	05	教育総務費
主要施策	④	④教育環境の整備・充実	目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 <small>事業概要</small>	さぬき市の将来を担う子どもたちのよりよい学習環境を準備し、学校再編(統合)を円滑に進める。	平成20年6月に策定した「さぬき市学校再編計画」の後期計画期間の計画内容を具体的に推進し、円滑な学校の統合になるよう諸準備や調整を図る。	計画額	0	0	0	0	0	—
H27			当初予算額	0	12,800	0	1,592	14,392	
			決算額						
H28 <small>具体的取組</small>			計画額						
			当初予算額						
			決算額						
H29			計画額						
			当初予算額						
			決算額						
H30	寒川小学校へ通学する児童のうち、遠距離通学に指定された地区児童については、スクールバスによる通学支援を行うため、マイクロバス2台を購入し、スクールバスの運行に関する業務委託の準備を進める。		計画額	0	0	0	0	0	
			当初予算額	0	12,800	0	1,592	14,392	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	スクールバス購入台数	学校統合により通学する学校の位置が変わった児童のうち、遠距離通学となった児童の通学支援のため、スクールバスを購入した台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	—	計画値	—	計画値	—	計画値	2		
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値			
成果指標	新規購入のスクールバスに対する利用児童数	新規に購入したスクールバスで通学する児童数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値	69		
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	新規購入のスクールバスに対する1便当たりの乗車人数	スクールバスの運行便数に対する、1便当たりの乗車児童数の平均数。 利用児童総数／運行便数(複数台運行する場合あり)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	—	計画値	—	計画値	—	計画値	17		
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	点	点	点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	点	点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	点	点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	点	点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							点	／25点	点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
今後の方向性	理由													

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	家庭教育支援事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	23	(23)家庭と地域の教育力の強化	項	30	社会教育費
主要施策	①	①家庭教育の啓発と推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 概要	事業内容 ・コーディネーターを配置し、家庭教育の広報啓発活動や、先輩保護者や保護者同士のコミュニケーションの場づくり、親育ちプログラム後の子育て相談や座談会、講演会、講座等の開催、県や他課の事業とのコーディネート、将来的には各部署の子育て情報の集約を目指す。 ・ファシリテーターによる親育ちプログラムの実施。	事業目的 / 改善内容 専門知識を持った人材をコーディネーターとして配置し、体験講座や講演会、親育ちプログラム、就学前保護者啓発事業の実施等、家庭教育の充実を図ることを目的とする。	計画額	758	0	36	12,011	12,805	—
			当初予算額	388	0	38	12,785	13,211	
			決算額	460	0	21	8,593	9,074	
H27	事業内容 家庭教育の問題は、先輩保護者や保護者同士のコミュニケーションが緊密であれば助けになることが多いことから、ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供をはじめ、子育て相談や座談会、講演会等を開催した。	事業目的 / 改善内容 県委託事業のみんなで朝ごはんプロジェクトや就学前保護者啓発事業の実施した。その他、マナー講座や親育ちプログラム等を開催したほか、家庭教育の広報啓発活動として新たに「育ちのツボ」を毎月発行した。	計画額	188	0	9	2,999	3,196	0.2
			当初予算額	188	0	9	2,999	3,196	
			決算額	200	0	2	2,876	3,078	
H28 具体的 的取組	事業内容 ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをすることで、親の不安解消を図る。	事業目的 / 改善内容 県委託事業のおやじ力向上事業みんなで朝ごはんプロジェクトの実施や就学前保護者啓発事業でクリアファイルを作成。また、体験講座を実施し「学びの場」としてではなく「気づきの場」として話し合える機会を設けた。	計画額	190	0	9	3,002	3,201	0.2
			当初予算額	150	0	9	3,076	3,235	
			決算額	200	0	11	2,864	3,075	
H29	事業内容 ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをすることで、親の不安解消を図る。各部署の子育て情報の集約に取り組む。	事業目的 / 改善内容 県委託事業「就学前保護者啓発事業」で小学校・幼稚園で家庭教育講座を開催した。また、近年の子育て家庭の変容や啓発の定着を探るため、アンケート調査を実施した他、体験講座では、もの作りを通して親子のふれ合いの機会を設けた。	計画額	190	0	9	3,005	3,204	0.2
			当初予算額	50	0	10	3,305	3,365	
			決算額	60	0	8	2,853	2,921	
H30	事業内容 ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをすることで、親の不安解消を図る。各部署の子育て情報の集約に取り組む。	事業目的 / 改善内容	計画額	190	0	9	3,005	3,204	
			当初予算額	0	0	10	3,405	3,415	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	家庭教育講座・講演会等開催回数	家庭教育講座・講演会等開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	28	計画値	28	計画値	28	計画値	30		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	28	実績値	31	実績値	23	実績値			
成果指標	就学前保護者啓発回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	就学前保護者啓発回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	17	計画値	16	計画値	16	計画値	16		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	17	実績値	16	実績値	17	実績値			
評価	家庭教育講座・講演会等参加者数	家庭教育講座・講演会等参加者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,039	実績値	1,089	実績値	911	実績値			
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	19 点	5 点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	核家族化の中で、地域での子育て学習の必要性は増大していることから、引き続き、家庭教育講座や講演会等を実施し、家庭教育の充実を図る。							核家族化の中で、地域での子育て学習の必要性は増大していることから、引き続き家庭教育講座や講演会等を実施するとともに、学校等の関係機関と連携し、家庭教育関係の情報を工夫して市民に分かりやすく提供することで、家庭教育の充実を図る。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	放課後子ども教室推進事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月11日
-----	--------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化	項	30	社会教育費
主要施策	②	②家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 事業概要	教育委員会と福祉部局が連携を図り、少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下等子どもを取り巻く環境を踏まえ、小学校区で放課後の子どもの安全な活動場所を確保し、総合的な放課後対策として実施し、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的とする。	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する。	計画額	5,824	0	668	2,954	9,446	—
			当初予算額	6,451	0	822	3,270	10,543	
			決算額	3,706	0	554	2,547	6,807	
H27	現在4か所で子ども教室を実施した。運営委員会を開催したほか、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図りつつ事業を進めた。	4か所で子ども教室を継続して実施するとともに、未実施校区のさぬき北小学校で平成28年度から教室が設置できるよう、学校やボランティアへの協力依頼を行った。	計画額	1,456	0	167	736	2,359	0.3
			当初予算額	1,456	0	167	736	2,359	
			決算額	860	0	166	1,095	2,121	
H28 具体的取組	現在5か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。	5か所で子ども教室を継続して実施するとともに、現在実施している子ども教室の一つが未実施の小学校に統合されることから、ボランティアの協力依頼と実施場所の検討を行った。	計画額	1,456	0	167	736	2,359	0.3
			当初予算額	1,667	0	199	840	2,706	
			決算額	1,386	0	177	708	2,271	
H29	現在5か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。	5か所で子ども教室を継続して実施するとともに、未実施校区のさぬき南小学校で平成30年度から教室が設置できるよう、学校やボランティアの協力依頼と実施場所の検討を行った。	計画額	1,456	0	167	741	2,364	0.3
			当初予算額	1,630	0	220	825	2,675	
			決算額	1,460	0	211	744	2,415	
H30	現在5か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。		計画額	1,456	0	167	741	2,364	
			当初予算額	1,698	0	236	869	2,803	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	放課後子ども教室実施箇所数	放課後子ども教室実施箇所数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	箇所	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値	5	実績値	5	実績値			
成果指標	放課後子ども教室実施回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	各放課後子ども教室開催実施回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	320	計画値	320	計画値	200	計画値	200		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	319	実績値	325	実績値	226	実績値			
成果指標	放課後子ども教室参加述べ人数	各放課後子ども教室参加述べ人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	6,600	計画値	7,000	計画値	7,000	計画値	7,000		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	7,408	実績値	6,564	実績値	4,913	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	20 点	5 点	19 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		3 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性 ○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
今後の方向性	理由 放課後の安全な居場所づくりの必要性は増加していることから、今後、地域の要望により事業実施地区が拡大することに伴い、コストの増加が見込まれる。平成31年度に造田小学校区での実施を検討している。						放課後の安全な居場所づくりの必要性は増加していることから、未実施校区の実施検討、利用児童の増加に伴うボランティアの確保・連携を行い、放課後子ども教室活動の更なる充実・推進を図る。 今後、事業実施地区が拡大することに伴い、コストの増加が見込まれる。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校支援ボランティア推進事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	----------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	23	(23)家庭と地域の教育力の強化	項	30	社会教育費		
主要施策	②	②家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実	目	05	社会教育総務費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 ～ H30 事業 概要	地域住民が学校支援ボランティアとして学校の教育活動を支援する体制づくりを推進することにより、地域住民が学校や児童生徒と関わりながら自らの知識や経験を活用する機会の拡充を図り、もって市民参加による地域の教育力の向上に寄与する。	学校や子どもの活動を総合的に支援する体制を整備し、子どもへの教育がより充実されるとともに、地域住民が自らの知識や経験を生かす場が広がり、生涯学習社会の実現や地域の教育力の向上を目的とする。	計画額	7,132	0	0	3,568	10,700	—	—
			当初予算額	8,386	0	0	4,198	12,584		
			決算額	5,514	0	0	2,796	8,310		
H27	既実施のさぬき南中学校区に加え、新たに志度中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、校内の環境整備、登下校時の安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行った。	志度中学校区にコーディネーターを配置し、活動依頼内容に応じてボランティアを派遣した。また、養成講座を2回開催し、学校、地域、ボランティアの交流に努めた。「たより」による活動報告、啓発活動も継続している。	計画額	1,480	0	0	739	2,219	0.3	0.0
			当初予算額	1,480	0	0	739	2,219		
			決算額	1,426	0	0	721	2,147		
H28 具体的 的取組	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。長尾中学校区にも学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。	長尾中学校区にコーディネーターを配置し、市内全域で支援する体制が整った。その他、養成講座の開催や、年3回発行している「たより」を第2号より、中学校区別に2種類発行し、より多くの情報発信ができた。	計画額	1,884	0	0	943	2,827	0.3	0.0
			当初予算額	2,044	0	0	1,023	3,067		
			決算額	1,970	0	0	1,012	2,982		
H29	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。全中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。	市内全域にコーディネーターを配置し支援している。その他、養成講座を年に2回開催し、年3回発行している「たより」による活動報告・啓発活動・学校支援ボランティア募集に努めた。	計画額	1,884	0	0	943	2,827	0.3	0.0
			当初予算額	2,432	0	0	1,217	3,649		
			決算額	2,118	0	0	1,063	3,181		
H30	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。全中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。		計画額	1,884	0	0	943	2,827		
			当初予算額	2,430	0	0	1,219	3,649		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
活動指標	学校支援ボランティア活動日数	学校でのボランティア活動日数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	1,250	計画値	2,500	計画値	2,500	計画値	2,500
	学校支援ボランティア活動実施か所数	学校支援ボランティア活動実施小・中学校・幼稚園・保育所・児童館等数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	23	計画値	32	計画値	31	計画値	31
成果指標	学校支援ボランティア活動実績延べ人数	学校支援ボランティア活動実績延べ人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	10,000	計画値	11,000	計画値	11,000	計画値	11,000
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	24,271	実績値	38,876	実績値	38,816	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	19 点	5 点	20 点	
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		5 点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	豊富な人材を有効活用できるよう、学校等に積極的に活動依頼を呼び掛け、学校等が既に持っている人材バンクや地域の既存のボランティア団体との交流を図り、連携して学校支援を行うようにしていく。 コーディネーターを旧町全5地区に1人ずつの配置し、地区ごとの特徴をいかしたコーディネーターに努める。						本事業における地域教育協議会の会議において、各地区の課題や目標が共通認識され、学校・家庭・地域の連携効果とそれぞれの教育力の向上が期待できる。 学校等に積極的に活動依頼を呼び掛け、学校等が既に持っている人材バンクや地域の既存のボランティア団体との交流を図り、連携して学校支援を行うようにしていく。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会教育事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月1日
-----	--------	--	-----	-------	--	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	社会教育(生涯学習)の全般的な推進を行う。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会を開催する。	社会教育全般にかかる事業であるとともに、専門分野に属さないが多岐にわたる事業を行う。	計画額	0	0	0	19,647	19,647	—
			当初予算額	0	0	0	22,417	22,417	
			決算額	0	0	0	15,685	15,685	
H27	社会教育全般に関する事業を処理した。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催した。	統合により廃校となった中学校に設置されていた空調機器を社会教育施設に移設し機器の有効利用を図った。また、第2次生涯学習基本計画を社会教育委員の会で立案検討し、策定した。	計画額	0	0	0	15,692	15,692	0.2
			当初予算額	0	0	0	15,692	15,692	
			決算額	0	0	0	13,089	13,089	
H28 具体的 的 取 組	社会教育全般に関する事業を処理した。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会を2回開催した。	社会教育委員の会を開催し、生涯学習関連の施策の方針等について議論した。 香川県において、中国四国地区社会教育研究大会が開催され、さぬき市より24名参加した。	計画額	0	0	0	1,069	1,069	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,355	1,355	
			決算額	0	0	0	1,148	1,148	
H29	社会教育全般に関する事業を処理する。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。	社会教育委員の会を2回開催し、生涯学習関連の施策の方針等について、議論した。	計画額	0	0	0	1,815	1,815	0.4
			当初予算額	0	0	0	1,533	1,533	
			決算額	0	0	0	1,448	1,448	
H30	社会教育全般に関する事業を処理する。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。		計画額	0	0	0	1,071	1,071	
			当初予算額	0	0	0	3,837	3,837	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	社会教育委員の会開催回数	市の生涯学習の推進方針等の審議を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	4	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値	2	実績値	2	実績値		
成果指標	住民満足度	生涯学習基本計画見直し時の住民アンケート等を用いて住民満足度を図る。(3年に1度程度) ※H27-29については、H26実施アンケートにおける「生涯学習の必要性」に対する肯定的回答率を代用する。	<input type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値		計画値		計画値		計画値	80	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	63	実績値	63	実績値	63	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点	4点	20点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						4点	／25点	4点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	社会教育全般で、他に属さない案件、又は、他の事業全体に係る案件を実施する事業でもあるため、現状維持とする。						本事業は、社会教育分野における個別案件以外のもの、または、多分野に渡るものを取り扱っており、緊急性及び多機能的に事業拡大することも考えられるが、平常時における事業については生涯学習の中心的役割を担う社会教育委員の会において、適切な助言や指導をいたしていることから現状維持とする。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	成人式実施事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月14日
-----	---------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	事業概要 成人式典及び交流会事業、記念冊子の企画等から当日受付等運営業務に至るまでを、新成人の手で決め、行う。	新成人による実行委員会を立ち上げ、成人式の企画運営に取り組む中で、新成人の社会人としての自覚を促すことを目的とする。	計画額	0	0	0	5,200	5,200	—
			当初予算額	0	0	0	5,200	5,200	
			決算額	0	0	0	3,394	3,394	
H27	具 体 的 取 組 式典や交流会をはじめ、記念冊子の企画から当日受付等運営業務に至るまで全てを新成人の手で行う実行委員会形式で成人式を開催した。 参加者379人／対象者527人	県外在住の実行委員とも自発的・積極的に情報の共有や意見交換を行い、企画、運営に至るまで新成人たちの手による成人式となった。新成人たちの社会人としての自覚や地元への愛着心を高めた。	計画額	0	0	0	1,300	1,300	0.4
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300	
			決算額	0	0	0	1,023	1,023	
H28	具 体 的 取 組 新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。	実行委員が自発的・積極的に企画・準備・運営を行い、新成人たちの手による成人式となった。	計画額	0	0	0	1,300	1,300	0.4
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300	
			決算額	0	0	0	1,163	1,163	
H29	具 体 的 取 組 新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。	県外在住の実行委員とも自発的・積極的に情報共有や意見交換、企画や準備、運営を行い、新成人たちの手による成人式となった。	計画額	0	0	0	1,300	1,300	0.4
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300	
			決算額	0	0	0	1,208	1,208	
H30	具 体 的 取 組 新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。		計画額	0	0	0	1,300	1,300	
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300	
			決算額	0	0	0			

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30						
活動指標	成人式実行委員会参加者数	新成人たちの手による企画・運営を目的として開催される実行委員会への延べ参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80					
					実績値	91	実績値	95	実績値	82	実績値						
成果指標	成人式参加率	成人式出席対象者数に対する参加率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値						
					実績値		実績値		実績値		実績値						
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)								
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計							
	必要性低い ⇒ 必要性高い						4 点	20 点	4 点	20 点							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						4 点		4 点								
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている						4 点		4 点								
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						4 点		4 点								
	優先度低い ⇒ 優先度高い						4 点		4 点								
今後の方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						4 点	／25点	4 点	／25点							
	余地がある ⇒ 余地はない						4 点		4 点								
理由	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						4 点		4 点								
	必要がある ⇒ 必要はない																
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)											
方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止										
今後の方向性	今までと同様に、新成人の実行委員による声かけ・勧誘により成人式の参加率も増加傾向にあり、出身中学校間の交流も盛んであるため現状維持としたい。						さぬき市出身及び在住の新成人が一堂に会する機会を設け、新成人の門出を祝うとともに、成人としての自覚を持ち、責任感ある社会人への成長を促す催しとして必要である。これまでと同様に、新成人の実行委員による声かけ・勧誘により成人式の参加率も増加傾向にあり、出身中学校間の交流も盛んであるため現状維持とする。										

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	青年会補助支援事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月14日
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	事業概要 活動家研修会や青年大会地区予選等を主催し、勤労青年の交流を深める。	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。	計画額	0	0	0	292	292	—
			当初予算額	0	0	0	292	292	
			決算額	0	0	0	219	219	
H27	具体的 的 取 組 青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。 県青年会負担金 23千円 青年会活動補助金50千円	新たな会員を募ることを目的とし、親睦を図るための企画を立ち上げ、県内で行われるイベントにも積極的に参加した。	計画額	0	0	0	73	73	0.1 0.0
			当初予算額	0	0	0	73	73	
			決算額	0	0	0	73	73	
H28	具体的 的 取 組 青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。	新たな会員を募ることを目的とし、親睦を図るための企画を立ち上げ、県内で行われるイベントにも積極的に参加した。	計画額	0	0	0	73	73	0.1 0.0
			当初予算額	0	0	0	73	73	
			決算額	0	0	0	73	73	
H29	具体的 的 取 組 青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。	新たな会員を募ることを目的とし、親睦を図るための企画を立ち上げ、県内で行われるイベントにも積極的に参加した。	計画額	0	0	0	73	73	0.1 0.0
			当初予算額	0	0	0	73	73	
			決算額	0	0	0	73	73	
H30	具体的 的 取 組 青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	73	73	
			当初予算額	0	0	0	73	73	
			決算額	0	0	0	73	73	

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	青年会会員数	青年会活動の基本となる会員数を増加させることにより活動内容の多様化や、更なる会員確保につながるため。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	25				
					実績値	13	実績値	9	実績値	9	実績値					
成果指標	青年会主催事業数	青年会の活動として、主催事業の企画・運営を指標とすることで活性化を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	18 点	4 点	18 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		4 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	生涯学習の基本理念として『いつでも・どこでも・どんなときでも』学習する意欲を掻き立てる素地を造らなければならないとされている。乳幼児期から高齢期の各年代を通しての生涯学習の観点から、青年期の多感な時期を様々な活動を行うことで自身及び子孫の繁栄を目指せるため、現状維持としたい。						青少年を取り巻く環境が厳しさを増す中、健やかな成長の手助けとなる指導者の養成や青少年育成団体への支援は、地域の青少年健全育成活動の促進を図るうえで必要であり、生涯学習の基本理念として、『いつでも・どこでも・どんなときでも』学習する意欲を掻き立てる素地を造らなければならないとされている。乳幼児期から高齢期の各年代を通しての生涯学習の観点から、青年期の多感な時期を様々な活動を行うことで自身及び子孫の繁栄を目指せるため、現状維持とする。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	婦人団体補助支援事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 事業概要	婦人団体連絡協議会は、市内地区婦人会の相互の連携及び、現代に則する婦人の資質を高める地位の向上を図る。女性団体連絡会は、市内の女性団体が共に支援協力することにより、それぞれが地域社会における役割を果たし、さぬき市の発展に寄与することを目的とする。	婦人団体連絡協議会や女性団体連絡会へ補助金を交付し、団体が協力し、相互に支援し合うことにより、それぞれの団体が地域社会における役割を果たすことを目的とする。	計画額	0	0	0	4,660	4,660	—
			当初予算額	0	0	0	4,660	4,660	
			決算額	0	0	0	3,495	3,495	
H27	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行った。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力をを行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行った。	婦人団体連絡協議会は、適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対して援助を行うよう努めた。女性団体については、各団体との情報の共有化を図り、学習機会の提供に努めた。	計画額	0	0	0	1,165	1,165	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165	
			決算額	0	0	0	1,165	1,165	
H28 具体的取組	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力をを行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。	婦人団体連絡協議会は、適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対して援助を行うよう努めた。女性団体については、各団体との情報の共有化を図り、学習機会の提供に努めた。	計画額	0	0	0	1,165	1,165	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165	
			決算額	0	0	0	1,165	1,165	
H29	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力をを行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。	婦人団体連絡協議会は、適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対して援助を行うよう努めた。女性団体については、各団体との情報の共有化を図り、学習機会の提供に努めた。	計画額	0	0	0	1,165	1,165	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165	
			決算額	0	0	0	1,165	1,165	
H30	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力をを行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。		計画額	0	0	0	1,165	1,165	
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165	
			決算額	0	0	0	1,165	1,165	

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	女性団体連絡会活動回数	女性団体連絡会での講演会等実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10				
	婦人団体連絡協議会活動回数	婦人団体連絡協議会での学習会等実施回数			実績値	9	実績値	11	実績値	16	実績値					
成果指標	女性団体連絡会参加者数	女性団体連絡会での講演会等参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	250	計画値	250	計画値	250	計画値	250				
	婦人団体連絡協議会参加者数	婦人団体連絡協議会での学習会等参加者数			実績値	265	実績値	257	実績値	357	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点		評価点合計		評価点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							4点		4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)							必要性低い ⇒ 必要性高い		3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5		3点		3点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							なっていない ⇒ なっている		17点		3点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い							優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		18点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない							余地がある ⇒ 余地はない		／25点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	婦人団体連絡協議会については、各種行事の応援や支援、自主的な講演会の実施など、積極的な活動を展開しており、その活動回数も増加傾向である。最低限の活動補助を行っており、団体自らが活動時のコスト節減に努めているため現状維持で行う。							婦人団体連絡協議会については、各種行事の応援や支援、自主的な講演会の実施など、積極的な活動を展開している。最低限の活動補助を行っており、団体自らが活動時のコスト節減に努めているため現状維持で行う。								
	女性団体連絡会については、現在さぬき市の教育、福祉及び経済関係を代表する4団体が所属し、講演会の実施等を行っているが、加入団体数が減少しており、複数の団体に所属している会員には負担となるなど課題もみられるため、今後の活動方針について検討する必要性がある。							女性団体連絡会については、現在さぬき市の教育、福祉及び経済関係を代表する7団体(H28年度)で構成し、講演会や市長と意見交換会の実施等を行っているが、複数の団体に所属している会員には負担となるなど課題もみられるため、今後の活動方針について検討する必要性がある。								
								現代に即する婦人の資質を高める地位の向上を図り、相互に支援協力を図る活動を支援することは、市の責務と考える。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	子ども会補助支援事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費		
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	05	社会教育総務費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	宿泊キャンプを主催し、小規模校の増加等により、キャンプに参加できない子どもたちに対し、自然に親しむ機会を設ける。また、指導者・育成者研修等で、育成者の意識を高める。	少子化により、キャンプなどを単位子ども会等で行うことが難しくなってきたため、子ども達に自然に親しむ場や体験活動の場を提供する。また、研修会により、育成者に子ども会活動の運営方法などを伝えている。	計画額	0	0	0	4,176	4,176	—
H27	市内の子ども会育成会が相互に連携し、情報の交換・交流を通して子どもの健全育成並びに育成者の資質向上を図った。 指導者・育成者研修会 2回(125名、173名) 子ども会リーダーキャンプ 1回(105名) ジュニアリーダー研修会 1回(10名)	キャンプでは定員以上の参加募集があつたが全員の参加を受け入れ、より多くの子ども達が体験活動を経験した。また、子どもが主体となる子ども会活動にするためのテーマを中心に育成者研修会を行った。	当初予算額	0	0	0	4,174	4,174	0.5 0.0
H28 具体的 的取組	市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。	子ども会活動や育成者の役割について、意識を高める研修会等を行った。実践的な活動方法についても情報を発信し、子ども会本来の姿である「子どもの手による子ども会活動」ができるよう支援した。	決算額	0	0	0	3,131	3,131	0.5 0.0
H29	市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。	キャンプでは定員以上の参加募集があつたが全員の参加を受け入れ、多くの子ども達が体験活動を経験した。子ども会活動や育成者の役割について意識を高める研修会等もを行い、実施後のアンケート結果で意識の高まりが見られた。	計画額	0	0	0	1,044	1,044	0.5 0.0
H30	市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。		当初予算額	0	0	0	1,043	1,043	
			決算額	0	0	0	1,043	1,043	

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	市子ども会育成連絡協議会主催事業数	単位子ども会や校区子ども会ではできない取組を市子ども会育成連絡協議会が行うことで、子どもたちに様々な体験学習の場を提供する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	4	計画値	5				
					実績値	4	実績値	5	実績値	4	実績値					
成果指標	市子ども会育成連絡協議会主催事業参加率	子どもだけでなく育成者(保護者等)の研さんも目的としているため、両者を含めた参加率としている。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点	4点	20点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点						
							／25点	／25点		／25点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	青少年を取り巻く環境が激変する中、児童期に大切な知恵・考える力を育てるとともに、育成者である親世代の子どもとの接し方を再確認できる機会と捉え大変重要な事業である。						青少年を取り巻く環境が激変する中、健やかな成長の手助けとなる指導者の養成や青少年育成団体への支援は、児童期に体験活動の機会を通じて、大切な知恵・考える力を育てるとともに、育成者である親世代の子どもとの接し方を再確認できる機会と捉え大変重要な事業である。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	PTA補助支援事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	クリーン活動やスポーツ大会、学習会等を催し、地域への貢献とともに、子ども・保護者・学校間の交流を深める。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てるよう努める。	計画額	0	0	0	480	480	—
			当初予算額	0	0	0	480	480	
			決算額	0	0	0	360	360	
H27 具体的 的取組	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図った。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てるよう努めた。	計画額	0	0	0	120	120	0.0
			当初予算額	0	0	0	120	120	
			決算額	0	0	0	120	120	
H28 具 体 的 的取組	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てるよう努めた。	計画額	0	0	0	120	120	0.0
			当初予算額	0	0	0	120	120	
			決算額	0	0	0	120	120	
H29 具 体 的 的取組	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てるよう努めた。	計画額	0	0	0	120	120	0.0
			当初予算額	0	0	0	120	120	
			決算額	0	0	0	120	120	
H30 具 体 的 的取組	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	120	120	
			当初予算額	0	0	0	120	120	
			決算額	0	0	0	120	120	

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30						
活動指標	母親代表研修会開催回数	各地域における母親同士の交流の機会を作り、研修会を行うことで、子育てに関する知識を深め、家庭教育の充実化を目指す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4					
					実績値	4	実績値	4	実績値	4	実績値						
成果指標	母親代表研修会参加人数	研修会参加人数を指標として、研修内容の魅力及び要望講座、また、出席しやすい曜日・時間が把握できるため、より良い研修となる。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80					
					実績値	79	実績値	80	実績値	76	実績値						
評価		チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
									評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4 点		20 点	／25点	4 点	19 点	／25点						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4 点				4 点								
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)		1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4 点				3 点								
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4 点				4 点								
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか		1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4 点				4 点								
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)											
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止										
今後の方向性	理由	PTA活動に対する支援は、将来を担う子どもたちの育成とともに、親世代と地域を結ぶ大事な事業である。青少年の健全育成と社会貢献等の発展に寄与する事業であるため現状維持したい。					PTA活動に対する支援は、将来を担う子どもたちの育成とともに、親世代と地域を結ぶ大事な事業である。青少年の健全育成と福祉の増進を図り、社会貢献等の発展に寄与する事業であるため現状維持とする。										

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化団体支援事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	24	(24)生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費		
主要施策	①	①生涯学習の推進	目	40	文化振興費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	市内各種文化団体の育成を図ると共に、活発な活動をとおして市の文化振興を図ると共に助成金等を交付する。また、志度音楽ホールの維持管理を行う財団には、市民の創作活動を助長すると共に音楽芸術活動の拠点となるよう助成する。	市内各種文化団体の育成を通して、市の文化振興を図る。	計画額	0	0	4,000	123,946	127,946	—
			当初予算額	532	0	89,869	123,755	214,156	
			決算額	11,030	0	3,000	90,093	104,123	
H27	さぬき市文化協会に補助金を交付したほか、志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者である(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付した。 また、平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払った。	各団体が主催する事業に協力し、文化振興を図った。	計画額	0	0	1,000	30,680	31,680	0.2
			当初予算額	0	0	1,000	30,680	31,680	
			決算額	0	0	1,000	30,110	31,110	
H28 具体的 的取 組	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付する。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。	各団体が主催する事業に協力し、文化振興を図った。 現年分 30, 887 H27繰越分 10, 739	計画額	0	0	1,000	30,680	31,680	0.2
			当初予算額	0	0	1,000	30,407	31,407	
			決算額	10,739	0	1,000	29,887	41,626	
H29	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理委託料を支払いする。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。	各団体が主催する事業に協力し、文化振興を図った。	計画額	0	0	1,000	31,293	32,293	0.2
			当初予算額	291	0	1,000	29,844	31,135	
			決算額	291	0	1,000	30,096	31,387	
H30	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理委託料を支払いする。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。		計画額	0	0	1,000	31,293	32,293	
			当初予算額	241	0	86,869	32,824	119,934	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	文化協会加入団体数	文化協会加入団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	140	計画値	140	計画値	140	計画値	140		
					実績値	142	実績値	153	実績値	151	実績値			
成果指標	文化協会加入会員数	文化協会加入会員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	志度音楽ホール入館者数	志度音楽ホール入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000		
					実績値	29,346	実績値	37,989	実績値	28,701	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い							4 点	17 点	4 点	19 点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							4 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い							3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない							3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							3 点	／25点	5 点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	各団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をすることで、市民の芸術文化への意識向上の推進、地域住民の交流を行っている。							市内各種文化団体の育成を図ると共に、活発な活動を通して市の文化振興を図ることは必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保健体育事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月13日
-----	--------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	②	②生涯スポーツの推進	目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 概要	市民の生涯スポーツ推進指導者であるスポーツ推進委員に対する報酬。そのスポーツ推進委員の資質向上を図るために県内外の研修会に派遣する。 次世代のスポーツ指導者の育成に向け、各種指導者研修会参加者に対する旅費を補助。特色ある総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員に対する謝礼。	生涯スポーツの推進指導者であるスポーツ推進委員資質向上と意識向上を図ることで、市民への生涯スポーツの普及と推進を行い、健康と体力づくりの意識定着を目指す。	計画額	0	0	0	9,832	9,832	—
			当初予算額	0	0	0	10,064	10,064	
			決算額	0	0	0	6,851	6,851	
H27	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化を図った。	スポーツ推進委員会の広報研修部会において、スポーツ推進委員の資質向上に役立つ内容の研修提案を行い、研修会を実施した。	計画額	0	0	0	2,349	2,349	0.2
			当初予算額	0	0	0	2,349	2,349	
			決算額	0	0	0	2,246	2,246	
H28 具体的 的取組	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。	引き続き、スポーツ推進委員会広報研修部において、スポーツ推進委員の資質向上に役立つ内容の研修会を実施した。また、四国地区連絡協議会、県連絡協議会主催の推進委員向け研修への参加を促した。	計画額	0	0	0	2,463	2,463	0.3
			当初予算額	0	0	0	2,344	2,344	
			決算額	0	0	0	2,253	2,253	
H29	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。	スポーツ推進委員会広報研修部において、スポーツ推進委員の資質向上に役立つ内容の研修会を実施した。また、四国地区連絡協議会、県連絡協議会主催の推進委員向け研修への参加を促した。	計画額	0	0	0	2,510	2,510	0.3
			当初予算額	0	0	0	2,467	2,467	
			決算額	0	0	0	2,352	2,352	
H30	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。 【予定】推進委員向けの研修会の増加、スポ少指導者との合同研修会		計画額	0	0	0	2,510	2,510	
			当初予算額	0	0	0	2,904	2,904	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	スポーツ推進委員を対象とした市・県・その他の主体が開催した研修への参加案内回数	スポーツ推進委員向けの研修参加者募集のための周知回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5			
	スポーツ推進委員向けの研修を企画提案する広報研修部会の開催数	研修の企画提案を行う広報研修部会の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2			
成果指標	スポーツ推進委員向けの研修への参加者数	周知された研修に対して実際に参加した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	52	実績値	50	実績値	47	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い						4 点	19 点	4 点	19 点	／25点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている						3 点		3 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い						4 点		4 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない						4 点		4 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						4 点		4 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	地域・市民スポーツを推進する上で指導者の養成は必要不可欠であり、人材育成は地方公共団体の努力義務としてスポーツ基本法第11条にも定められている。今後も引き続き、スポーツ推進委員に対し研修の提案と研修会参加の案内を行っていく。 また、スポーツ推進委員以外の市民に対して、県の主催する指導者養成講座等の周知案内を行っていくことは検討の余地があり、昨年に引き続き普通救命講習会をスポーツ推進委員とスポーツ少年団の指導者で合同で開催した。そのほかにも、近隣市町から案内にあった指導者向けの講演会の案内をスポーツ推進委員だけでなく、スポーツ少年団の指導者に周知するなど、スポーツ推進委員以外への取り組みを広げている。						地域・市民スポーツを推進する上で基礎知識を含め、より実践的な指導者の養成は必要不可欠であり、人材育成は地方公共団体の義務もある。今後も引き続き、スポーツ推進委員に対し研修の提案と研修会参加の案内を行っていく。 また、スポーツ推進委員以外の市民についても、県の主催する指導者養成講座等の周知案内を行っていくことは検討の余地があるが、周知する対象をどうするかや周知にかかるリソースコスト(人・時間・費用)について考える必要があるため、柔軟に対応しなければならない。								
	今後も各団体合同の研修会の実施などを模索していくが、やはり周知する対象をどうするかや周知にかかるリソースコスト(人・時間・費用)について考える必要があるため、現状維持で進めて行きたい。														

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スポーツ普及事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月13日
-----	----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	②	②生涯スポーツの推進	目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 — H30 事業概要	各種教室や各種大会を開催し、広く市民に生涯スポーツの普及と推進を図り、健康と体力づくりの意識の定着と市民相互の連帯感を醸成し、明るく健康な街づくりを目指す。	日頃運動機会に接していない市民を対象として各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を目指す。	計画額	0	0	0	1,127	1,127	—	
			当初予算額	0	0	0	1,449	1,449	—	
			決算額	0	0	0	986	986	—	
H27	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図った。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを目指した。	各種ニュースポーツ教室を継続開催するとともに、ニュースポーツの大会としてキンボール大会を開催した。	計画額	0	0	0	265	265	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	265	265		
			決算額	0	0	0	243	243		
H28 具体的 的取組	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。	引き続きニュースポーツ教室とキンボールの大会開催した。要望のあった子供会や学校PTC活動でのニュースポーツ教室だけでなく、商工会と協力し、婚活イベントにニュースポーツを利用するなど、新規取組みを行った。	計画額	0	0	0	286	286	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	446	446		
			決算額	0	0	0	387	387		
H29	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。	ニュースポーツ教室とキンボールの大会開催した。また、近年注目の集まっている障害者スポーツの体験教室としてボッチャ教室を実施するなど、新規の取組も行った。	計画額	0	0	0	288	288	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	446	446		
			決算額	0	0	0	356	356		
H30	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。 【予定】ニュースポーツ教室、キンボール大会、ボッチャ教室		計画額	0	0	0	288	288		
			当初予算額	0	0	0	292	292		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	ニュースポーツやその他各種の出前教室の開催数	市民からの依頼に基づき開催した出前教室等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	12	計画値	12	計画値	12		
					実績値	12	実績値	17	実績値	13	実績値			
成果指標	各種ニュースポーツの出前教室の参加者数	教室参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	キンボール大会の参加者数	大会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	40	計画値	50	計画値	50	計画値	50		
					実績値	40	実績値	44	実績値	27	実績値			
チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い							4 点	18 点	4 点	18 点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い							3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない							4 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							4 点	／25点	4 点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	ニュースポーツの出前教室や障がい者支援施設での出前ゲーム教室といった各種の教室を毎年行っており、その参加者は少しずつではあるが増加傾向がある。高齢者向けの独自の歌体操も、引き続き市民に紹介しており、また、パラリンピックなどで注目が高まっている障害者スポーツについては、体験教室(ボッチャ)を実施するなど、新しい取組を行っていく。 平成27年度から実施している小学生向けのキンボール大会については、ニュースポーツの定着具合の指標と考えられるため、大会の参加人数が増加していくようチラシの配布以外にも紙以外の媒体を使用した広報活動を検討していくたい。 今後の事業の進め方については、継続して行ってきたもの(ニュースポーツ教室等)と新しく始めた活動(障害者スポーツの体験教室等)が存在することから、現時点では現状維持とする。							ニュースポーツの出前教室や障がい者支援施設での出前ゲーム教室といった各種の教室を毎年行っており、その参加者は少しずつではあるが増加傾向がある。また、また、高齢者向けの独自の歌体操も市民に紹介しており、活動の幅は広がりつつある。特に、平成27年度から小学生向けのキンボールの大会を開催しており、その大会の参加人数が増加していくよう広報活動を行っていく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スポーツ奨励事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月13日
-----	----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	②	②生涯スポーツの推進	目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	地域スポーツの推進と健康体力つくりを推進している、さぬき市体育協会及び各種団体、実行委員会並びに個人に補助金を交付し、自主的運営能力の向上と組織活性の推進を図ると共に、市民の生涯スポーツの推進と体力つくりの習慣性の定着を図り、健康で活気ある街づくりに資する。	積極的に活動を実施している団体やスポーツ事業を主催する実行委員会へ補助金を交付し、地域住民を交流を推進し、生涯スポーツの普及を目的とする。	計画額	0	0	0	60,500	60,500	—
			当初予算額	0	0	0	59,975	59,975	
			決算額	0	0	0	43,510	43,510	
H27	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賛金を交付したほか、生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付した。また、スポーツ少年団が8月にドイツスポーツ少年団と交流を行った。このほか、寒川高校の甲子園出場に際して激励金を交付した。	各団体が主催するスポーツ事業にスポーツ推進委員も協力しスポーツの振興を図った。また、スポーツ振興賞賛金制度について広報で制度周知を行った。	計画額	0	0	0	15,050	15,050	0.6
			当初予算額	0	0	0	15,050	15,050	
			決算額	0	0	0	15,780	15,780	
H28 具体的 的取 組	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賛金を交付する。生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。	例年と同じく、各団体が主催するスポーツ事業にスポーツ推進委員も協力し、スポーツの振興を図った。また、スポーツ振興賞賛金制度について広報で制度周知を行った。	計画額	0	0	0	15,050	15,050	0.4
			当初予算額	0	0	0	14,720	14,720	
			決算額	0	0	0	13,476	13,476	
H29	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賛金を交付する。生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。	例年と同じく、各団体が主催するスポーツ事業にスポーツ推進委員も協力し、スポーツの振興を図った。また、スポーツ振興賞賛金制度について広報で制度周知を行った。	計画額	0	0	0	15,200	15,200	0.4
			当初予算額	0	0	0	15,347	15,347	
			決算額	0	0	0	14,254	14,254	
H30	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賛金を交付する。生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。【予定】クロスカントリー50回記念大会の特別事業(招待選手など)		計画額	0	0	0	15,200	15,200	
			当初予算額	0	0	0	14,858	14,858	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	スポーツ振興賞賜金の制度周知回数	広報紙等での住民への周知回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2				
					実績値	1	実績値	2	実績値	2	実績値					
成果指標	スポーツ振興賞賜金の交付件数	世界大会・全国大会へ出場した選手・監督への賞賜金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	120	計画値	104	計画値	100	計画値	100				
					実績値	54	実績値	100	実績値	88	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	17 点	3 点	18 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	各種団体・実行委員会へ運営助成金・補助金を交付し、自主的な運営を促し、市民の生涯スポーツの推進、地域住民の交流を図っている。 スポーツ振興賞賜金については、前年度からの件数の増加は見られないが、問合せ数などを勘案すれば、市民への周知が進み定着してきていると思われる。						各種団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をし、市民の生涯スポーツの推進、地域住民の交流を行っている。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公民館事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月14日
-----	-------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	10	公民館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	市内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	計画額	0	0	0	5,728	5,728	—
			当初予算額	0	0	0	5,829	5,829	
			決算額	0	0	0	3,793	3,793	
H27	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行った。	館独特の色合いを強調させ、公民館の認知度を高めるため、寒川公民館長による「館長おでかけ講座」など、各公民館が自主事業を実施した。	計画額	0	0	0	1,428	1,428	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,428	1,428	
			決算額	0	0	0	1,247	1,247	
H28 具 体 的 取 組	公民館運営審議会(2回) 公民館協力委員会(委託件数5件) 高齢者学級(委託件数5件) 親子教室(10講座)	各事業を継続するとともに、高齢者学級を魅力的な内容にするために、過去に実施した講座の情報を各館で情報共有した。	計画額	0	0	0	1,428	1,428	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,446	1,446	
			決算額	0	0	0	1,274	1,274	
H29	公民館運営審議会(2回) 公民館協力委員会(委託件数5件) 高齢者学級(委託件数5件) 親子教室(10講座) 香川県公民館研究大会(8月 さぬき市公民館)	各事業を継続した。香川県教育委員会事務局と協力し、香川県公民館研究大会をさぬき市公民館(さぬき市津田公民館)で開催した。	計画額	0	0	0	1,436	1,436	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,466	1,466	
			決算額	0	0	0	1,272	1,272	
H30	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行った。		計画額	0	0	0	1,436	1,436	
			当初予算額	0	0	0	1,489	1,489	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	公民館等自主講座数	公民館で実施されている自主講座数	<input type="checkbox"/> 総合計画	講座	計画値	210	計画値	220	計画値	220	計画値	220	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	214	実績値	216	実績値	214	実績値		
成果指標	公民館等自主講座生数	公民館の自主講座に参加している生徒数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2,857	実績値	2,959	実績値	3,022	実績値		
評価	公民館利用者数	公民館施設の利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	74,347	実績値	72,166	実績値	70,836	実績値		
評価			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	16 点	4 点	19 点							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点								
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点								
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	1 点		3 点								
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点								
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
今後の方向性	理由	成果指標である公民館利用者数が、年々減少している。原因の一つに利用者の高齢化が考えられる。同時に、香川県人口と市人口も減少を続けているため、利用者数は分母の減少に伴って減っていくと思われる。 上記問題の対策として、公民館事業以外にも積極的に場所提供を行うことで、各種ソフト事業実施による施設活用を勧めていくべきだと考える。					施設使用料及び減免規定の改定利用規程検討し、施設ごとの使用料のばらつきを解消する。社会教育の奨励に必要な事業実施等は社会教育法で努めなければならないとされており、市が責任を持って実施すべきであり、講座参加者は満足度が高いが、利用者の高齢化や就労世代の利用者が伸び悩んでいる。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公民館管理事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月14日
-----	---------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費		
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	10	公民館費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	市内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	計画額	0	0	8,880	168,333	177,213	—
			当初予算額	584	128,300	8,993	197,494	335,371	
			決算額	584	104,300	6,381	135,321	246,586	
H27	公民館の管理運営を行った。 旧鴨部幼稚園(新鴨部公民館)の園庭舗装工事を実施した。	利用者の利便性を向上をさせることで、生涯学習活動の活性化を図った。	計画額	0	0	2,220	43,124	45,344	0.6
			当初予算額	0	0	2,220	43,124	45,344	
			決算額	0	0	2,169	41,468	43,637	
H28 具体的 的 取 組	公民館の管理運営を行った。 津田公民館北山分館の耐震診断の実施。 長尾公民館西側及び郵便局東側駐車場の舗装。 長尾公民館造田分館空調機の移設。	適正な施設管理及び老朽部分の改修により施設利用者の生涯学習活動の環境を確保した。	計画額	0	0	2,220	41,547	43,767	0.3
			当初予算額	584	0	2,320	58,125	61,029	
			決算額	584	0	1,950	51,247	53,781	
H29	公民館の管理運営を行った。 津田公民館北山分館の耐震改修工事の実施。 津田公民館調理実習室の空調機設置工事の実施。	適正な施設管理及び老朽部分の改修により施設利用者の生涯学習活動の環境を確保した。	計画額	0	0	2,220	41,831	44,051	0.6
			当初予算額	0	128,300	2,320	45,112	175,732	
			決算額	0	104,300	2,262	42,606	149,168	
H30	公民館の管理運営を行う。		計画額	0	0	2,220	41,831	44,051	
			当初予算額	0	0	2,133	51,133	53,266	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	公民館運営協力委員会開催数	各公民館において、より良く快適に公民館を使用するための会を開くことで公民館利用者数の増大を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12				
					実績値	10	実績値	10	実績値	10	実績値					
成果指標	公民館利用者数	各公民館の利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000				
					実績値	74,349	実績値	72,166	実績値	70,836	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	15 点	4 点	17 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	1 点		3 点						
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
		理由						公民館は、地域のコミュニティ活動の拠点としてだけでなく、緊急避難場所に指定されている施設も多いため、今後も利用環境の向上に努めていく。		公民館は、地域のコミュニティ活動の拠点としてだけでなく、緊急避難場所・避難所に指定されている施設も多いため、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修や大規模改修を必要とする箇所も増えている。 さぬき市公共施設再生基本計画に基づき、施設の統廃合や大規模な改修を検討していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	働く婦人の家管理事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費		
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	25	社会教育施設管理費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 事業概要 H30	働く女性のための、職場生活と家庭生活との調和と福祉の増進をするための事業を行うことを目的としているが、近年は男女共同参画により、男女関係なく総合理解と協力で文化的な生活の増進を図っている。施設の利用を活発にするため、利用者協議会を設立し、利用者間で施設利用のさらなる活用への努力を行っている。	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	計画額	0	0	1,168	16,795	17,963	—
			当初予算額	0	0	1,286	17,103	18,389	
			決算額	0	0	1,087	13,331	14,418	
H27	社会教育活動を円滑及び活発にするための拠点施設として、維持管理や効率的な運営に努めた。	志度働く婦人の家利用者協議会からの施設修繕要望に対応し、修繕等を行った。	計画額	0	0	292	4,168	4,460	0.2
			当初予算額	0	0	292	4,168	4,460	
			決算額	0	0	267	4,012	4,279	
H28 具体的取組	志度働く婦人の家階段手摺設置 志度働く婦人の家屋内土足化改修 志度働く婦人の家2階洋式トイレ設置	志度働く婦人の家について、利用者からの要望を基に、バリアフリー化や修繕を行い、利用環境を整えた。	計画額	0	0	292	4,172	4,464	0.2
			当初予算額	0	0	292	6,347	6,639	
			決算額	0	0	394	6,167	6,561	
H29	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	適正な施設管理及び老朽部分の改修により施設利用者の生涯学習活動の環境を確保した。	計画額	0	0	292	4,225	4,517	0.1
			当初予算額	0	0	292	3,337	3,629	
			決算額	0	0	426	3,152	3,578	
H30	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	292	4,230	4,522	
			当初予算額	0	0	410	3,251	3,661	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	働く婦人の家運営委員会開催回数	働く婦人の家における各種事業の企画実施について 調査審議する機関の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1		
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値			
成果指標	利用者数	働く婦人の家の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	25,000	計画値	25,000	計画値	25,000	計画値	25,000		
					実績値	24,815	実績値	23,808	実績値	24,474	実績値			
利用延べ回数	働く婦人の家の利用回数		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,950	計画値	1,950	計画値	1,950	計画値	1,950		
					実績値	1,899	実績値	1,867	実績値	1,852	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	4 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点	3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2 点	4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点	16 点 /25点	3 点 /25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	地域のコミュニティ活動の拠点として、今後も利用環境の向上に努めていく。 成果指標でもある利用者数が、年々減少している。原因の一つに利用者の高齢化が考えられる。同時に、香川県人口と市人口も減少を続けているため、利用者数は分母の減少に習って減ってくると思われる。 上記問題の対策として、働く婦人の家事業以外にも積極的に場所提供を行うことで、各種ソフト事業実施による施設活用を勧めていくべきだと考える。							地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修を必要とする箇所も増えている。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。 また、さぬき市公共施設再生基本計画に基づき、施設の統廃合や大規模な改修を検討していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生涯学習館管理事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月14日	
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------	--

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計			
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費			
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費			
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	25	社会教育施設管理費			

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	市民の生涯学習活動の場、地域の拠点として生涯学習館の維持管理を行う。	企業従業員の教育研修及び人材育成を図り、地域の産業振興及び技術向上に寄与する。さらに、市民の学習活動の場に供し、企業と住民の交流と融和を図る。	計画額	0	0	732	10,600	11,332	—
			当初予算額	0	0	716	10,897	11,613	
			決算額	0	0	384	8,551	8,935	
H27	社会教育活動を円滑及び活発にするための拠点施設として、維持管理し効率的な運営に努めた。	老朽化した高圧開閉器の交換を行い、利用環境の向上に努めた。	計画額	0	0	183	2,648	2,831	0.2
			当初予算額	0	0	183	2,648	2,831	
			決算額	0	0	174	3,164	3,338	
H28 具体的 的取 組	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	屋上の雨漏り・水道の水漏れ修繕等、細かな修繕を行い、利用環境の向上に努めた。	計画額	0	0	183	2,648	2,831	0.2
			当初予算額	0	0	183	2,870	3,053	
			決算額	0	0	157	2,904	3,061	
H29	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	適正な施設管理及び老朽部分の改修により施設利用者の生涯学習活動の環境を確保した。	計画額	0	0	183	2,652	2,835	0.1
			当初予算額	0	0	183	2,587	2,770	
			決算額	0	0	53	2,483	2,536	
H30	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	183	2,652	2,835	
			当初予算額	0	0	167	2,792	2,959	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	合同清掃開催数	利用者同士で清掃を行うことで利用しやすい環境を整えるとともに、交流と融和を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2			
					実績値	2	実績値	2	実績値	2	実績値				
成果指標	利用者数	生涯学習館の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	15,500	計画値	15,500	計画値	15,500	計画値	15,500			
					実績値	12,121	実績値	12,604	実績値	10,487	実績値				
利用延べ回数	生涯学習館の利用回数		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000			
					実績値	929	実績値	961	実績値	849	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	16 点	4 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2 点		3 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	地域のコミュニティ活動の拠点として、今後も利用環境の向上に努めていく。 成果指標でもある利用者数が、年々減少している。原因の一つに利用者の高齢化が考えられる。同時に、香川県人口と市人口も減少を続けているため、利用者数は分母の減少に習って減っていくと思われる。 上記問題の対策として、生涯学習館事業以外にも積極的に場所提供を行うことで、各種ソフト事業実施による施設活用を勧めていくべきだと考える。							地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修を必要とする箇所も増えている。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	青少年交流プラザ管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	--------------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	市民の相互交流を図り、広く生涯学習を展開する拠点として、さぬき市青少年交流プラザの維持管理を行う事業である。	交流プラザの情報を市民に提供する場としての性質だけでなく、老若男女問わず交流できる場や会議・イベントを行う場としての機能を持つ施設の管理運営を行う。	計画額	0	0	1,088	20,360	21,448	—
			当初予算額	0	0	1,085	21,169	22,254	
			決算額	0	0	531	16,595	17,126	
H27	青少年交流プラザの管理運営を行った。	憩いの場としての利用だけでなく、ボランティアなど各団体の会議の利用や図書館との共催等のイベントを行った。また、月末日休館を変更することにより、利用者の増加を図った。	計画額	0	0	272	5,090	5,362	0.4
			当初予算額	0	0	272	5,090	5,362	
			決算額	0	0	193	5,295	5,488	
H28 具体的 的取組	青少年交流プラザの管理運営を行う。 平成28年度は、シーリングファンの点検を行う。	憩いの場としての利用だけでなく、ボランティアなど各団体の会議の利用や図書館との共催等のイベントを行った。机椅子等の配置換えを行うことにより、来館者により快適に過ごしてもらえる空間を作った。	計画額	0	0	272	5,090	5,362	0.4
			当初予算額	0	0	271	5,443	5,714	
			決算額	0	0	172	5,254	5,426	
H29	青少年交流プラザの管理運営を行う。	憩いの場としての利用だけでなく、ボランティアなど各団体の会議の利用や図書館との共催等のイベントを行った。	計画額	0	0	272	5,090	5,362	0.4
			当初予算額	0	0	271	5,340	5,611	
			決算額	0	0	166	6,046	6,212	
H30	青少年交流プラザの管理運営を行う。 平成30年度は、シーリングファンの点検を行う。		計画額	0	0	272	5,090	5,362	
			当初予算額	0	0	271	5,296	5,567	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	行事開催数	青少年交流プラザで開催した行事数(ふれあいコーナー)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5			
					実績値	3	実績値	6	実績値	8	実績値				
成果指標	ふれあいコーナー利用者数	青少年交流プラザのふれあいコーナーの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点	4点	18点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点					
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
今後の方向性	方向性						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
	理由						平成28年度の青少年交流プラザ(志度図書館)の入館者数は減少傾向であったが、平成29年度は前年度より増加した。それに伴ってか、ふれあいコーナーの利用者数も若干ではあるが利用者が増加した。ふれあいコーナーの行事利用も増加しているので、青少年交流プラザ全体の入館者数をさらに増加していきたい。		入館者数は減少したが、青少年交流プラザを利用したイベントの取組や月末日休館の変更(月末日が土・日曜日の場合は木曜日に変更)などにより、利用者サービスの改善に努めている。ふれあいコーナー等の積極的な利用(会議やイベントなど)により、入館者数を増加させてていきたい。 地域密着型、かつ、全世代対応型の施設であることから、今後も必要最小限の経費で長く継続する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	南川自然の家管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月15日
-----	------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、自然教室や体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る。	青少年の健全育成事業の一環として、自然体験学習及び集団宿泊学習における教育活動の一端を担う。	計画額	0	0	7,444	13,558	21,002	—
			当初予算額	0	0	7,901	26,303	34,204	
			決算額	0	0	6,369	14,917	21,286	
H27 具 体 的 取 組	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理・運営に努めた。	管理員を常時雇用したことにより、相談及び見学等施設利用者に利便性を高めることができ、また、料金徴収の面においても有効な手段となった。	計画額	0	0	1,861	3,356	5,217	0.4
			当初予算額	0	0	1,861	3,356	5,217	
			決算額	0	0	2,322	2,608	4,930	
H28 具 体 的 取 組	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。	管理員の雇用方法に変化をもたせ、土・日及び祝日に2人体制とすることで、来場者及び利用者の対応に則した形となった。	計画額	0	0	1,861	3,360	5,221	0.3
			当初予算額	0	0	2,020	4,837	6,857	
			決算額	0	0	2,094	4,471	6,565	
H29 具 体 的 取 組	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。	管理員の雇用方法に変化をもたせ、土・日及び祝日に2人体制とすることで、来場者及び利用者の対応に則した形となった。	計画額	0	0	1,861	3,419	5,280	0.2
			当初予算額	0	0	2,010	8,539	10,549	
			決算額	0	0	1,953	7,838	9,791	
H30 具 体 的 取 組	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。		計画額	0	0	1,861	3,423	5,284	
			当初予算額	0	0	2,010	9,571	11,581	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	PR活動	雑誌及び電話相談における施設のPR回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	5	計画値	8	計画値	10	計画値	10			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	7	実績値	8	実績値	8	実績値				
成果指標	施設利用者数	自然体験学習や集団宿泊学習のため、また、趣味・娯楽のため訪れる利用者の数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値		計画値		計画値		計画値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	19 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		3 点					
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
今後の方向性	方向性						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止	○ 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
	理由						管理員の雇用等ソフト面の充実を期してきているが、施設の老朽化に対する維持工事が必要となってきた。 東讃圏域で集団宿泊施設を市営で運営している施設は当該箇所のみであり、また、個人キャンパーから集団までの多様な分野において利用可能な面もあり現状維持とした。 豊かな自然環境の中で、集団生活や野外活動が体験できる施設の存在意義は非常に高い。 管理員の雇用等ソフト面の充実を期してきているが、講堂や宿泊棟の屋根葺き替え等改修工事や、施設の老朽化に対する維持工事が必要となってきた。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	図書館管理事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	---------	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	市民への図書館サービスの拡大と地域の活性化を図るため、さぬき市図書館の総括的な事業を行う。	図書館協議会や子ども読書活動推進会議の図書館関係会議や図書館システム等両図書館に共通する事業である。	計画額	0	0	48	18,348	18,396	—
			当初予算額	0	0	36	17,604	17,640	
			決算額	0	0	26	11,526	11,552	
H27	平成27年10月に図書館新システムを導入した。 ※図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体としての共通事業であるため、本事業には志度・寒川両図書館で不可分な共通経費を計上している。	図書館協議会委員を追加募集し、1名充足した。図書館協議会を計画通り実施したほか、子ども読書活動推進会議については、計画見直しもあり、例年より1回多く実施した。	計画額	0	0	12	4,587	4,599	0.9
			当初予算額	0	0	12	4,587	4,599	
			決算額	0	0	12	3,193	3,205	
H28 具体的 的取組	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。	図書館協議会委員の改選年度であり、関係団体の推薦や公募3名を行い、定員の10名で図書館協議会を計画通り実施したほか、子ども読書活動推進会議についても、計画通り実施した。	計画額	0	0	12	4,587	4,599	0.9
			当初予算額	0	0	12	3,940	3,952	
			決算額	0	0	14	3,880	3,894	
H29	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。	図書館協議会委員が現職中に亡くなり、その補充として公募を行い、定員の10名で図書館協議会を計画通り実施したほか、子ども読書活動推進会議については、委員の改選年度であり、委員9名を委嘱し計画通り実施した。	計画額	0	0	12	4,587	4,599	0.9
			当初予算額	0	0	12	4,475	4,487	
			決算額	0	0	0	4,453	4,453	
H30	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。		計画額	0	0	12	4,587	4,599	
			当初予算額	0	0	0	4,602	4,602	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	図書館協議会開催回数	図書館運営に関し館長の諮問に応じるとともに図書館サービスについて意見を述べる会議の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2			
					実績値	2	実績値	2	実績値	2	実績値				
成果指標	子ども読書活動推進会議開催回数	子ども読書活動の効果的な推進を図るための会議の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2			
					実績値	3	実績値	2	実績値	2	実績値				
評価	貸出点数	視聴覚資料等を含めた書籍類の貸出点数(志度・寒川図書館合計点数)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値	157,000	計画値	157,000	計画値	157,000	計画値	157,000			
					実績値	161,292	実績値	157,089	実績値	153,681	実績値				
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点	4 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		4 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	さぬき市図書館全体は一層良い方向に図書館協議会や子どもの読書について考える子どもの読書活動推進会議やブックスタートなど、両図書館が共通する事業をスムーズに行うため、連絡を取り合い連携を図る。							さぬき市図書館をよりよくするための図書館協議会、子どもの読書について考える子どもの読書推進会議やブックスタートなど、両図書館が共通する事業をスムーズに行うため、連絡を取り合い連携を図っていく。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	寒川図書館管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 概要	図書館は、市民が教養を深めたり、問題解決や自己実現に向けた活動をするための生涯学習の拠点としての身近な施設である。昨今の社会情勢は高度化・専門化・多様化しており、変化に対応するための資料の提供場所として図書館の必要性が高まっている。そのため、資料を収集・保存・提供とともに、図書館サービスの充実を図る。	市民や図書館利用者に十分な情報が提供できるよう、図書購入や職員・司書等の図書館運営に必要な知識の強化による図書館の充実、また、学校との連携による子どもの読書推進等を目的とする。	計画額	0	0	128	37,976	38,104	—
H27	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供した。児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	おはなし会、工作教室、読書週間行事などを開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	当初予算額	0	0	48	41,520	41,568	0.7
H28 具体的 的取組	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	おはなし会や新しい行事として図書館クイズ・図書関連のbingoゲーム・ミニコンサートなどを開催して、子どもの図書への推進に取り組みました。	決算額	0	0	137	29,397	29,534	2.4
H29	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	おはなし会や行事としてミニコンサートや新たに友の会主催の手づくり工作などを開催して、子どもの図書への推進に取り組んだ。	計画額	0	0	32	9,494	9,526	0.7
H30	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		当初予算額	0	0	13	9,276	9,289	2.4
			決算額	0	0	2	8,984	8,986	
			計画額	0	0	32	9,494	9,526	0.7
			当初予算額	0	0	1	11,291	11,292	2.4
			決算額	0	0	3	11,056	11,059	
			計画額	0	0	32	9,494	9,526	
			当初予算額	0	0	2	11,459	11,461	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	図書館行事	図書館で開催している行事	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値	4	実績値	5	実績値			
成果指標	新規購入の図書冊数	新しく購入した図書の冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画	冊	計画値	900	計画値	900	計画値	900	計画値	900		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	869	実績値	896	実績値	817	実績値			
成果指標	来館者数	寒川図書館に来館した人数(貸出・返却者含む)	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	43,000	計画値	43,000	計画値	43,000	計画値	43,000		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	42,016	実績値	46,077	実績値	47,283	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点	4 点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		4 点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	方向性							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
今後の方向性	理由	平成29年度は入館者数、利用者数、貸出冊数ともに増加した。寒川図書館の資料充実と周知を引き続き行って、一層入館者数等を増やしていきたい。							図書館資料の充実や行事の工夫・周知などにより来館者は増加している。今後も、図書の充実・テーマ展示などをし、図書の配架場所を利用者にわかりやすくし、利用者サービスの向上に努めたい。 生涯学習の拠点となる施設であることから、今後も資料の充実化を図ることで文化のまちづくりに有効に寄与できるものである。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度図書館管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	市民に必要な情報を提供するとともに、生涯学習の拠点として志度図書館を管理運営するための事業である。	市民や図書館利用者に十分な情報が提供できるよう、図書購入や職員・司書等の図書館運営に必要な知識の強化による図書館の充実、また、学校との連携による子どもの読書推進等を目的とする。	計画額	0	0	88	64,324	64,412	—
			当初予算額	0	0	88	65,849	65,937	
			決算額	0	0	24	47,817	47,841	
H27	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供した。各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	26年度から開始した雑誌スポンサー制度について、27年度も同様の協力が得られた。また、減少傾向にあった図書貸出冊数も、回復しつつある。	計画額	0	0	22	16,081	16,103	1.0
			当初予算額	0	0	22	16,081	16,103	
			決算額	0	0	12	15,704	15,716	
H28 具体的 的取組	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	雑誌スポンサー制度については、28年度は1社の離脱があったが、新たに1社の協力が得られた。ボランティア団体のおはなし会を行うことにより未就学児や小学生等の集客を行ったが、全体の来館者数は減少した。	計画額	0	0	22	16,081	16,103	1.0
			当初予算額	0	0	22	16,324	16,346	
			決算額	0	0	6	16,001	16,007	
H29	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	雑誌スポンサー制度については、29年度は現状維持を保てた。ボランティア団体のおはなし会を行うことにより未就学児や小学生等の集客を行い、イベントの開催などが功を奏したのか、全体の来館者数は昨年度より増	計画額	0	0	22	16,081	16,103	1.0
			当初予算額	0	0	22	16,514	16,536	
			決算額	0	0	6	16,112	16,118	
H30	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	22	16,081	16,103	
			当初予算額	0	0	22	16,930	16,952	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
活動指標	新規購入図書冊数	新しく購入した図書の冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画	冊	計画値	2,200	計画値	2,200	計画値	2,200	計画値	2,200
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,904	実績値	1,791	実績値	2,315	実績値	
成果指標	学校図書館支援活動	学校図書館への協力・支援活動の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値	5	実績値	5	実績値	
評価	入館者数	志度図書館に来館した人数(貸出返却者数含む)	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	97,077	実績値	92,046	実績値	93,012	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		4 点							
	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
		平成29年度は入館者数が増加したが、利用者数、貸出冊数ともに減少した。魅力ある図書館を目指すため、図書館資料の充実、行事の充実や図書館自体の周知に引き続き力を入れていきたい。					図書の充実・テーマ展示などの工夫・周知を行い、図書の配架場所を利用者にわかりやすくすることで、利用者サービスの向上に努めたい。 生涯学習の拠点となる施設であることから、今後も資料の充実化を図ることで文化のまちづくりに有効に寄与できるものである。					
今後の方向性	理由											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	雨滝自然科学館事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日	
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------	--

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計			
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費			
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費			
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	35	資料館費			

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	四国内でも特筆すべき自然科学系の施設であり、世界最古のナマズ科化石を始めとする動植物化石の宝庫である雨滝山周辺の自然環境を次の世代に伝えるため、地域の資料を収集・展示をし、普及活動に努める。また、学校関係への体験学習を実施することを通して子どもたちが地域の自然を考えるきっかけづくりを提供する。	さぬき市内や県内の自然科学に関する資料を展示することにより、自然科学に興味を持ってもらうと共に、自然環境を次世代に伝えていく。	計画額	0	0	0	37,276	37,276	—
			当初予算額	0	0	0	37,560	37,560	
			決算額	0	0	0	25,839	25,839	
H27	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・小・中学校の長期休暇に合わせて、企画展と親子教室を年間3回開催。 ・市内小学校への体験学習の実施。	さぬき市内をはじめ県内の自然科学をわかりやすく伝えるために情報発信をしているが、館運営体制を整備・強化する必要がある。	計画額	0	0	0	9,227	9,227	0.5
			当初予算額	0	0	0	9,227	9,227	
			決算額	0	0	0	8,572	8,572	
H28 具体的 的取 組	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。	自然科学に対する興味を持ってもらうため、わかりやすい展示で情報発信をしているが、設備等の経年変化に対応する必要がある。	計画額	0	0	0	9,227	9,227	0.3
			当初予算額	0	0	0	8,914	8,914	
			決算額	0	0	0	8,520	8,520	
H29	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。	自然科学に対する興味を持ってもらうため、わかりやすい展示で情報発信をしているが、設備等の経年変化に対応する必要がある。	計画額	0	0	0	9,411	9,411	0.6
			当初予算額	0	0	0	9,512	9,512	
			決算額	0	0	0	8,747	8,747	
H30	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。		計画額	0	0	0	9,411	9,411	
			当初予算額	0	0	0	9,907	9,907	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	企画展開催数	企画展開催数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値	3	実績値	3	実績値			
成果指標	観覧者数	雨滝自然科学館に来館した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	親子教室参加者数	親子教室に参加した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,065	実績値	2,184	実績値	2,155	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	16 点	4 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点		3 点			
								／25点	／25点	17 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
今後の方向性	理由	企画展開催数は平成27年度と同じだが、観覧者数と親子教室参加者数は増加している。今後も観覧者が自然科学について楽しく学べる施設になるように施設運営や管理を行っていく。							自然科学学習や自然とのふれあいが大切であるといわれている時代背景がある中、施設の存在意義は高い。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田郷土館管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	津田地区を中心とする貴重な歴史資料を保管展示するための事業。	主に津田地区に伝承され続ける歴史、民俗を次の世代に伝える。	計画額	0	0	0	1,594	1,594	—
			当初予算額	0	0	0	1,556	1,556	
			決算額	0	0	0	1,123	1,123	
H27	津田郷土館の最低限の維持管理費。	適正な維持管理に努めた。歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	395	395	0.1
			当初予算額	0	0	0	395	395	
			決算額	0	0	0	379	379	
H28 具体的 的取 組	津田郷土館の最低限の維持管理費。	適正な維持管理に努めたが、歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	395	395	0.1
			当初予算額	0	0	0	395	395	
			決算額	0	0	0	372	372	
H29	津田郷土館の最低限の維持管理費。	適正な維持管理に努めたが、歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	402	402	0.1
			当初予算額	0	0	0	387	387	
			決算額	0	0	0	372	372	
H30	津田郷土館の最低限の維持管理費。		計画額	0	0	0	402	402	
			当初予算額	0	0	0	379	379	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	津田郷土館利用回数	郷土館の利用回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10		
					実績値	8	実績値	5	実績値	3	実績値			
成果指標	津田郷土館入館者数	郷土館入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値	300	実績値	180	実績値	80	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い							3点	14点	3点	14点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							2点		2点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い							2点		2点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない							2点		2点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							5点	/25点	5点	/25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	津田地区の歴史資料を保存する施設としては必要な施設である。							津田地区の歴史資料を保存する施設として、必要な施設である。 今後は、他の類似施設との統廃合を検討していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名 さぬき市歴史民俗資料館管理事業 担当課 生涯学習課 記入日 平成30年6月11日

総合計画上の位置付け			会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	01	一般会計	
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	50	教育費	
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	30	社会教育費	
			35	資料館費	

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
				国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 ～ H30	事業概要	さぬき市歴史民俗資料館として、所蔵する資料の展示の充実をさせ、地域に伝承され続ける歴史、民俗を次の世代に伝えるため、地域の資料を収集・展示をし、普及活動に努める。また、学校関係への学習見学を実施することを通して子どもたちが地域の歴史、民俗を考えるきっかけづくりを提供する。	さぬき市の歴史、民俗を資料展示等を通して次の世代に伝えていく。	計画額	0	0	320	13,658	13,978	—	
				当初予算額	0	0	324	14,524	14,848		
				決算額	0	0	158	10,533	10,691		
H27	具体的な取組	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務、資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行った。	設備等の経年変化に対応する必要がある。	計画額	0	0	80	3,381	3,461	0.3	
				当初予算額	0	0	80	3,381	3,461		
				決算額	0	0	64	3,407	3,471		
H28		さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。	本市の歴史を分かりやすく伝えるための展示を行い、特に古代の特徴を分かりやすく展示した。	計画額	0	0	80	3,381	3,461	0.2	
				当初予算額	0	0	84	3,593	3,677		
				決算額	0	0	30	3,716	3,746		
H29		さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。	本市の歴史を分かりやすく伝えるための展示を行い、特に中世の特徴を分かりやすく展示した。	計画額	0	0	80	3,448	3,528	0.3	
				当初予算額	0	0	80	3,546	3,626		
				決算額	0	0	64	3,410	3,474		
H30		さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。		計画額	0	0	80	3,448	3,528		
				当初予算額	0	0	80	4,004	4,084		
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	企画行事等	企画行事数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1		
					実績値	2	実績値	1	実績値	1	実績値			
成果指標	歴史民俗資料館入館者数	歴史民俗資料館の入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	必要性低い ⇒ 必要性高い							4点	19点	4点	18点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							4点		3点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							3点		4点				
	優先度低い ⇒ 優先度高い							4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	25点	4点	25点			
	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
今後の方向性	方向性							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
	理由							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
今後の方向性	理由							本市の歴史を分かりやすく伝えるためには必要な施設であり、今後も市民に本市の歴史を伝えるためには必要な施設である。						
								本市の歴史を伝える施設であり、今後も本市の歴史を分かりやすく伝えるための調査を行い、成果を企画展示等で公開する施設として必要である。 歴史に関心を示す市民の郷土史学習の場として、体験的に伝統産業や郷土史を学ぶことができる施設である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	門入工房管理事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月11日
-----	----------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24)生涯学習・スポーツの推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	施設管理を行うと共に市内文化芸術関係者及び文化団体等の連携、創作意欲の助長と活動育成を図る。	市民が芸術作品等を創作する場の提供。	計画額	0	0	0	770	770	—
			当初予算額	0	0	0	714	714	—
			決算額	0	0	0	390	390	—
H27	施設の適正な維持管理に努めた。	これまでの活動を行いながら、利用しやすい環境を整えた。	計画額	0	0	0	191	191	0.1
			当初予算額	0	0	0	191	191	
			決算額	0	0	0	111	111	
H28 具体的 的 取 組	施設の維持管理をする。	施設の適切な管理に努めた。	計画額	0	0	0	191	191	0.1
			当初予算額	0	0	0	191	191	
			決算額	0	0	0	133	133	
H29	施設の維持管理をする。	施設の適切な管理に努めた。	計画額	0	0	0	194	194	0.1
			当初予算額	0	0	0	191	191	
			決算額	0	0	0	146	146	
H30	施設の維持管理をする。		計画額	0	0	0	194	194	
			当初予算額	0	0	0	141	141	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	利用件数	門入工房を利用した件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	68	実績値	13	実績値	82	実績値					
成果指標	団体数	門入工房を利用した団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画	団体	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値	2	実績値	2	実績値					
評価	利用者数	門入工房を利用した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	480	実績値	111	実績値	632	実績値					
評価			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3 点	15 点	3 点	15 点	／25点					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3 点		3 点							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3 点		3 点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3 点		3 点							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3 点		3 点							
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	市民が陶芸をはじめとした芸術活動を行うための施設として、必要な施設である。						市民が気軽に陶芸等の工芸作品を製作するための施設として、必要である。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会体育施設管理事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月13日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	生涯スポーツの振興・普及のための拠点施設である社会体育施設の維持管理を行い、健康で活力と活気にあふれた街づくりの創生を行う。	スポーツ基本法の理念に基づき市民が生涯にわたって自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じたスポーツを行うことができる施設の整備・改善等を行う。	計画額	0	0	13,268	43,257	56,525	—
			当初予算額	0	0	12,835	44,768	57,603	
			決算額	0	0	8,939	38,039	46,978	
H27	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行った。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	3,317	11,074	14,391	0.3
			当初予算額	0	0	3,317	11,074	14,391	
			決算額	0	0	3,149	12,830	15,979	
H28 具体的 的取 組	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	3,317	10,663	13,980	0.5
			当初予算額	0	0	3,159	11,488	14,647	
			決算額	0	0	2,894	10,755	13,649	
H29	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。古い機器など交換部品が希少となったケースや交換部品がない場合などの対応を行う。	計画額	0	0	3,317	10,760	14,077	0.4
			当初予算額	0	0	3,169	13,357	16,526	
			決算額	0	0	2,896	14,454	17,350	
H30	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	3,317	10,760	14,077	
			当初予算額	0	0	3,190	8,849	12,039	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	定期使用説明会の実施	各地区毎に定期使用説明会を行うことで、効率的な施設の使用を促す。(志度、津田、大川、長尾、寒川、各1回ずつ)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値	5	実績値	5	実績値		
成果指標	社会体育施設の利用者数	施設の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	127,000	計画値	127,000	計画値	127,000	計画値	127,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	118,314	実績値	123,937	実績値	126,116	実績値		
社会体育施設利用者の事故発生数	社会体育施設利用者の事故発生数		<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	16 点	4 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点		3 点		
								2 点	／25点	4 点	／25点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	社会体育施設としては、体育館を中心に利用者が増加し、高い使用率を維持しているが、施設の老朽化も進行しており、修繕を必要とする箇所、修繕要望が増加している。 大規模な修繕を必要とするケースも増加していることから、長寿命化や統廃合を含めた長期的な視点で社会体育施設の維持管理について考えていく必要がある。							幼児から高齢者までの市民のスポーツ推進と健康増進を支援していくことは今後においても必要であり、自治体にはスポーツ基本法に基づきその環境を積極的につくる役割がある。 大規模な修繕を必要とするケースも増加していることから、長寿命化や統廃合を含めた長期的な視点で社会体育施設の維持管理について考えていく必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校開放施設管理事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月11日
-----	------------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	学校体育施設を地域住民に開放し、生涯スポーツ、青少年の健全育成の推進を図り、住民の健康体力づくりの拠点施設として活用するための維持管理を行う。	学校体育施設を地域住民に開放し、生涯スポーツ、青少年の健全育成の推進を図り、住民の健康体力づくりの拠点施設として活用する。	計画額	0	0	8,596	34,328	42,924	—
			当初予算額	0	0	7,969	34,954	42,923	
			決算額	0	0	5,175	26,929	32,104	
H27	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行った。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	2,149	8,544	10,693	0.2
			当初予算額	0	0	2,149	8,544	10,693	
			決算額	0	0	1,896	9,039	10,935	
H28 具体的 的取 組	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	2,149	8,544	10,693	0.4
			当初予算額	0	0	2,000	9,056	11,056	
			決算額	0	0	1,740	8,994	10,734	
H29	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。	計画額	0	0	2,149	8,620	10,769	0.5
			当初予算額	0	0	1,910	8,775	10,685	
			決算額	0	0	1,539	8,896	10,435	
H30	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	2,149	8,620	10,769	
			当初予算額	0	0	1,910	8,579	10,489	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	定期使用説明会の実施	各地区毎に定期使用説明会を行うことで、効率的な施設の使用を促す。(志度、津田、大川、長尾、寒川、各1回ずつ)	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値	5	実績値	5	実績値					
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	181,001	実績値	153,964	実績値	152,773	実績値					
学校開放施設利用者の事故発生数	学校開放施設利用者の事故発生数		<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	必要性低い ⇒ 必要性高い							4点	19点	4点	19点					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							4点		4点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							3点		3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							4点		4点						
	優先度低い ⇒ 優先度高い							4点		4点						
今後の方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							19点	25点	25点	25点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							4点								
方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
今後の方向性	理由 スポーツ少年団や社会体育団体等、様々な団体が利用している。 老朽化に伴い、修繕等の対応が必要となる施設が増加しているが、今後も利用者が安全に利用できるように、適切な維持管理を行う。							誰でも気軽にスポーツができる学校体育施設の開放は、地域における生涯スポーツの中核であり、市が主体的に運営管理する必要がある。また、地域団体を支援・育成することは地域スポーツの推進に繋がるため必要である。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	B&G海洋センター管理運営		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月5日
-----	---------------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24)生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	35	海洋センター管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	カヌーや水泳等の海洋性スポーツレクリエーションを通じて、青少年の健全育成と幼児から高齢者までの健康づくりの拠点としての施設整備や維持管理、また更なる事業規模の拡大振興を図る。	次世代を担う子供たちの健やかな心や体の育成及び地域の健康の増進、さらに四国ブロックマリンスポーツ大会等をとおして向上心や競争心の養成、相互の親睦・交流を図り様々ななり広い視野をもってもらうこと。	計画額	0	0	6,824	30,818	37,642	—
H27	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	当初予算額	0	149,800	73,941	16,473	240,214	0.4
H28 具 体 的 取 組	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	決算額	0	93,900	37,123	10,593	141,616	0.6
H29	○カヌー教室・マリンスポーツ大会 ○B&G海洋センター水泳プール改修工事 ・建築改修工事、設備工事、浄化槽新設工事 ・改修工事施工監理 ・浄化槽新設工事実施設計 ・備品整備	プール建築改修工事とカヌー教室の実施ならびにマリンスポーツ大会への参加。	計画額	0	0	1,706	7,636	9,342	0.0
H30	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会		当初予算額	0	80,000	35,411	1,404	116,815	0.6
			決算額	0	93,900	33,604	1,115	128,619	0.0
			計画額	0	0	1,706	7,750	9,456	
			当初予算額	0	0	1,907	6,160	8,067	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	教室開催数	水泳、アクアフィットネス、カヌーなど各種教室開催延回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	18	計画値	18	計画値	6	計画値	24			
					実績値	18	実績値	18	実績値	6	実績値				
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000			
					実績値	19,558	実績値	17,337	実績値	14,421	実績値				
施設利用者の事故発生数	施設利用者の事故発生数		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0			
					実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	19 点	5 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点		4 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	プールの建築改修工事において、更衣室およびシャワー室の増改築したこと、多くの方々に利用してもらえる施設になったと同時にこれまで以上に適正な施設管理と利用者の安全確保が必要となる。 また、各種教室についても積極的に行い、青少年の健全育成と幼児から高齢者までの健康づくりの場として提供できるように努める。							豊かな自然環境の中で、マリンスポーツの体験や、プールでの水泳教室の実施など施設の存在意義は非常に高い。 各種教室については、参加者の増減はあるもののマリンスポーツの推進や健康増進を図るために、続けていくべきだと考えている。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	総合運動公園管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月5日
-----	------------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	42	総合運動公園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 事業概要	効率的な施設運営のため、市内3箇所にある総合運動公園を指定管理者制度を導入し、サービスの向上生涯スポーツの普及・振興を図る。また、スポーツ活動及び憩いの場として安全快適な施設の提供と適正な管理運営に努める。	市民の健康と体力つくりや各種イベント等スポーツ活動だけでなく、地域間交流や校外活動の場としての役割を担う施設であり、適正な管理運営を行うことで健康で活力のある人・街づくりを目的としている。	計画額	0	0	2,144	180,862	183,006	—
			当初予算額	0	0	2,136	165,125	167,261	
			決算額	0	0	1,611	131,505	133,116	
H27	・テニスコート照明灯塗装・テニスコート人工芝部分張替・芝生広場トイレ改修工事・汚水処理施設修繕・野球場バックスクリーン塗装・コテージ塗装及びエアコン設置・パターゴルフ塗装・防球ネット修繕・駐車場区画線修繕 等	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	536	44,801	45,337	0.3
			当初予算額	0	0	536	44,801	45,337	
			決算額	0	0	474	45,625	46,099	
H28 具体的取組	・テニスコート人工芝部分張替・高圧受電設備修繕・運動広場バックスクリーン塗装・雨水処理施設修繕・防球ネット修繕・照明修繕・コテージ塗装及びエアコン設置・駐車場区画線修繕・多目的広場芝補植 等	指定管理者と連携し、適正な施設管理を行い施設利用者の活動の場を確保した。今後も連携を密にし長寿命化による経費削減と状況に応じた修繕を継続して行う。	計画額	0	0	536	44,801	45,337	0.5
			当初予算額	0	0	470	39,657	40,127	
			決算額	0	0	524	44,086	44,610	
H29	・テニスコート人工芝部分張替・伐採及び剪定・防球ネット修繕・照明修繕・貯水槽清掃・コテージ塗装及びエアコン設置・消防設備修繕・スポーツトラクタ購入 等	指定管理者と連携し、適正な施設管理を行い施設利用者の活動の場を確保した。今後も連携を密にし長寿命化による経費削減と状況に応じた修繕を継続して行う。	計画額	0	0	536	45,630	46,166	0.4
			当初予算額	0	0	578	41,411	41,989	
			決算額	0	0	613	41,794	42,407	
H30	【予定】・テニスコート人工芝部分張替・伐採及び剪定・照明修繕・コテージ塗装及びエアコン設置・ゲートボール場駐車場修繕・野球場塗装修繕 等		計画額	0	0	536	45,630	46,166	
			当初予算額	0	0	552	39,256	39,808	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	総合運動公園施設の日常点検回数	指定管理者による遊具の点検を含む施設の日常点検回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	13	計画値	13	計画値	13	計画値	13		
	運動広場の清掃活動回数	施設管理のための除草や清掃等の活動回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	67	計画値	67	計画値	67	計画値	67		
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	130,000	計画値	130,000	計画値	130,000	計画値	130,000		
	公園利用者の事故発生数	公園利用者の事故発生数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	4 点	20 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点	3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点	4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点	5 点				
	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
今後の方向性	方向性							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
	理由							施設の老朽化に伴う維持管理や修繕費用の増加、人口減少に伴う利用者の減少など課題は多いが、利用率、満足度の向上には、適切な施設維持・改修等が必要となる。このため、長期的な視点で計画的な更新や統廃合・長寿命化等を行うことで、財政負担の軽減を図りつつ、市民がより満足できる施設を維持する必要がある。				指定管理者と一体となって、利用者が安全・快適に利用できるよう施設設備の修繕を行う。なお、危険な遊具等を撤去し、安心で安全な施設の提供を図る。また、住民に交流と憩いの場を提供し、健康で活力ある街づくりに努める。 しかしながら、人口減少や施設の老朽化が進む中、施設維持に係る管理経費や施設利用の在り方など課題が生じていることから、長期的な視点で計画的な更新や統廃合・長寿命化等を行い、財政負担の軽減や公共施設の最適な配置の検討が必要であると感じている。		

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会体育施設整備事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月5日
-----	------------	--	-----	-------	--	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進	項	35	保健体育費		
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営	目	08	体育施設管理費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 事業概要	市民スポーツの活動拠点となる社会体育施設を建設する。	学校再編計画に基づき廃止された学校開放施設に代わる新たな施設を集約して社会体育施設を整備することにより、市民スポーツの活動拠点ならびに避難所としての機能を確保する。	計画額	0	528,100	73,070	13,438	614,608	—	—
			当初予算額	0	526,900	62,974	1,298	591,172		
			決算額	0	180,100	20,175	41	200,316		
H27 具 体 的 取 組	○社会体育施設整備に向けた各種取組	社会体育施設の整備に向け、実施設計に着手するとともに、各種関係機関と協議を実施した。	計画額	0	0	0	0	0	0.3	0.2
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H29 具 体 的 取 組	○社会体育施設整備工事の着手 ・建築工事実施設計(繰越) ・建築工事、電気設備工事、機械設備工事 ・建築工事施工監理 ・外構工事実施設計	社会体育施設の整備に伴う工事ならび外構工事の実施設計を実施し、翌年度の工事工程について関係課との協議を行った。	計画額	0	488,700	54,300	38	543,038	0.4	0.0
			当初予算額	0	488,700	54,300	38	543,038		
			決算額	0	177,300	19,808	0	197,108		
H30	○外構工事等の着手		計画額	0	39,400	0	13,400	52,800		
			当初予算額	0	38,200	8,674	1,260	48,134		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	実施設計の策定件数	建築及び外構工事に係る実施設計の策定件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	1	計画値	1	計画値	0		
					実績値	0	実績値	0	実績値	2	実績値			
成果指標	社会体育施設整備数	社会体育施設の整備数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	施設	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	23 点	5 点	23 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
								／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性 ○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	各関係課との協議及び工程等のスケジュール調整を十分に行い、工事に遅れの無いよう効率的かつ迅速に進めていく。						社会体育施設の整備については、合併特例債の期限である平成29年度に着手する必要があり、かなりタイトなスケジュールになることから、各種関係機関との協議及び調整を行い、効率的かつ迅速に進めていく必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保護事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月12日
-----	---------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費		
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	市内にある指定文化財を中心とした保護・活用を図るための事業	市内に所在する文化財を調査し、保護していくための必要な措置を講じていく事業である。	計画額	0	0	9	11,376	11,385	—
			当初予算額	6,567	0	6,027	20,798	33,392	
			決算額	5,634	0	5,830	9,688	21,152	
H27	文化財保護審議会を定期的に開催し、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行った。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続開催した。	これまでの取組をさらに検討しながらより効果的な方法を検討したい。	計画額	0	0	9	2,816	2,825	0.2
			当初予算額	0	0	9	2,816	2,825	
			決算額	0	0	10	2,539	2,549	
H28 具体的 的 取 組	文化財保護審議会を定期的に開催し、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。	本市の文化財を保護するために、文化財調査を行い、また世界遺産登録を目指した取り組みの一環として遍路道の調査も行った。	計画額	0	0	0	2,816	2,816	0.1
			当初予算額	6,000	0	6,009	3,286	15,295	
			決算額	5,148	0	5,811	1,909	12,868	
H29	・文化財保護審議会の開催 ・指定文化財候補の現状調査 ・古文書講座開催	本市の文化財を保護するために、文化財調査を行い、また世界遺産登録を目指した取り組みの一環として、昨年実施した遍路道の調査成果をまとめた。	計画額	0	0	0	2,872	2,872	0.1
			当初予算額	567	0	9	5,656	6,232	
			決算額	486	0	9	5,240	5,735	
H30	・文化財保護審議会の開催 ・指定文化財候補の現状調査 ・古文書整理		計画額	0	0	0	2,872	2,872	
			当初予算額	0	0	0	9,040	9,040	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	調査件数	調査、保護した文化財数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	3			
					実績値	3	実績値	2	実績値	3	実績値				
成果指標	文化財数	指定文化財の件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	105	計画値	106	計画値	107	計画値	105			
					実績値	103	実績値	103	実績値	103	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	21 点	4 点	19 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		3 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		3 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		4 点					
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
		市内に所在する文化財の現状を調査し、保存が必要な文化財については今後も適切に保護、保存を実施していく必要がある。						指定文化財の経年劣化が顕著化した場合には保存修理事業を実施することとなるため、予防保存措置を推進し、将来のコストの増加を抑制する必要がある。貴重な文化財を適切に保護するために状況調査を行い、各文化財の適切な保護措置を検討していく。							
今後の方向性	理由														

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保全事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月12日
-----	---------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	指定文化財を後世に伝えるために適切な補修や環境整備を図るための事業。	指定文化財をはじめ市内の貴重な文化遺産の具体的な保護措置を行うための事業。	計画額	222	0	0	8,184	8,406	—
			当初予算額	242	0	6,050	10,957	17,249	
			決算額	242	0	6,043	6,518	12,803	
H27	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行うとともに、雨滝城跡の案内板の改修、志度寺縁起絵図修復に伴う事業者への負担金。	地域住民と連携した取組を検討して取り組んだ。	計画額	74	0	0	2,026	2,100	0.2
			当初予算額	74	0	0	2,026	2,100	
			決算額	74	0	3	1,989	2,066	
H28 具体的 取組	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。	地域住民と連携しながら取り組んだ。	計画額	0	0	0	2,026	2,026	0.1
			当初予算額	84	0	6,050	2,825	8,959	
			決算額	84	0	6,040	2,795	8,919	
H29	大串石切場跡をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。	文化財保護協会員と連携しながら取り組んだ。	計画額	74	0	0	2,066	2,140	0.1
			当初予算額	84	0	0	1,939	2,023	
			決算額	84	0	0	1,734	1,818	
H30	大串石切場跡をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。		計画額	74	0	0	2,066	2,140	
			当初予算額	0	0	0	4,167	4,167	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	補修、環境整備の文化財数	補修、環境整備を行った文化財数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	15				
					実績値	20	実績値	18	実績値	15	実績値					
成果指標	現地見学会等の件数	史跡等を分かりやすく伝える為の見学会等の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点	4 点	19 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		4 点						
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
		理由						史跡などを適切に管理することは、本市の歴史を伝える生きた資料の有効活用となり、地域資源の有効活用に繋がるものである。		史跡や天然記念物等の指定文化財の補修や環境保全を図ることで、本市の歴史を市民により分かりやすく伝え残すことができる。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	富田茶臼山古墳管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月12日
-----	-------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	富田茶臼山古墳をはじめ通池公園も含めた施設の維持管理。	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」を適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	2,706	2,706	—
			当初予算額	0	0	3,262	2,742	6,004	
			決算額	0	0	0	2,639	2,639	
H27	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努めた。	津田古墳群を含めた総合的な観点から今後のあり方を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	896	896	0.1
			当初予算額	0	0	0	896	896	
			決算額	0	0	0	895	895	
H28	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。	富田茶臼山古墳の適切な管理に向けた取り組みを行っている。	計画額	0	0	0	896	896	0.1
			当初予算額	0	0	3,262	917	4,179	
			決算額	0	0	0	916	916	
H29	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。	富田茶臼山古墳の適切な管理に向けた取り組みを行い、小学生の郷土歴史学習として活用した。	計画額	0	0	0	914	914	0.1
			当初予算額	0	0	0	929	929	
			決算額	0	0	0	828	828	
H30	※平成30年度より、史跡等管理事業に統合		計画額						
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	現状の保護管理	草刈等を行い史跡の現状保護に努めた活動数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値	5	実績値	5	実績値			
成果指標	活用数	小学生等の現地見学資料としての活用数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	400	実績値	430	実績値	300	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	18 点	4 点	19 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点				
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止						
理由		定期的な維持管理を行ってはいるが、今後も小中学生の生きた歴史資料として有効活用するために、適切な保全・管理が必要である。						国指定であり、県下最古の農家住宅である意義を今後も市内外に周知し、当時の生活の様子を分かりやすく伝える必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	旧恵利家住宅管理事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月12日
-----	------------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標			款	50	教育費
IV IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち			項	30	社会教育費
基本施策			目	15	文化財保護費
25 (25)歴史・文化の伝承					
主要施策					
① ①文化財の保存と活用					

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	国指定文化財である旧恵利家住宅の管理・公開によって、見学者が市の歴史に触れる場を確保し、より深く先人が歩んだ歴史についての理解を深める場を提供する。	県下最古の農家住宅で国指定の建造物である旧恵利家住宅の適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	3,968	3,968	—
			当初予算額	663	0	0	6,270	6,933	
			決算額	0	0	0	4,433	4,433	
H27	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人工費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。	歴史民俗資料館と一体的な活用をさらに検討していく必要がある。	計画額	0	0	0	982	982	0.1
			当初予算額	0	0	0	982	982	
			決算額	0	0	0	967	967	
H28 具体的 的取 組	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人工費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。	県下最古の農家住宅で国指定の建造物を、本市の貴重な財産として有効活用した。	計画額	0	0	0	982	982	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,307	1,307	
			決算額	0	0	0	1,215	1,215	
H29	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人工費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。	歴史民俗資料館見学者にも旧恵利家住宅を説明し、活用の機会を設けるように努めた。	計画額	0	0	0	1,002	1,002	0.2
			当初予算額	0	0	0	2,268	2,268	
			決算額	0	0	0	2,251	2,251	
H30	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人工費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。		計画額	0	0	0	1,002	1,002	
			当初予算額	663	0	0	1,713	2,376	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	現状の保護管理	草刈等をはじめ、重要文化財の現状保護に努めた活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30				
					実績値	30	実績値	30	実績値	30	実績値					
成果指標	観覧者数	旧恵利家住宅来館人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値	6,353	実績値	7,190	実績値	6,249	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	19 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	県下最古の農家住宅の価値を伝える機会を増やす取り組みを行っているが、見学者が減少傾向にあることから、周知広報を更に工夫すると共に適切な管理に努めていく。						国指定であり、県下最古の農家住宅である意義を今後も市内外に周知し、当時の生活の様子を分かりやすく伝える必要がある。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財施設管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月12日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 要 概要	四国遍路文化資料の貴重な歴史的資料に見学者が触れることを目的に保管・展示を行い、市の歴史について理解を深めるための場を確保するとともに、全国に向けて四国遍路の情報発信を行う。また、遍路道沿いにある国指定文化財である細川家住宅の屋根修理を行い、貴重な歴史資料を保護する。	四国唯一のお遍路資料館と国指定建造物である細川家住宅を適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	17,782	17,782	—
			当初予算額	32	0	0	18,726	18,758	
			決算額	0	0	0	14,241	14,241	
H27	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理を行った。	遍路文化を市民によりわかりやすく伝えるための方法等について検討する必要がある。	計画額	0	0	0	3,677	3,677	0.3
			当初予算額	0	0	0	3,677	3,677	
			決算額	0	0	0	3,537	3,537	
H28 具 体 的 取 組	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理と共に市指定建造物である納屋の屋根修理業務。	遍路文化を市民に分かりやすく伝えるための展示と、お遍路文化と同時代の国指定建造物の有効活用に努めた。	計画額	0	0	0	5,677	5,677	0.1
			当初予算額	0	0	0	5,055	5,055	
			決算額	0	0	0	5,832	5,832	
H29	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理業務と防災施設修繕。	お遍路文化を分かりやすく伝える拠点施設として適切な管理に努めた。	計画額	0	0	0	4,677	4,677	0.1
			当初予算額	0	0	0	4,938	4,938	
			決算額	0	0	0	4,872	4,872	
H30	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理業務。		計画額	0	0	0	3,751	3,751	
			当初予算額	32	0	0	5,056	5,088	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	現状の保護管理	資料の整備や重要文化財の現状保護に努めた活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	20	計画値	30	計画値	30	計画値	30		
					実績値	15	実績値	18	実績値	20	実績値			
成果指標	細川家住宅入場者数	細川家住宅の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	へんろ資料館入場者数	へんろ資料館の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	15,000	計画値	15,000	計画値	15,000	計画値	15,000		
					実績値	13,627	実績値	12,273	実績値	10,400	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	4 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点	3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点	4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点	20 点	20 点			
								5 点	／25点	5 点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	方向性 ○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	今後の方向性 理由							四国四県が取り組む「四国八十八箇所と遍路道」の拠点施設の一つとして、重要な施設となる事から今後も適切な管理が必要である。						
								四国遍路の文化を伝える施設と、同時期に建造され国指定建造物となっている細川家住宅の重要性を分かりやすく伝えるために、学校教育及び生涯学習の教材として活用する必要がある。 また、市内外に周知を行い学習教材だけでなく、市の文化財産として有効活用できるように、適切な管理を行い文化財保護意識の高揚に努める。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	史跡等購入事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月12日
-----	---------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費		
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	事業概要 津田古墳群指定範囲の公有地買上げ事業。	国史跡である津田古墳群を有効活用するために公有地として買い上げる事業。	計画額	14,641	0	930	1,916	17,487	—
			当初予算額	13,381	0	9,290	537	23,208	
			決算額	5,110	0	7,409	527	13,046	
H27	具体的 的 取 組 津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行った。	関係機関と連絡をとりながら、円滑に事業を進めることが必要である。	計画額	3,717	0	930	0	4,647	0.1
			当初予算額	3,717	0	930	0	4,647	
			決算額	3,585	0	930	138	4,653	
H28	具 体 的 的 取 組 津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。	国史跡である津田古墳群及び富田茶臼山古墳を有効活用するための事業。	計画額	5,320	0	0	1,330	6,650	0.1
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額	0	0	0	0	0	
H29	具 体 的 的 取 組 津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。	国史跡である富田茶臼山古墳を有効活用するために、関係機関と協議して適切な措置を講じた。	計画額	2,314	0	0	586	2,900	0.1
			当初予算額	2,144	0	6,480	537	9,161	
			決算額	1,525	0	6,479	389	8,393	
H30	具 体 的 的 取 組 津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。		計画額	3,290	0	0	0	3,290	
			当初予算額	7,520	0	1,880	0	9,400	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	関係機関との協議数	関係機関や地権者との協議、現地立会等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	5	計画値	5	計画値	5			
					実績値	25	実績値	5	実績値	5	実績値				
成果指標	購入した用地件数	史跡指定された古墳に関する用地件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	19 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		3 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		4 点					
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
		国史跡である津田古墳群、富田茶臼山古墳を有効活用するために、国庫補助事業を活用して適切な管理に努めていく。						津田古墳群の国史跡指定に伴い、史跡指定の土地の公有化を図り、富田茶臼山古墳と一緒に有効活用するため、古墳の保存保護に必要である。							
今後の方向性	理由														

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	史跡等管理事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月12日
-----	---------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 <small>事業概要</small>	国史跡となった津田古墳群と富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用を図るための事業。	国史跡である津田古墳群や富田茶臼山古墳を有効活用するための基本方針を定め、適切に管理する。	計画額	0	0	0	5,000	5,000	—
			当初予算額	0	0	0	3,322	3,322	
			決算額						
H27			計画額						
			当初予算額						
			決算額						
H28 <small>具体的 な取組</small>			計画額						
			当初予算額						
			決算額						
H29			計画額						
			当初予算額						
			決算額						
H30	国史跡である津田古墳群や富田茶臼山古墳を有効活用するための基本方針を定め、適切に管理する。		計画額	0	0	0	5,000	5,000	
			当初予算額	0	0	0	3,322	3,322	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	協議回数	検討委員会等の協議回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値		計画値		計画値		計画値	2		
					実績値		実績値		実績値		実績値			
成果指標	現状の保存管理	津田古墳群、富田茶臼山古墳の環境整備等現状確認	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値		計画値		計画値		計画値	10		
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	20 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点	／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	国史跡である津田古墳群、富田茶臼山古墳を有効活用するための計画書を作成し、本市の観光資源の一つとして有効活用管理に努めていく。						津田古墳群と、四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには、保存管理計画及び整備計画の策定を行い、市内外に古墳群の価値を分かりやすく伝える必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田古墳群保存整備事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月12日
-----	-------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	①	①文化財の保存と活用	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	国史跡となった津田古墳群を本市の歴史財産として有効活用を図るための事業。	国史跡である津田古墳群を、本市の歴史財産の核として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	7,228	7,228	—
			当初予算額	0	0	0	8,757	8,757	
			決算額	0	0	28	5,647	5,675	
H27	津田古墳群を有効活用するための基本方針を定めた、保存管理計画の策定準備作業を行った。	津田古墳群の適切な保存管理をするための検討委員会を開催した。	計画額	0	0	0	304	304	0.1
			当初予算額	0	0	0	304	304	
			決算額	0	0	0	957	957	
H28 具体的 的取 組	津田古墳群を有効活用するための基本方針を策定するためには保存管理計画を作成する業務で、印刷製本費、現地調査費を行い、保存管理計画書を刊行する。	津田古墳群及び富田茶臼山古墳の適切な保存管理をするための事業。	計画額	0	0	0	1,924	1,924	0.1
			当初予算額	0	0	0	5,398	5,398	
			決算額	0	0	28	2,856	2,884	
H29	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。	津田古墳群及び富田茶臼山古墳の有効活用を行うために、現状調査を行った。	計画額	0	0	0	5,000	5,000	0.1
			当初予算額	0	0	0	3,055	3,055	
			決算額	0	0	0	1,834	1,834	
H30	※平成30年度より、史跡等管理事業に統合		計画額						
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	協議回数	検討委員会等の協議回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	—			
					実績値	1	実績値	1	実績値	0	実績値	—			
成果指標	現状の保存管理	津田古墳群の環境整備等現状確認	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	19 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点		3 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点					
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止							
理由	今後の方向性	国史跡である津田古墳群、富田茶臼山古墳を有効活用するための計画書を作成し、本市の観光資源の一つとして有効活用管理に努めていく。						津田古墳群と、四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには、保存管理計画及び整備計画の策定を行い、市内外に古墳群の価値を分かりやすく伝える必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	さぬき市史編さん事業		担当課	秘書広報課	記入日	平成30年6月15日
-----	------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	10	総務費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	05	総務管理費
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承	目	10	文書広報費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	各旧町史が編さんされた後の各町の歴史の空白を埋めるため旧町史の続編にあたる「補遺」を編さんする。	旧町史が編さんされてから30年近く経過し、その間にについて記録したものもなく、さぬき市の歴史の空白部分となっている。その間のさぬき市の歴史を後世に残すこと目的とする事業である。	計画額	0	0	0	35,033	35,033	—
			当初予算額	0	0	0	78,558	78,558	
			決算額	0	0	0	21,701	21,701	
H27	平成26年度に引き続き、原稿執筆の基になる旧町の関係資料を収集し、刊行に向けて原稿の作成及び編さん委員会での協議確認を行った。	原稿執筆を業者委託しているが、その原稿の基になる行政資料の収集は事務局が行わなければならず、当初は事務局長1名体制で進めていたが、臨時職員1名を追加採用し、2名体制で資料の収集作業を行った。	計画額	0	0	0	35,033	35,033	0.3
			当初予算額	0	0	0	35,033	35,033	
			決算額	0	0	0	3,949	3,949	
H28 具体的 的取組	平成27年度から1年度繰越をし、平成28年度での完了を目指して年表に関する委員との意見交換や原稿の目次構成案について検討作成を行っていったが、不十分な体制により旧町の関係資料の収集及び複写作業に多くの時間を費やすことになった。	不足している資料の収集及び複写作業を重点的に行っていったが、その量が膨大であり、事務局の体制強化が必要であった。そのため、年度途中であったが、体制を強化した。	計画額	0	0	0	0	0	1.4
			当初予算額	0	0	0	5,141	5,141	
			決算額	0	0	0	9,818	9,818	
H29	2年度事業年度を延長し、平成30年度末での完成を目指し、不足する資料の収集及び複写作業を進めていく。また委託業者から5町の初校原稿が順次送られてくる予定であり、事務局で目次構成の修正、原稿の校正作業、各委員との意見交換を進めていく。	事務局を手狭であった本庁舎から余裕のあった寒川支所に移したこと、効率的に作業を行うことができた。また、体制も嘱託職員を新たに任用するなど強化した。	計画額	0	0	0	0	0	1.0
			当初予算額	0	0	0	9,751	9,751	
			決算額	0	0	0	7,934	7,934	
H30	原稿に関し、委託業者から送られてくる第2校、第3校の校正作業を行っていく。その間にも不足している資料の収集及び複写作業を行っていく。最終校閲まで終われば、印刷製本をし、刊行を目指す。		計画額	0	0	0	0	0	3.0
			当初予算額	0	0	0	28,633	28,633	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	市史編さん委員会の開催	市史編さんの具体的な方針等について協議する委員会を設置、開催をする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	3	計画値	-	計画値	-				
					実績値	1	実績値	2	実績値	1	実績値					
成果指標	原稿執筆の進捗度	原稿がどのくらい仕上がっているか。 【補足:原稿を執筆するには基になる資料の収集を行い、執筆を進めていくが、平成27、28年度はその資料収集が中心であった】	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値	-				
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点	4点	19点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	合併後年数が経過し、行政資料の散逸などにより旧町史が編さんされて以降の各町の歩みは、人々の記憶のみならず記録からも消えてしまう恐れがある。それらを防ぎ、『さぬき市』の歴史として後世に残すためにも本事業の重要度は高いものだと考える。						さぬき市として、歴史や伝統文化を校正に伝承していくため本事業は大変重要である。平成29年度からは執務場所を寒川支所内に移し、最終の仕上げとして、精度の高いものとなるよう事務職員の体制を強化し、事業の早期の完成を目指す。									
	多くの資料の収集及び複写作業や目次構成、年表、そして、原稿への校正作業を遂行するにはこれまで不十分な体制だったが、事業年度を2年度延長した平成29年度から正規職員1名、行政経験が豊富な職員OBである臨時職員3名(うち1名はパート)の4名で体制を強化し、事務局も作業効率を考慮し、十分なスペースがある寒川支所に移した。現在は、委託業者から送られてくる原稿を校正し、不明な箇所は編さん委員や職員OB、当時の担当者である現役職員に確認するなど原稿の精度を高める作業を行っている。															

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	発掘調査事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月12日
-----	--------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	公共事業をはじめとする開発計画に円滑に対応すると共に、市内に残されている石造物の現状を確認するための事業。	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査や、石造物等市内の遺跡について調査するための事業。	計画額	0	0	0	48,036	48,036	—
			当初予算額	3,500	0	0	54,801	58,301	
			決算額	1,256	0	0	37,950	39,206	
H27	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査を行った。	調査の成果を市民に周知する場を多くもつことも必要である。	計画額	0	0	0	11,667	11,667	0.1
			当初予算額	0	0	0	11,667	11,667	
			決算額	0	0	0	11,448	11,448	
H28 具体的 的取組	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。	公共事業や民間開発から埋蔵文化財を保護すると共に、市内に所在する石造物の現状を確認した。	計画額	0	0	0	11,967	11,967	0.1
			当初予算額	1,200	0	0	12,848	14,048	
			決算額	260	0	0	12,614	12,874	
H29	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。	公共事業や民間開発から埋蔵文化財を保護すると共に、市内に所在する石造物の現状を確認した。	計画額	0	0	0	12,201	12,201	0.1
			当初予算額	1,200	0	0	14,278	15,478	
			決算額	996	0	0	13,888	14,884	
H30	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。		計画額	0	0	0	12,201	12,201	
			当初予算額	1,100	0	0	16,008	17,108	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	調査件数	開発等に伴い、調査が必要となった遺跡等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
					実績値	4	実績値	1	実績値	1	実績値			
成果指標	遺跡数	保護措置が図れた遺跡等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	必要性低い ⇒ 必要性高い							4 点	20 点	4 点	19 点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							4 点		3 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							4 点		4 点				
	優先度低い ⇒ 優先度高い							4 点		5 点				
今後の方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							4 点	／25点	4 点	／25点			
	余地がある ⇒ 余地はない							5 点		5 点				
理由	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか													
	必要がある ⇒ 必要はない													
	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
	市内に所在する埋蔵文化財の状況を把握し、開発内容の確認を行うことで遺跡の保護と開発の円滑な調整を行うためにも必要である。							本市の歴史を調査し、価値ある遺跡や遺物を地域の宝として保護・保存していくために必要な事業であると共に、公共事業や民間開発から遺跡の保存や資料整理をするため必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保護団体支援事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月12日
-----	-------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	文化財保護関係団体の保護継承活動を活発化することにより、文化財保護意識及び市民への普及活動を効果的に行う。	本市の民俗芸能を後世に伝え後継者を育成するための事業である。	計画額	0	0	0	3,556	3,556	—
			当初予算額	0	0	0	3,820	3,820	
			決算額	0	0	0	2,841	2,841	
H27	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会へ保存継承のための活動補助金を交付した。	今後の保存と活動にあたり、地域住民の減少や高齢化が懸念されることから、後継者を確実に養成していくことが必要である。	計画額	0	0	0	880	880	0.1
			当初予算額	0	0	0	880	880	
			決算額	0	0	0	880	880	
H28 具体的 的取組	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。	無形文化財の保存継承のための助成業務であり、後継者を確実に養成していくことが必要である。	計画額	0	0	0	880	880	0.1
			当初予算額	0	0	0	1,180	1,180	
			決算額	0	0	0	1,081	1,081	
H29	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。	後継者を確実に養成していくために、クラブ活動等の体験する場の提供が必要である。	計画額	0	0	0	898	898	0.1
			当初予算額	0	0	0	880	880	
			決算額	0	0	0	880	880	
H30	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。		計画額	0	0	0	898	898	
			当初予算額	0	0	0	880	880	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	協議件数	助成事務や後継者継承活動に向けた協議件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
					実績値	4	実績値	5	実績値	4	実績値			
成果指標	後継者継承活動	後継者を継承するための活動	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	20 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点	／25点	5 点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	本市の伝統文化を伝え残すためには、後継者の育成する場を確保していく事が必要であることから、市内小学校と連携した取り組みが必要である。						本市の民俗芸能を後世に分かりやすく伝え残す為にも、後継者養成が必要である。指定文化財については、市として保存する責務があり、市内の貴重な文化財の調査・研究を行う文化財保護協会の役割は大きい。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公開活用事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月12日
-----	--------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供	目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	過去の発掘調査で出土した土器等を再整理し、市内の歴史を物語る貴重な歴史資料を有効活用するための事業。	過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や遺物再整理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	1,198	0	0	4,840	6,038	—
			当初予算額	3,598	0	0	3,598	7,196	
			決算額	3,000	0	0	3,701	6,701	
H27	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために台帳整備を進めるとともに、発掘成果を示す講演会を開催した。	一人でも多くの市民に興味を持ってもらう為の周知活動を今後も検討する必要がある。	計画額	1,198	0	0	1,198	2,396	0.1
			当初予算額	1,198	0	0	1,198	2,396	
			決算額	1,000	0	0	1,315	2,315	
H28 具体的 的取組	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。	過去の発掘調査で未整理となっている遺物を再整理し、本市の歴史財産として有効活用に努めている。	計画額	0	0	0	1,198	1,198	0.1
			当初予算額	1,200	0	0	1,200	2,400	
			決算額	1,000	0	0	1,018	2,018	
H29	・過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。 ・遺跡見学会	・本市の歴史を具体的に伝えるために、本市で出土した土器を復元して展示すると共に、出土した現地の見学会を開催した。	計画額	0	0	0	1,222	1,222	0.1
			当初予算額	1,200	0	0	1,200	2,400	
			決算額	1,000	0	0	1,368	2,368	
H30	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。		計画額	0	0	0	1,222	1,222	
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	開催回数	講演会等の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1		
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値			
成果指標	参加者数	講演会への市民参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	300	計画値	300	計画値	300		
					実績値	150	実績値	250	実績値	200	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い							4 点	21 点	4 点	19 点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている							4 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い							4 点		3 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない							4 点		4 点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							5 点	／25点	5 点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	本市から出土した遺物や遺跡を実際に見学する機会を設ける事は、本市の歴史的特性を再認識し、興味・関心をもつことに繋がる							過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や、遺物の価値を地域の宝として有効活用するためにも必要であり、古墳や出土した遺物について多くの市民に関心を持ってもらう活動を展開し、愛好者の増加をめざす。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	市民文化祭助成事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費		
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供	目	40	文化振興費		

年度	事業内容		事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
				国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 ～ H30 <small>事業概要</small>	旧5町ごとに市民文化祭を実施、発表の場所や機会を提供し市の文化振興を図る。		市民文化祭を助成することにより、市の文化振興を図る。	計画額	0	0	0	8,800	8,800	—	
				当初予算額	0	0	0	8,859	8,859		
				決算額	0	0	0	6,631	6,631		
H27 <small>具体的 的 取 組</small>	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付した。		27年度は、例年どおり5つの文化祭を開催した。28年度についても、引き続き各団体に協力し、文化振興を図っていく。	計画額	0	0	0	2,200	2,200	0.1	
				当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
				決算額	0	0	0	2,200	2,200		
H28 <small>具 体 的 的 取 組</small>	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		28年度は、例年どおり5つの文化祭を開催した。29年度についても、引き続き各団体に協力し、文化振興を図っていく。	計画額	0	0	0	2,200	2,200	0.1	
				当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
				決算額	0	0	0	2,200	2,200		
H29 <small>具 体 的 的 取 組</small>	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		29年度は、例年どおり5つの文化祭を開催した。29年度についても、引き続き各団体に協力し、文化振興を図っていく。	計画額	0	0	0	2,200	2,200	0.1	
				当初予算額	0	0	0	2,231	2,231		
				決算額	0	0	0	2,231	2,231		
H30 <small>具 体 的 的 取 組</small>	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。			計画額	0	0	0	2,200	2,200		
				当初予算額	0	0	0	2,228	2,228		
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	市民文化祭開催箇所数	市民文化祭開催箇所数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	か所	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5			
					実績値	5	実績値	5	実績値	5	実績値				
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
成果指標	市民文化祭参加団体数	市民文化祭参加団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200			
					実績値	226	実績値	281	実績値	226	実績値				
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		4 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	旧5町ごとに市民文化祭を実施し、芸術文化活動を行っている市民、児童生徒に対し、発表の場所と機械を提供し市の文化振興を図るため必要である。							旧5町ごとに市民文化祭を実施し、芸術文化活動を行っている市民、児童生徒に対し、発表の場所と機会を提供し市の文化振興を図るため必要である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化資料展示館管理事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供	目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	発表の機会と場の提供することにより、芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとり潤いを実感できる芸術活動の拠点としての役割りを担う施設として維持管理と運営を行う。	発表の機会と場の提供することにより、芸術文化とのふれあいを深め、芸術文化の拠点となる施設にする。	計画額	0	0	1,116	14,268	15,384	—
			当初予算額	0	0	1,116	15,096	16,212	
			決算額	0	0	812	10,535	11,347	
H27	管理人2名で館の維持管理と運営を行った。	施設の老朽化が進み、補修の必要な箇所がある。	計画額	0	0	279	3,532	3,811	0.2
			当初予算額	0	0	279	3,532	3,811	
			決算額	0	0	302	3,189	3,491	
H28 具体的 的取組	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。	施設の老朽化が進み、補修の必要な箇所がある。	計画額	0	0	279	3,532	3,811	0.4
			当初予算額	0	0	279	3,787	4,066	
			決算額	0	0	266	3,628	3,894	
H29	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。	施設の老朽化が進み、補修の必要な箇所がある。	計画額	0	0	279	3,602	3,881	0.4
			当初予算額	0	0	279	3,750	4,029	
			決算額	0	0	244	3,718	3,962	
H30	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。		計画額	0	0	279	3,602	3,881	
			当初予算額	0	0	279	4,027	4,306	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	文化資料展示館貸館数	文化資料展示館貸館数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	35	計画値	35	計画値	35	計画値	35		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	36	実績値	38	実績値	37	実績値			
成果指標	文化資料展示館観覧者数	文化資料展示館観覧者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値		計画値		計画値		計画値			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	20 点	4 点	20 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		4 点				
							／25点	／25点		／25点				
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
		今後の方向性						理由						
	当館は芸術活動を行っている市民にとって、作品を発表する貴重な場であり、観覧する市民の文化意識の向上に寄与している。						当館は芸術活動を行っている市民にとって、作品を発表する貴重な場であり、観覧する市民の文化意識の向上に寄与している。 芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとり潤いを実感できる芸術活動の拠点である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度音楽ホール施設整備事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月11日
-----	---------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費		
基本施策	25	(25)歴史・文化の伝承	項	30	社会教育費		
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供	目	40	文化振興費		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	発表の機会と場の提供をすることにより、芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとりと潤いを実感できる芸術活動の拠点としての役割を担う施設として維持管理を行う。	芸術活動の発表や鑑賞を通して、市民が芸術文化とのふれあいを深められる拠点となる施設にする。	計画額	0	0	7,396	0	7,396	—
			当初予算額	0	0	1,831	0	1,831	
			決算額	1,643	0	1,650	2,436	5,729	
H27	志度音楽ホールは開館28年が経ち、施設内の設備に不具合が生じていることから、修繕計画に沿って整備を実施した。	施設の雨漏り修繕工事を行った。	計画額	0	0	1,831	0	1,831	0.1
			当初予算額	0	0	1,831	0	1,831	
			決算額	0	0	1,650	2,436	4,086	
H28 具体的 的取組	音楽ホールの維持管理をする。	施設のトイレ改修工事を行った。 現年分 0 H27繰越分 1,643	計画額	0	0	1,831	0	1,831	0.1
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額	1,643	0	0	0	1,643	
H29	音楽ホールの維持管理をする。	芸術活動の発表や鑑賞を通して、市民が芸術文化とのふれあいを深められる拠点となる施設にする。	計画額	0	0	1,867	0	1,867	0.1
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額	0	0	0	0	0	
H30	音楽ホールの維持管理をする。		計画額	0	0	1,867	0	1,867	
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	工事種別数	施設の工事件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	工事	計画値	1	計画値	0	計画値	1	計画値	1				
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値					
成果指標	貸館業務件数	貸館件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	350	計画値	350	計画値	350	計画値	350				
					実績値	329	実績値	368	実績値	404	実績値					
成果指標	総入場者数	音楽ホール入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000				
					実績値	29,346	実績値	37,989	実績値	28,701	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4 点	19 点	4 点	19 点					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4 点		4 点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4 点		4 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
今後の方向性	理由							理由								
	市の芸術文化活動の拠点であり、ホールで行われる芸術をして、市民が人生にゆとりと潤いを実感できる施設である。							理由								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	少年育成センター運営事業		担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	--------------	--	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	26	(26)青少年の健全育成	項	30	社会教育費
主要施策	①	①青少年健全育成活動の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30	育成センターの設置目的に基づき、育成センターの業務に関する基本的な事項を協議し決定する事業である。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告	計画額	0	0	0	9,892	9,892	—
			当初予算額	0	0	0	11,356	11,356	
			決算額	0	0	0	8,122	8,122	
H27	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告	計画額	0	0	0	2,464	2,464	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,464	2,464	
			決算額	0	0	0	2,424	2,424	
H28 具体的 的取組	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告、運営委員より「一年間の成果が良く分かった。」との意見があった。今後も上記の方針で行う。	計画額	0	0	0	2,468	2,468	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,822	2,822	
			決算額	0	0	0	2,771	2,771	
H29	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。	育成センターの事業内容等について協議を行い、27年度以降より事業実施報告を詳細に報告している。また、関係機関との連携・状況に応じた対応が必要であることから、30年度も連携をきちんとしていくことに重きをおき、事業を進める。	計画額	0	0	0	2,478	2,478	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,986	2,986	
			決算額	0	0	0	2,927	2,927	
H30	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。		計画額	0	0	0	2,482	2,482	
			当初予算額	0	0	0	3,084	3,084	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	運営委員会開催回数	運営委員会の開催回数 ※運営委員会(2回)・中間報告(10:上半期事業分)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2				
					実績値	2	実績値	2	実績値	2	実績値					
成果指標	運営委員会出席人数	運営委員会の出席者人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30				
					実績値	21	実績値	22	実績値	13	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	21 点	5 点	20 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		4 点						
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
		運営委員の意見を聞き、連携・協力・情報の共有をしながら、青少年健全育成のために良い方向を示した事業としたい。						青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になってきており、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、子どもたちに対する地域の大人の関わりと支援が今後ますます必要となることから、運営委員会等での協議は必要である。								
今後の方向性	理由															

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	補導事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	------	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	26	(26)青少年の健全育成	項	30	社会教育費
主要施策	①	①青少年健全育成活動の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	学校等関係機関、団体との連携により、地域ぐるみの青少年の健全育成を積極的に推進する。	低年齢化による問題行動が多くなっている。日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の巡回を実施し、問題行動少年を早期に発見、学校及び関係機関と適切な連携を図っている。	計画額	0	0	0	10,268	10,268	—
			当初予算額	0	0	0	10,825	10,825	
			決算額	0	0	119	9,676	9,795	
H27 具体的 的取 組	問題行動が見られる少年の低年齢化が言われるなか、日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援を行った。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することで、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底した。	日々の街頭補導や巡回、「子どもSOS」設置場所の検討・維持により、関係機関や団体地域と連携を図りつつ不審者から子どもを守ることができた。	計画額	0	0	0	2,560	2,560	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,560	2,560	
			決算額	0	0	0	4,555	4,555	
H28 具 体 的 的取 組	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。	本年度はポケモンGOが全国的に流行し、子ども達の動向が気になったが、トラブル的な情報はなかった。関係機関と連携をとり店舗等へのチラシ配布や巡回を行った。今後も継続して街頭補導を充実していきたい。	計画額	0	0	0	2,564	2,564	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,504	2,504	
			決算額	0	0	119	2,581	2,700	
H29 具 体 的 的取 組	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。	不審者情報や青少年の非行防止及び健全育成のために、学校の先生方に青色パトロール講習を実施、また、学校に青色パトロール車を貸出し、見せる防犯活動に努める。	計画額	0	0	0	2,570	2,570	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,594	2,594	
			決算額	0	0	0	2,540	2,540	
H30 具 体 的 的取 組	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。		計画額	0	0	0	2,574	2,574	
			当初予算額	0	0	0	3,167	3,167	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	補導実施回数	通常・特別補導の実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	470	計画値	470	計画値	470	計画値	470		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	356	実績値	294	実績値	343	実績値			
成果指標	補導活動人数	声かけ(補導活動)の実施は、非行に走る子どもの抑止に繋がってきた。今後も、声かけ(補導活動)を継続することで非行に走る子どもの減少に繋げる。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	864	実績値	817	実績値	887	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	24 点	5 点	22 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由		子ども達が、SNS等ネットでの犯罪被害・トラブル・不審者等に遭わないように、安全な生活をするためには、他関係機関と連携を取り、相互に連携して対応する。						青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、子どもたちに対する地域の大人の関わりと支援が今後ますます必要であり、現状を維持しつつ、他関係機関ともタイアップした補導活動を行っていく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	広報啓発・推進事業	担当課	生涯学習課	記入日	平成30年6月8日
-----	-----------	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	26	(26)青少年の健全育成	項	30	社会教育費
主要施策	①	①青少年健全育成活動の推進	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 概要	市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を求める事業である。 ・小・中学生、高校生による「子どもの一日補導員」を実施し、啓発活動を行う。 ・「家族みんなで考える青少年健全育成標語」優秀標語入りカレンダーを作成・配布し、広報活動を行う。	市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を求める事業である。小・中・高校生による「子ども一日補導員」を実施。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集した。	計画額	200	0	0	932	1,132	—
			当初予算額	215	0	0	920	1,135	
			決算額	187	0	0	613	800	
H27	広報さぬきに育成センターだよりを毎月掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施した。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ、啓発に努めた。このほか、市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成、市内全児童・生徒や公民館	小・中・高校生による「子ども一日補導員」を実施したほか、市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集した。「健全育成標語」はスマホ・LINEでの応募も目立った。	計画額	50	0	0	230	280	0.0 0.4
			当初予算額	50	0	0	230	280	
			決算額	65	0	0	203	268	
H28 具体的 的取組	広報さぬきに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。	マスコットキャラクター「いくちゃん」を作成し、小・高校生による「万引き防止キャンペーン活動」時に、地域住民に呼びかけた。参加した生徒達も活動による意識も高まった。小・中学生による健全育成標語も募集した。	計画額	50	0	0	230	280	0.0 0.7
			当初予算額	50	0	0	238	288	
			決算額	65	0	0	197	262	
H29	広報さぬきに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。	「子ども一日補導員」万引き防止キャンペーン及び薬物乱用防止活動を保護司会第3部会とタイアップして実施、児童生徒と共に、市民及び子ども達に「万引きは犯罪」「防ごう薬物乱用」ということを認識してもらう事を目的とし、市民や児童生徒自らが自覚できるような事業としたい。	計画額	50	0	0	236	286	0.0 1.2
			当初予算額	65	0	0	217	282	
			決算額	57	0	0	213	270	
H30	広報さぬきに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。		計画額	50	0	0	236	286	
			当初予算額	50	0	0	235	285	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	児童・生徒による一日補導実施回数	児童・生徒が積極的実践的な啓発活動を行った回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
	家族みんなで考える「青少年健全育成標語」募集回数	家族で考えるというところに重点を置いて、児童・生徒に募集した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
成果指標	児童・生徒による一日補導参加者数	小・中学生による一日補導は、大人が呼びかけるより効果的である。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	11	計画値	20	計画値	20	計画値	20	
	家族みんなで考える「青少年健全育成標語」応募点数	各地区文化祭で入賞作品を展示することにより、市民への啓発活動に努める。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400	
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	5点	5点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	4点	4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点	4点	21点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点 /25点	5点 /25点			
	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
今後の方向性	方向性							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				
	理由							青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、広く市民に青少年健全育成について考える機会を与えることは大変重要であり、今後も継続して関係機関ともタイアップした広報啓発を行っていく必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	安全安心コミュニティ事業		
担当課	地域情報課	記入日	平成30年6月3日

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	10	総務費
基本施策	26	(26)青少年の健全育成	項	05	総務管理費
主要施策	②	②健全な社会環境づくり	目	70	コミュニティ放送管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 安全安心コミュニティシステムの維持管理に関する事業である。	市民へ電子メールや音声告知放送など複数の手段で情報提供を行うことを目的としたもの。情報発信者を増やすことで、関連するコミュニティ参加者を増やし、全体の加入数を増加させる。	計画額	0	0	65	99,053	99,118	—
			当初予算額	0	0	46,347	61,649	107,996	
			決算額	0	0	47,472	46,100	93,572	
H27	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行った。	民間保育所の一部が情報発信者として登録し、事業の充実が図れた。	計画額	0	0	20	15,785	15,805	0.6
			当初予算額	0	0	20	15,785	15,805	
			決算額	0	0	47	15,155	15,202	
H28	具体的な取組 安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行った。信頼性確保のためサーバーの更新を行った。	サーバーの更新を行い、仮想化により物理サーバーの台数を減らした結果、保守費用も圧縮が図れた。	計画額	0	0	15	42,488	42,503	0.6
			当初予算額	0	0	46,297	17,277	63,574	
			決算額	0	0	47,390	16,658	64,048	
H29	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。	同報系防災行政無線更新に伴い、メール、告知放送、屋外放送の一体的発信が可能となった。	計画額	0	0	15	19,730	19,745	0.4
			当初予算額	0	0	10	14,471	14,481	
			決算額	0	0	35	14,287	14,322	
H30	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。		計画額	0	0	15	21,050	21,065	
			当初予算額	0	0	20	14,116	14,136	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	情報発信数	市役所及び各コミュニティからの情報発信数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	1,450	計画値	1,500	計画値	1,550	計画値	1,600			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,550	実績値	1,490	実績値	1,825	実績値				
成果指標	安全安心コミュニティ情報取得者数	メール登録者数及び音声告知端末設置台数の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値		計画値		計画値		計画値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	20 点	5 点	19 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		3 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3 点		3 点					
							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	Webカメラや潮位計などの観測機器が古くなっているため、設置場所の見直しを含め更新が必要となっている。 分庁舎建設に合わせて管理端末の増設が必要となる。						Webカメラや潮位計等観測機器の老朽化及び設置位置については、関係機関・各課と協議し、更新等が必要なものについては実施する。 また、庁舎建設関連について、管理端末の増設も関係各課と協議し実施する。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育支援事業		担当課	生涯学習課		記入日	平成30年6月8日
-----	--------	--	-----	-------	--	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成	項	30	社会教育費
主要施策	(3)	(3)相談・支援活動の充実	目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子どもたち一人一人に対応した支援を行ったり、少年相談や臨床心理士によるカウンセリングを実施し、不登校、非行やいじめ等青少年の問題行動解消への援助を行う事業である。	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子ども達一人一人に対応したカウンセリング実施した。まだ悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め信頼される相談活動を推進。	計画額	0	0	0	9,598	9,598	—
			当初予算額	0	0	0	17,354	17,354	
			決算額	0	0	0	11,951	11,951	
H27	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰や社会的自立をめざし、通級生に応じた支援を実施したほか、不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを行った。来所や少年相談電話による少年相談も実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行った。	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子ども達一人一人に対応したカウンセリング実施した。今後も悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進したい。	計画額	0	0	0	2,391	2,391	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,391	2,391	
			決算額	0	0	0	2,368	2,368	
H28 具体 的 取 組	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。	通級生外にも活動の案内を広めたところ、親の会やディキャンプ等に参加者が増え、不登校の解消につながる手立てとなった。	計画額	0	0	0	2,395	2,395	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,521	4,521	
			決算額	0	0	0	4,499	4,499	
H29	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。	学校復帰に向け、一人一人の通級生にあった個別指導や支援をした。また、学校、学校教育課、スクールソーシャルワーカーとのケース会を持ち、通級生や不登校生の情報を共有し、より良い支援を行った。今後も学校家庭・関係機関と連携をして、保護者や子ども達の不安の軽減に努めたい。	計画額	0	0	0	2,404	2,404	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,597	4,597	
			決算額	0	0	0	5,084	5,084	
H30	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。		計画額	0	0	0	2,408	2,408	
			当初予算額	0	0	0	5,845	5,845	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	学校等連携回数	通級児童・生徒の在籍校などと連携して対応した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	200	計画値	200	計画値	300	計画値	300				
					実績値	180	実績値	318	実績値	215	実績値					
成果指標	少年相談件数	子どもに関する相談件数(面談・電話など)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値	328	実績値	102	実績値	74	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い						5 点	25 点	5 点	22 点						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5 点							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5 点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5 点							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5 点							
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	通級生については、彼らの気持ちを尊重することを目的とし、自己表出の出来る居場所を提供し、学校と連携しつつ、それぞれの支援が効果的に働くようにしていく。						学校に登校する意思がありながら、登校できない児童生徒の学校復帰及び社会自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施しつつ学校連携や相談等の支援を行う必要がある。 悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進するため、カウンセリングや体験活動の参加にかかる啓発活動を行う。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際交流事業	担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	--------	-----	---------------------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	10	総務費
基本施策	27	(27) 交流事業の推進	項	05	総務管理費
主要施策	①	①国際交流活動の推進	目	05	一般管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	各種の国際交流事業を推進する。	国際姉妹都市との交流を行うとともに、各国際交流団体への支援をし、国際交流の活性化を図る事業である。	計画額	0	0	0	1,594	1,594	—
			当初予算額	0	0	0	2,465	2,465	
			決算額	0	0	0	609	609	
H27	翻訳業務、アイゼンシュタット市政報告業務を委託し、国際姉妹都市であるオーストリア国アイゼンシュタット市でのチャリティーコンサートをさぬき市協賛で開催した(7月10日)。各国際交流団体への支援を行った。	国際姉妹都市で、さぬき市協賛のチャリティーコンサートを開催した。	計画額	0	0	0	397	397	0.1
			当初予算額	0	0	0	397	397	
			決算額	0	0	0	382	382	
H28 具体的 的取組	・国際交流事業(1回)・グローバルセミナー(1回)・ランチタイムコンサート(1回)・国際交流企画事業(石田高校中国語人形劇、1回)等	・新たに国際交流事業を実施し、幅広い年齢の市民と外国人との会話やふれあい、文化交流の機会を提供できた。・フランス人講師によるセミナーを開催し、異文化交流や多文化共生の大切さを伝えた。	計画額	0	0	0	197	197	0.1
			当初予算額	0	0	0	197	197	
			決算額	0	0	0	82	82	
H29	・国際交流事業(2回)・グローバルセミナー(2回)・ALT交流事業(1回、教育総務課共催)・職員研修(1回、秘書広報課共催)	・多文化共生社会の実現を目指し、「やさしい日本語」をテーマにした市民・職員研修を初めて開催した。・国際交流事業を継続開催し、市民と外国人が交流する機会を提供した。	計画額	0	0	0	500	500	0.4
			当初予算額	0	0	0	594	594	
			決算額	0	0	0	145	145	
H30	・国際交流事業・グローバルセミナー・ALT交流事業・日本語ボランティア養成講座等		計画額	0	0	0	500	500	
			当初予算額	0	0	0	1,277	1,277	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	国際交流活動回数	国際交流団体等と協働による活動回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2			
					実績値	1	実績値	4	実績値	6	実績値				
成果指標	参加者数	国際交流事業の参加者の延べ人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30	計画値	60	計画値	60	計画値	60			
					実績値	35	実績値	290	実績値	230	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	20 点	5 点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点		4 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3 点		3 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	<p>「やさしい日本語」をテーマにした市民研修会(親子セミナー)には、市内外から参加者があるなど、多文化共生社会への関心の高さを実感できた。また、「やさしい日本語」職員研修では、多様性ある社会のあり方について職員各自に考えてもらう機会ともなった。</p> <p>今後も、国際理解や多文化共生などの考え方を広める取組を継続する。</p>							<p>多文化共生社会を意識した地域づくりのため、担当職員を国際文化研修「多文化共生の地域づくりコース」に参加させるなど、職員の資質向上に努めた。</p> <p>今後も、国際交流団体や関係機関と連携しながら、意見、情報交換を行い、地域で暮らす外国人との交流事業や外国文化を学ぶ講座等必要な取組を進め、国際理解(多文化共生社会)の実現を目指す。</p>							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	姉妹都市等児童交流事業		担当課	教育総務課	記入日	平成30年6月11日
-----	-------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	27	(27) 交流事業の推進	項	05	教育総務費
主要施策	②	②国内友好都市等交流事業の推進	目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	友好交流都市である剣淵町との交流を通じ、児童間、学校間及び市町間の友好親善を深めるとともに、郷土の歴史や異なる地域の生活や文化に対する理解を深める機会をつくる。また、ホームステイや団体行動及び家族から離れた生活を通じて社会生活上のルールを身に着ける。	児童間、学校間、市町間の交流を通して、歴史や文化の違いを肌で感じる体験をする。また、団体生活の中で協調性や自立心を養い、さぬき市の未来を担う児童の育成を図る。	計画額	0	0	0	5,200	5,200	—
H27	平成27年度は、剣淵町交流団の受け入れを行った。 ・交流委員会と27年度からの新しい取組として保護者による実行委員会を開催した。 ・竹細工、流しうめん、津田の松原での海水浴、女木島での研修を実施した。	新たに保護者等で構成する実行委員会を設け、当該実行委員会が主体的に内容を企画し、運営を行った。	当初予算額	0	0	0	8,300	8,300	0.2
H28 具体的 的取 組	平成28年度は、さぬき市交流団が剣淵町を訪問した。 ・交流委員会を開催した。 ・引率者打合せ会を訪問前に2回、訪問後に1回行うことにより、詳細な打合せや反省をすることができた。 ・剣淵町での町内研修とホームステイを実施した。	体験活動、移動等が班行動であるため、班のメンバーや、引率者との交流を深める機会を結団式で設けたことにより、多くの場面でよい結果となった。	決算額	0	0	0	4,467	4,467	0.0
H29	平成29年度は、剣淵町交流団の受け入れを行う。 ・27年度に引き続き、交流委員と保護者による実行委員会を開催する。 ・うどん作り、竹細工、津田の松原での海水浴、小豆島での研修を実施する。	交流委員や保護者で構成する実行委員会を設け、事業の内容について協議を行い、企画・運営を行った。実行委員の県内研修への参加を検討し、協議や企画した内容について、一緒に体験できるようにしていきたい。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	0.3
H30	平成30年度は、さぬき市交流団が剣淵町を訪問する。 ・交流委員会を開催し、交流事業の概要について、協議する。 ・引率者打合せを行い、事業の内容についてや往路・復路の動き等について、詳細な打合せをする。 ・剣淵町で道内研修、町内研修、ホームステイを実施する。		当初予算額	0	0	0	2,200	2,200	0.0
			決算額	0	0	0	1,515	1,515	
			計画額	0	0	0	1,100	1,100	
			当初予算額	0	0	0	2,600	2,600	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30							
活動指標	交流団の派遣及び受入回数	本市と剣淵町の交流団の派遣及び受入回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1						
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値							
成果指標	交流児童数	剣淵交流に参加した児童数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	45	計画値	45	計画値	45	計画値	45						
					実績値	38	実績値	38	実績値	42	実績値							
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)									
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計								
	必要性低い ⇒ 必要性高い						4点	20点	4点	21点	／25点							
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						4点		4点									
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている						4点		4点									
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						4点		4点									
	優先度低い ⇒ 優先度高い						4点		4点									
今後の方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						4点	／25点	4点	21点	／25点							
	余地がある ⇒ 余地はない						4点		5点									
理由	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						必要がある ⇒ 必要はない											
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)											
方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止											
今後の方向性	平成4年度に小田小学校で取り組みを始め、合併後も市内小学校が徐々に参加するようになり、平成20年度からは、全小学校を対象とした交流事業となっている。						友好姉妹都市等の小学生が交流することにより、異なる地域の生活や文化に対する理解を深めると同時に、ホームステイや団体行動を通して社会生活上のマナーやルールを身に付けることができる。											
	隔年で受入と訪問を行っており、今年度は、受入年であったため、剣淵小学校交流団をさぬき市に受入れ、児童間、学校間、市町間の友好・親善を深めると共に、異なる地域の生活や文化に対する理解を深めることができた。																	
	また、家族を離れて、さぬき市を訪れた仲間と楽しく過ごしたり、仲間を思いやり気遣う心を持つことができている。																	
	さらに、団体行動を通して、社会生活上のマナーやルールを身に着けたり、協調性や自立心を養うことに役立っている。交流中に感じたことや思ったことを来年度の訪問に活かせるように、児童の意識を高めることができた。																	

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	男女共同参画推進事業①(あらゆる暴力の根絶関係除く)	担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	----------------------------	-----	---------------------	-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	28	(28) 男女共同参画の推進
主要施策	①	①様々な分野における男女共同参画の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業概要	平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら啓発活動等を実施する。【具体的な内容】講演会の開催、男女共同参画パネル展、市民団体による自主企画事業への助成、男女共同参画推進市民サポーターとの連携による取組等	性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会(自分らしく、ともにいきいきと生きることができるまち)の実現に向けた啓発活動等を行う事業である。	計画額	0	0	0	3,526	3,526	—
H27	・男女共同参画推進協議会(4回)・女性が輝く地域づくり講演会(県共催、1回)・市民企画事業(5事業)・男女共同参画パネル展(1回)・市民サポーターセミナー(1回)・第2次男女共同参画プラン進捗状況調査等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・H28年度パネル展に向け、新たに小学生の参加を促した。・市民企画事業実施団体間の連携強化を目指して座談会を開催した。	当初予算額	0	0	0	8,483	8,483	0.1
H28 具体的 的 取 組	・男女共同参画推進協議会(4回)・男女共同参画講演会(1回)・市民企画事業(5事業)・男女共同参画パネル展(3回)・男女共同参画セミナー(2回)・市民サポーター出前講座(2回)・第2次男女共同参画プラン進捗状況調査等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・男女共同参画市民サポーターを講師とする出前講座を新たに実施した。・県共催事業として男性の家事等の参画を促す連続講座を市内で開催した。	決算額	0	0	0	4,046	4,046	0.0
H29	・男女共同参画推進協議会(4回)・男女共同参画講演会(2回)・市民企画事業(5事業)・男女共同参画パネル展(3回)・男女共同参画セミナー(4回)・市民サポーター出前講座(1回)・男女共同参画プラン(後期計画)意識調査等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・関係機関と連携し、女性活躍の推進をテーマとした企業研修会を初めて開催した。・ワーク・ライフ・バランスについて考えてもらう学生向けセミナーを開催するなど、若年層からの意識啓発に取組んだ。	計画額	0	0	0	880	880	0.5
H30	・男女共同参画推進協議会・男女共同参画講演会・市民企画事業・男女共同参画パネル展・男女共同参画セミナー・男女共同参画推進市民サポーター出前講座・第2次さぬき市男女共同参画プラン(後期計画)策定等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含む。		当初予算額	0	0	0	3,407	3,407	
			決算額	0	0	0	2,762	2,762	

指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
				計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2		
活動指標	子どもを対象とした男女共同参画を推進するための啓発事業数	市が主催する、子どもを対象とした、男女共同参画の意識を啓発するための事業数(例:講演会、セミナー、男女共同参画パネル展)	回	<input type="checkbox"/> 総合計画	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
	男女共同参画推進市民サポート企画・運営事業数	男女共同参画推進市民センターが企画し、運営するセミナー等の開催回数		<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値	1	実績値	2	実績値	2	実績値		
成果指標	男女共同参画講演会又はセミナーへの男性参加割合	市が主催又は共催した男女共同参画講演会又はセミナーの参加者アンケート等集計結果(無回答は除く)による。 男性参加人数／参加人数 ※小数点以下切り上げ	%	<input type="checkbox"/> 総合計画	計画値	15	計画値	17	計画値	19	計画値	20	
	男女共同参画推進市民サポート数	男女共同参画推進市民センターに登録している人數		<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値	15	実績値	28	実績値	32	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)								一次評価(担当者)		二次評価(所属長)		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか								5点	20点	5点	20点	
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)								4点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか								4点		4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか								4点		4点		
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い								3点	／25点	3点	／25点	
今後の方向性	一次評価(担当者)								二次評価(所属長)				
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				
理由	男女共同参画に関する意識啓発を進めるため、「関係機関との連携」や「若年層への啓発」をテーマに掲げ、学生向けのワーク・ライフ・バランス意見交換会や父親向けの絵本の読み聞かせ講座などに取組んだ結果、若年層・男性参加者への着実な啓発へとつなげることができた。一方で、男女共同参画意識調査(市民アンケート)では「啓発活動が不十分」との意見も寄せられていることから、啓発が不足する分野の洗出しや具体的な課題の抽出、効果的な啓発方法の検討などに継続して取組む。								男女共同参画推進市民センターによるセミナーや出前講座、市民が企画運営する事業など、市民との協働による取組を今後も進めるとともに、企業研修や職員研修、パネル展示などの取組では、関係機関との連携をさらに工夫し、性別を問わず幅広い世代への意識啓発に努めることで、男女共同参画社会づくりに関する意識の定着を図る。				

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	男女共同参画推進事業②(あらゆる暴力の根絶関係)		担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	--------------------------	--	-----	---------------------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	10	総務費
基本施策	28	(28) 男女共同参画の推進	項	05	総務管理費
主要施策	②	②あらゆる暴力の根絶	目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 事業 概要	平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら、DV防止法に基づくあらゆる暴力の根絶などをめざした啓発活動を実施する。なお、被害相談業務等は、子育て支援課が所管。【具体的な内容】講演会やキャンペーンの開催等	DV防止法に基づくあらゆる暴力の根絶をめざすための啓発活動等を行う事業である。	計画額	0	0	0	3,526	3,526	—
			当初予算額	0	0	0	8,483	8,483	
			決算額	0	0	0	36	36	
H27	デートDV防止啓発講演会(長尾中、さぬき南中、志度中 計3回、子育て支援課共催) ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	会場ごとに違う講師を招へいし、中学生が理解しやすい講演会の進行方法を研究した。	計画額	0	0	0	886	886	0.1
			当初予算額	0	0	0	886	886	
			決算額	0	0	0	20	20	
H28 具体的 的取 組	・デートDV防止啓発講演会(さぬき南中、子育て支援課共催) ・市民企画事業(市マスコットキャラクターを活用したDV・児童虐待防止啓発支援)・DV防止啓発パネル展(1回) 等 ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・デートDV防止啓発講演会を継続実施したほか、オレンジリボン・パープルリボンに関する市民主体の啓発活動を支援した。・パネル展等で市マスコットキャラクターを活用したDV防止啓発を実施した。	計画額	0	0	0	880	880	0.1
			当初予算額	0	0	0	886	886	
			決算額	0	0	0	15	15	
H29	・デートDV啓発講演会等(長尾中学校、県立津田高校、子育て支援課共催)・啓発街頭キャンペーン・啓発広報掲載(2回)・啓発パネル展示(3回) 等 ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・県立高校と連携してデートDV防止啓発講演会を初めて開催するなど、若年層からの意識啓発に取組んだ。・男女共同参画パネル展でDV防止特別展示を行った。	計画額	0	0	0	880	880	0.1
			当初予算額	0	0	0	3,304	3,304	
			決算額	0	0	0	1	1	
H30	・デートDV防止啓発講演会の開催 ・街頭啓発キャンペーン、啓発展示の実施 等 ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含む。		計画額	0	0	0	880	880	
			当初予算額	0	0	0	3,407	3,407	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	DV(デートDV)防止啓発活動数	市主催又は市民企画事業で実施するDV(デートDV)防止をテーマにした講演会又はセミナーの開催回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	3	計画値	4	計画値	5		
	DVなどの暴力に関する知識向上活動数	女性に対する暴力をなくす運動(11月12日～25日)、DV(デートDV)相談窓口、各種ハラスメント(セクハラ・マタハラ)に関する知識を増やすための広報回数(広報紙での周知、キャンペーン活動等)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	3	計画値	3	計画値	4	計画値	4		
成果指標	DV(デートDV)被害相談件数	子育て支援課が集計する相談のべ件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	55	計画値	60	計画値	63	計画値	66		
	DV被害について「どこ(だれ)に相談していいかわからなかった」とする市民の割合	男女共同参画プラン策定時の市民アンケート結果より ※現状値:25.0%(H24年度調査)。次回調査:H29年度予定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値 実績値	20以下 25	計画値 実績値	20以下 25	計画値 実績値	20以下 12	計画値 実績値	15以下		
評価	チェック項目(1～5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							5点	19点	5点	19点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							4点		4点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い							3点		3点				
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	DV被害相談件数は、昨年度と比較して減少する一方、これまで表面化しづらかった精神的暴力に関する相談が増えるなど、相談内容が多様化する傾向が見られた。こうした動きは、DVに対する認識や相談窓口の存在が市民に浸透した結果だと認識しているが、今後も関係機関等と連携しながら、切れ目ない取組を継続する必要がある。							男女共同参画意識調査(市民アンケート)において、DV被害を相談しなかった理由について「どこ(だれ)に相談していいかわからなかったから」と回答した市民の割合が大きく改善した結果が見られたことは、DVに対する相談窓口の周知が進んだと考えられる。一方で、DV防止に求める取組について、「被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」と回答した市民の割合が最も高い結果となったことから、啓発・周知の徹底や関係機関等との情報共有など、今後も細やかな対応に努める必要があると考えている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	同和対策事業	担当課	人権推進課	記入日	平成30年6月15日
-----	--------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	15	民生費
基本施策	29	(29) 人権教育の推進	項	05	社会福祉費
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実	目	30	人権推進費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業 概要	市民一人ひとりが人権意識の高揚に努めるとともに相互理解を深め、部落差別をはじめとするあらゆる差別のない明るい社会の実現に向けて取り組む。	市民一人ひとりが人権・同和問題の正しい理解と認識を図るため、関係機関団体と連携し研修会の開催等を行う。	計画額	1,674	0	0	34,735	36,409	—
			当初予算額	1,720	0	0	31,350	33,070	
			決算額	1,160	0	0	18,723	19,883	
H27 具 体 的 取 組	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図った。 ・人権・同和問題講演会の開催 ・人権・同和問題啓発用パンフレットの作成	市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しい理解と認識を図るために、関係機関・団体と連携し研修会の開催等を行った。	計画額	474	0	0	8,235	8,709	0.6
			当初予算額	474	0	0	8,235	8,709	
			決算額	414	0	0	6,485	6,899	
H28 具 体 的 取 組	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るために、講演会・研修・キャンペーン等を行う。2市1町人権・同和問題担当者会として、県外等の取組に学ぶため、研修を行う。「さぬき市差別をなくし、人権を擁護する条例」の改正。	関係機関・団体と連携し研修会の開催等を行った。また、平成29年7月の「さぬき市差別をなくし、人権を擁護する条例」の改正へ向けて作業を進めた。	計画額	400	0	0	8,500	8,900	0.6
			当初予算額	515	0	0	7,154	7,669	
			決算額	440	0	0	5,926	6,366	
H29 具 体 的 取 組	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るために、講演会・研修・キャンペーン等を行う。	市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しい理解と認識を図るために、関係機関・団体と連携し研修会の開催等を行った。	計画額	400	0	0	8,200	8,600	0.9
			当初予算額	425	0	0	7,196	7,621	
			決算額	306	0	0	6,312	6,618	
H30 具 体 的 取 組	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るために、講演会・研修・キャンペーン等を行う。人権・同和問題市民意識調査を行い、過去の調査結果を踏まえ、事業内容の見直しを行う。2市1町人権・同和問題担当者会として、県外等の取組に学ぶため、研修を行う。		計画額	400	0	0	9,800	10,200	
			当初予算額	306	0	0	8,765	9,071	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	さぬき市人権・同和問題講演会の開催回数	市民を対象とした、人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための講演会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1			
	企業啓発	企業に対しての人権・同和問題における講演会や研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2			
成果指標	さぬき市人権・同和問題講演会の参加者数	市民を対象とした、人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための講演会の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	251	実績値	350	実績値	231	実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか 2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか 3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる) 4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか 5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い						4 点	20 点	4 点	20 点	25点				
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている						4 点		4 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い						4 点		4 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない						3 点		3 点						
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						5 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決のため、引き続き取組を継続しなければならない事業である。市民一人ひとりが、差別意識の解消に向けて主体的に取り組むことができるよう、人権意識の高揚を図り、今後も人権尊重の理念に沿った教育、啓発を推進していく必要がある。 また平成30年度に人権・同和問題意識調査を実施し、その結果を踏まえ、その結果を今後の人権同和教育・人権啓発の推進に生かしていく。						同和問題は未だ解決されておらず、部落差別をする人の意識は根強いものがある。1965年に出された政府同和対策審議会答申でも述べられたように、部落差別の解消は「国民的な課題」であり、「国の責務である」との理解の下、人権意識の向上については、すべての施策の根底に人権がかかわっていることを認識し、人権同和教育・人権啓発の推進を図り、差別のない社会の実現を目指し今後も事業を推進していく。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保育所人権教育事業	担当課	子育て支援課幼保連携推進室	記入日	平成30年6月15日
-----	-----------	-----	---------------	-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	10	児童福祉費
目	15	公立保育所費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 <small>事業概要</small>	保育所人権教育事業は、「保育所保育指針」に基づき、保育所職員を対象とする人権教育の推進を図るものである。	各保育所等が取り組んだ研究の成果を発表したり聞いたりすることで、人権教育についての意識を高める。	計画額	0	0	0	3,186	3,186	—
			当初予算額	0	0	4,990	12,009	16,999	
			決算額	0	0	0	1,495	1,495	
H27 <small>具体的な取組</small>	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図った。	複数の研修会が開催されており、積極的に参加している。テーマを絞り若手を中心に発表にも取り組み、さまざまな経験を積み重ねることができている。	計画額	0	0	0	786	786	4.7
			当初予算額	0	0	0	786	786	
			決算額	0	0	0	477	477	
H28 <small>具体的な取組</small>	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。	正規・臨時に関わらず機会があれば、積極的な参加を呼びかけた。	計画額	0	0	0	800	800	5.2
			当初予算額	0	0	0	753	753	
			決算額	0	0	0	479	479	
H29 <small>具体的な取組</small>	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。	正規・臨時に関わらず機会があれば、積極的な参加を呼びかけた。	計画額	0	0	0	800	800	4.2
			当初予算額	0	0	0	771	771	
			決算額	0	0	0	539	539	
H30 <small>具体的な取組</small>	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。 ※本事業に関する予算・決算額は「保育所管理事業」の再掲となっている。		計画額	0	0	0	800	800	4.1
			当初予算額	0	0	4,990	9,699	14,689	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	研修参加者数	研修に参加した保育所職員数(延べ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120				
					実績値	280	実績値	286	実績値	248	実績値					
成果指標	研修参加率	研修に参加した保育士数／保育所保育士数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値		実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 ／25点	4点	18点 ／25点					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止									
理由	子どもの人権が尊重され、差別や偏見のない望ましい未来を創り出す力の基礎を培っていくことができるよう、人権を大切にする心を育てる保育を推進していくため、今後も継続実施していく。						保育所職員の人権意識や保育技術の向上のためにも、必要な事業である。									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	研修会・研究大会等開催参加事業		担当課	人権推進課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	29	(29) 人権教育の推進	項	30	社会教育費
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実	目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	学校教職員・行政職員に対する人権・同和教育を推進するため、研修会及び研究大会への参加を支援する。	研修会に参加することで、全職員の 人権や同和教育に対する正しい理解 と認識を深めるとともに人権意識を高 め合う職員集団づくりを目指す。	計画額	0	0	0	3,603	3,603	—
			当初予算額	0	0	0	2,980	2,980	
			決算額	0	0	0	1,626	1,626	
H27	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進した。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会	研修会に参加することで、全職員の 人権や同和教育に対する正しい理解 と認識を深めるとともに人権意識を高 め合う職員集団づくりを目指した。	計画額	0	0	0	903	903	0.2
			当初予算額	0	0	0	903	903	
			決算額	0	0	0	706	706	
H28 具体的 的取組	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会	研修会に参加することで、全職員の 人権意識を高め、知識を深めること ができた。	計画額	0	0	0	900	900	0.2
			当初予算額	0	0	0	884	884	
			決算額	0	0	0	373	373	
H29	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会	研修会に参加することで、全職員の 人権意識を高め、知識を深めること ができた。	計画額	0	0	0	900	900	0.5
			当初予算額	0	0	0	640	640	
			決算額	0	0	0	547	547	
H30	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会		計画額	0	0	0	900	900	
			当初予算額	0	0	0	553	553	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	人権・同和教育研究大会開催回数	香同教・指導者研修・四人権・全人教大会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4				
					実績値	4	実績値	4	実績値	4	実績値					
成果指標	人権・同和教育研究大会参加者数	香同教・指導者研修・四人権・全人教大会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	150	計画値	150	計画値	150	計画値	150				
					実績値	147	実績値	131	実績値	134	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点	4 点	20 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	○ 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止									
理由	職員の人権・同和問題等に対する正しい理解と認識を深めるために、参加支援を継続して行うものである。						多様な職員が参加し、人権・同和問題等に対する正しい理解と認識を深めるため、各種研修会への参加支援を継続する必要がある。、									

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権同和教育指導者資質向上事業		担当課	人権推進課		記入日	平成30年6月11日
-----	-----------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	22	(22)学校教育の充実	項	30	社会教育費
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実	目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30 事業概要	人権・同和教育指導者に対する資質向上のため、研修会及び研究大会への参加支援をする。	学校教職員等の人権・同和教育指導者の資質向上のため、県内外で開催される研究大会への参加支援に取り組んでいる。	計画額	0	0	0	4,283	4,283	—
			当初予算額	0	0	0	5,941	5,941	
			決算額	0	0	0	3,361	3,361	
H27	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を周知啓発した。 ・全国人権保育研究集会　・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他	各種研修会・研究大会に参加し、人権・同和教育指導者に対する資質向上を図るとともに、先進的な事例研究を行うことで、人権感覚を磨きながら人権・同和教育の推進した。	計画額	0	0	0	1,073	1,073	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,073	1,073	
			決算額	0	0	0	814	814	
H28 具体的 的取組	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会　・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他	参加する職員を変えていくことで、幅広い人権・同和教育指導者の育成に取り組んでいる。	計画額	0	0	0	1,070	1,070	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,528	1,528	
			決算額	0	0	0	1,114	1,114	
H29	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会　・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他	参加する職員を変えていくことで、幅広い人権・同和教育指導者の育成に取り組んでいる。	計画額	0	0	0	1,070	1,070	0.4
			当初予算額	0	0	0	1,787	1,787	
			決算額	0	0	0	1,433	1,433	
H30	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会　・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他		計画額	0	0	0	1,070	1,070	
			当初予算額	0	0	0	1,553	1,553	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	人権・同和教育主任研修会開催回数	市内保・幼・小・中学校人権・同和教育主任に対する研修会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値	5	実績値	5	実績値			
成果指標	人権・同和教育指導者資質向上研修会参加者数	人権・同和教育指導者に対する資質向上研修会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	114	実績値	157	実績値	166	実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	19 点	5 点	22 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		4 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		5 点				
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
今後の方向性	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
		職員の人権意識の向上と指導力を高めるために今後も継続の必要がある。						学校などにおいて児童生徒等に人権同和教育を指導する教員等の資質向上を図るとともに、社会教育においても指導者を養成することで生涯にわたる人権・同和教育を推進し、あらゆる差別の解消及び人権を尊重するまちづくりを目指す必要がある。 資質向上を図るためにには、各種の研究大会への参加に重点をおくのではなく、市の状況に合わせた研修等を実施するなど、事業内容の見直しが必要である。						
今後の方向性	理由													

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	更生保護事業	担当課	人権推進課	記入日	平成30年6月15日
-----	--------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	15	民生費
基本施策	29	(29) 人権教育の推進	項	05	社会福祉費
主要施策	②	②人権問題に関する相談体制の充実	目	30	人権推進費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業 概要	保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力 等	保護司会及び更生保護女性会に対して支援・協力をすることにより、更生保護活動への理解を図り、犯罪や非行のない安全で安心に暮らせる社会の実現をめざす。	計画額	0	0	0	3,140	3,140	—
			当初予算額	0	0	0	3,408	3,408	
			決算額	0	0	0	2,738	2,738	
H27 H28 具体的 的取 組	・「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンにて啓発冊子の配布等(東かがわ市) ・更生保護女性会更生施設慰問(丸亀少女の家、修齊会)、更生保護女性会研修(高松少年鑑別所等)、長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動への支援及び協力 等 【予定】・「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンにて啓発冊子等の配布等(津田小学校)・更生保護女性会更生施設慰問、更生保護女性会県外研修(和歌山刑務所)、長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動への支援及び協力 等	今後の更生保護活動に活かすため、平成28年度に更生保護女性会和歌山刑務所研修を実施することを決定した。	計画額	0	0	0	670	670	0.5 0.0
			当初予算額	0	0	0	670	670	
			決算額	0	0	0	670	670	
H29 H30	保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力 等 保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力 等	保護司会及び更生保護女性会とともに、キャンペーン活動を行う等、更生保護活動の支援を行った。また、更生保護女性会においては、和歌山刑務所への県外研修を実施した。	計画額	0	0	0	900	900	0.5 0.0
			当初予算額	0	0	0	1,398	1,398	
			決算額	0	0	0	1,398	1,398	

指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
				計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5			
活動指標	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンへの参加等、保護司会及び更生保護女性会の活動支援件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	実績値	5	実績値	5	実績値	3	実績値				
				計画値		計画値		計画値		計画値				
成果指標	更生保護施設慰問回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	実績値	4	実績値	4	実績値	4	実績値	4			
				計画値		計画値		計画値		計画値				
街頭キャンペーン実施回数	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンや長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動等の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	実績値	3	実績値	3	実績値	3	実績値	3			
				計画値		計画値		計画値		計画値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)								一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	必要性低い ⇒ 必要性高い								4点	4点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか								4点	4点	4点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている								4点	3点	3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)								4点	5点	21点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い								4点	5点	21点			
方向性	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか								4点	4点	21点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない								5点	5点	25点			
今後の方向性	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか								必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点	25点		
	一次評価(担当者)								二次評価(所属長)					
理由	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
	保護司は、法務大臣から委嘱を受けた無報酬の国家公務員として、保護司法に基づき犯罪者等の改善・更生を助け、保護観察や犯罪予防活動を行っており、更生保護女性会は、ボランティア団体として更生保護に理解と協力を得るための活動を行っていることから、公益性が高い事業である。 犯罪を犯した人たちの更生や犯罪のない社会の形成には、保護司を中心とした地域社会の協力が不可欠であることから、行政として今後も引き続き協力・支援していき、地域全体で立ち直りを支える社会づくりを進めていく。								保護司や更生保護女性会による「社会を明るくする運動」や「更生保護施設訪問」などのボランティア活動は、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現や更生に大きく貢献している。 健全な社会を形成するには、罪を犯した人でも人生をやり直すことのできる社会環境が重要である。刑の執行中や刑を終えて出所した人、その家族に対する偏見や差別意識には根強いものがあり、罪を償い社会に復帰した人が、更生をし社会に貢献できるようになるためには、本人の努力に加えて、多くの人の協力と理解が必要であることから、行政としての協力体制が重要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	隣保館運営事業	担当課	人権推進課	記入日	平成30年6月8日
-----	---------	-----	-------	-----	-----------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	15	民生費
基本施策	29	(29) 人権教育の推進	項	05	社会福祉費
主要施策	③	③啓発活動拠点施設の活用	目	35	隣保館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 事業概要	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。 【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、地域住民の福祉や人権意識の向上を図るとともに、人権・同和問題の解決に資することにより、あらゆる差別のない社会の実現をめざす。	計画額	27,592	0	2,160	17,659	47,411	—	—
			当初予算額	30,390	0	2,835	22,621	55,846		
			決算額	21,563	0	1,626	13,156	36,345		
H27	・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ) ・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	これまで冬に志度音楽ホールで実施していた「じんけんフェスタ」を「冬のつどい」と辛立文化センターにて同時開催することにより、イベント運営経費の削減及びより多くの参加者を得ることができた。	計画額	6,898	0	540	4,159	11,597	1.3	1.0
			当初予算額	6,898	0	540	4,159	11,597		
			決算額	6,027	0	432	3,261	9,720		
H28 具体的取組	【予定】・辛立文化センターにて「じんけんフェスタ」と「冬のつどい」の同時開催・定期的な地元の行政書士による専門相談・隣保館運営審議会県外研修の実施・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	「じんけんフェスタ」と「冬のつどい」の同時開催。人権問題を中心とした相談活動、各種教養文化講座の実施。隣保館運営審議会県外研修を実施し、先進地での人権問題に関する取組等について学んだ。	計画額	6,898	0	540	4,700	12,138	0.5	2.0
			当初予算額	7,954	0	1,288	6,306	15,548		
			決算額	7,738	0	397	5,480	13,615		
H29	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	「冬のつどい・じんけんフェスタ」と「夏のつどい」の開催。人権同和問題に関する講演会の開催。人権問題を中心とした相談活動、各種教養文化講座の実施した。	計画額	6,898	0	540	4,100	11,538	0.6	2.0
			当初予算額	7,739	0	540	5,820	14,099		
			決算額	7,798	0	797	4,415	13,010		
H30	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等		計画額	6,898	0	540	4,700	12,138		
			当初予算額	7,799	0	467	6,336	14,602		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
活動指標	小・中学校学習会開催回数	小・中学校の学習意欲の奮起を促し、地区的教育力を高めることや、仲間づくり等人権啓発学習を開催している学習会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	60	計画値	60	計画値	60	計画値	60
	夏のつどい・じんけんフェスタ(冬のつどい)開催回数	開催を通して、行政・教育関係者・地域住民等の相互理解を深めることを目的とした、地域交流イベントの開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
成果指標	小・中学校学習会参加者数	本来は学習成果を挙げるべきだが、測定が困難なので参加者数で代用	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,800	計画値	1,800	計画値	1,800	計画値	1,800
	夏のつどい・じんけんフェスタ(冬のつどい)参加者数	開催を通して、行政・教育関係者・地域住民等の相互理解を深めることを目的とした、地域交流イベントの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	4点	4点	
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	4点	4点	
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	4点	4点	
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点	3点	3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							4点	／25点	4点	／25点	
方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
今後の方向性												
	理由					辛立文化センターは、地域住民の生活上の各種相談事業や人権問題解決のための各種事業を行い、地域住民の福祉の向上や各種講座・サークル活動等を通じて人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、重要な役割を担っているため、継続的に事業を実施していく必要がある。隣保館の存在目的をより多くの市民に理解してもらい、人権問題等に対する理解を深め、人権文化の発信基地としての辛立文化センターを中心とした人権啓発を進める。平成30年度には、隣保館運営審議会として、県外研修を予定しており、先進地での取組み状況等を学び、今後多くの市民が交流できる交流拠点施設の機能の強化に取り組んでいく。						隣保館は、地域の相談事業や交流事業などの拠点として、隣保館の役割は大きい。人権・同和問題の啓発や人権教育の拠点としての活用はもとより、地域住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決のため果たす役割を、なお一層高めていかなければならない。

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育集会所管理事業		担当課	人権推進課	記入日	平成30年6月11日
-----	-----------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	款	50	教育費
基本施策	29	(29) 人権教育の推進	項	30	社会教育費
主要施策	③	③啓発活動拠点施設の活用	目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 <small>事業概要</small>	教育集会所(同和対策事業の一環として同和地区に設置される、社会福祉施設の一種である。)の維持管理をする。	鴨部教育集会所及び公文明教育集会所の維持管理費である。	計画額	0	0	0	1,344	1,344	—
			当初予算額	0	0	0	1,149	1,149	
			決算額	0	0	0	1,251	1,251	
H27	教育集会所の適切な維持管理を行った。	鴨部教育集会所については、実質利用者がいないことから、解体も視野に入れた今後のあり方の検討を開始した。	計画額	0	0	0	336	336	0.2
			当初予算額	0	0	0	336	336	
			決算額	0	0	0	285	285	
H28 <small>具体的 的 取 組</small>	教育集会所の適切な維持管理を行う。	公文明教育集会所のエアコンが故障したため、新しく購入した。 鴨部教育集会所については、利用者が現在見込めず、継続的な維持管理のみとする。	計画額	0	0	0	336	336	0.2
			当初予算額	0	0	0	313	313	
			決算額	0	0	0	788	788	
H29	教育集会所の適切な維持管理を行う。	鴨部教育集会所については、利用者が現在見込めず、継続的な維持管理のみとする。	計画額	0	0	0	336	336	0.2
			当初予算額	0	0	0	307	307	
			決算額	0	0	0	178	178	
H30	教育集会所の適切な維持管理を行う。		計画額	0	0	0	336	336	
			当初予算額	0	0	0	193	193	
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	管理人の配置数	鴨部教育集会所の維持管理人の配置数 (公文明教育集会所については、自治会館管理)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1				
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値					
成果指標	教育集会所における人権啓発活動(自治会活動を含む)の回数 啓発活動(公文明)	人権啓発活動(自治会活動を含む)の回数 啓発活動(公文明)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12				
					実績値	12	実績値	12	実績値	12	実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	17 点	4 点	16 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4 点		3 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4 点		4 点						
	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
今後の方向性	方向性						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
	理由						鴨部教育集会所については、維持管理人の廃止を検討する必要があるが、現時点では、継続して適切な維持管理を続けていくものとする。		地域で必要とされている施設であることから、適正な施設管理が必要である。 将来を見据えて、指定管理者制度も含ため管理体制や施設の老朽化に対する対策を検討していく必要がある。							